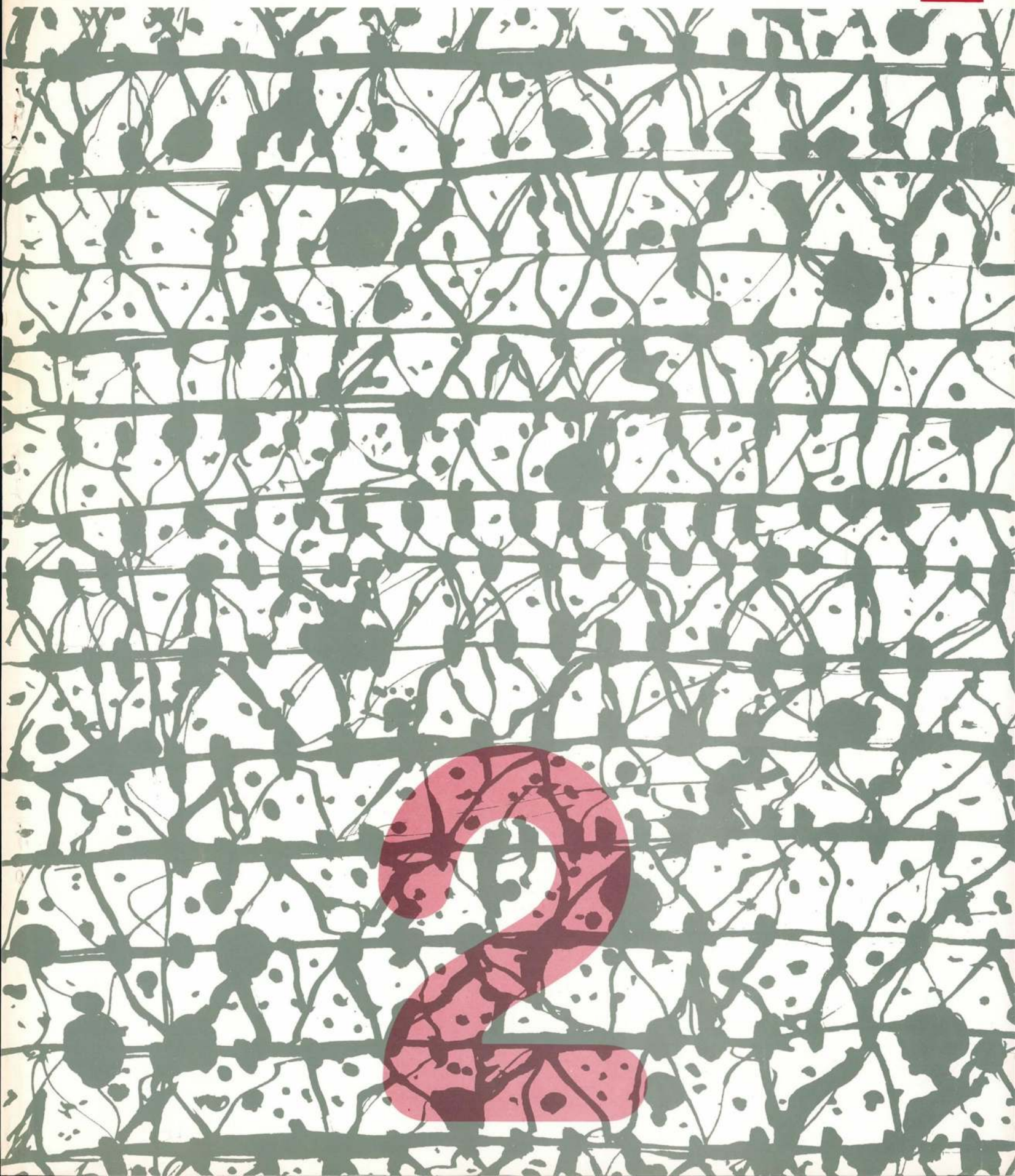
建築と社会

社団法人　日本建築協会
昭和48年２月25日発行
毎月１回25日発行
昭和24年３月19日第３種郵便物認可

1973
第54輯第2号

特集：泉北ニュータウンの
コミュニティ施設

2





デザイン・配線工法を一新、価格は据置き!!

——クマリフトならではの量産体制が、それを可能にしました——

■三方枠と膳板が、優美で錆や腐蝕のないアルミ形材製品に——

クマリフト(小型昇降機)の積下ろし口の枠及び膳板にアルミ成形材(枠見込100mm：膳板巾160・180・210mmの3種)を規格品として制定し、全機種に採用しました。扉はメラミン樹脂焼付仕上げのボンデ鋼板製です。

ご希望により、特殊寸法の鋼板・ステンレスのものも製作します。

■工場生産されるシンプルな配線工事

工場生産による独特の短時間に巧拙のない確実な配線工事を得られるプラグイン配線方式を採用しました。

■他に別価格でカゴ到着と同時に扉が開く自動戸開き装置も用意

カゴの到着がひと目でわかり、手数が省けるのできわめて能率的です。（用済み後は手で閉めてください。実用新案出願中）

■用途に応じた豊富な機種を用意しました

書類小物用、料理用、小荷物用、般舶用その他防水・防爆型など特殊工場用など。

- ■L— 5…… 10kg積
- ■J— 30…… 30kg積
- ■M— 50…… 50kg積
- ■M—100……100kg積
- ■M—200……200kg積
- ■M—300……300kg積
- ■M—500……500kg積
- ■S—150……150kg積
- ■S—300……300kg積
- ■M— H …… 80kg積（高速型）

その他人荷用エレベーター、荷物用エレベーター病院用エレベーター、自動車用エレベーターもご注文に応じて製造いたします。

*

クマリフト株式会社

●本　　社　大阪市東淀川区東淡路町2丁目43番地
TEL：06（322）5125代表

●東京事務所　東京都台東区東上野6-1 イワツキビル
TEL：06（844）3030

札幌・仙台・新潟・長野・横浜・静岡・名古屋
京都・大阪・堺・神戸・岡山・広島・高松
出雲・福岡・長崎・鹿児島・那覇

クマリフト

■カタログご希望の方はハガキで大阪本社宛ご請求下さい

実務に直結した建築工事別説明会（第２回）

◀「最近のウレタン防水及シート防水の材料と工法について」

昨今の建築技術の急速な発展は，建築材料・施工面において数多くの研究開発を促しましたが，防水材料・工法の分野においても多種のおのおの特質をもったものが開発されていることは，ご承知のとおりであります。

建築防水は、建築物の機能上最も基本的に要求される一つでありながら，実際には多くの難しい問題を抱えているものであり，これらの新しい防水材料，工法についての正しい知識の必要性が痛感されます。

そこで，このたび幸いに関西大学菅田教授のご指導を得て，とくにウレタン及びシート防水に関して，下記要領により設計施工実務にたずさわる方々を対象とする説明会を開催いたいたいと存じます。会員諸志のふるってのご参加をお待ちします。

日　　時　昭和48年３月27日（火）13.00→17.30
会　　場　大阪市西区靱１―118（電話 06―443―5321）
　　大阪科学技術センター４階401号室
会　　費　無料（ただし参加証持参の方に限る）
定　　員　160名
申　　込　往復はがきに限ります。はがきは１枚に１名限りとし，氏名・勤務先名及・役職・所在地・連絡番号・返信用宛名・郵便番号・上記催し名を明記の上３月17日(土)までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，参加証をお送りいたします。

プログラム

開会の挨拶
　社団法人　日本建築協会事業委員会副委員長　三　品　哲　夫氏
「合成高分子材料による―陸尾根防水について」
　関西大学教授　菅　田　豊　重氏
説明題名・説明者
1.　「ポリウレタン防水材について」―ノンタール型―
　大日本インキ化学工業㈱関西樹脂技術研究所樹脂技術７グループグループ長
　吉　田　重　雄氏
2.　タールウレタン防水材「ミリオネートＳＡについて」
　保土谷化学工業株式会社中央研究所開発第２研究室課長補佐　林　田　一　成氏
3.　「ＡＬＣ版上のシート防水について」
　三ツ星ベルト株式会社建材課技術サービス近畿地区リーダー　森　井　禎　二氏
4.　「シート防水のＪＩＳ・ＪＡＳＳの改訂と問題点」
　鐘紡合成化学株式会社防水事業部長　目　黒　清太郎氏
閉会の挨拶
　社団法人 日本建築協会事業委員会幹事　小　泉　　豊氏

説　明　要　旨

■「合成高分子材料による―陸屋根防水について」

ここ約20年来，わが国に各種の高分子防水材料が現われ，その取扱いの容易さと工期の短縮を求める時流に乗って，陸屋根の防水に新しい分野を拓いてきました。この間，新材料の多くの例に漏れず個々に試行錯誤を繰り返えしながら性能の向上を計ってきましたが，その数が年を追って増加するに及んで，その性能判定と標準工法の基準を作ることを目的として，昭和44年度建設技術助成金により日本建築学会が各方面の専門家の協力を得て行った“合成高分子材料による建築防水法の基準に関する研究”の報告書は，広汎な施工面の現況調査と材料の実験研究の結果，防水材料の性能判定法および施工について集大成するとともに数多くの提言を行っています。

陸屋根防水は周知のとおり材料，施工，下地構造の三者が不離の関係にあり，従来は防水材料を主体に研究が行われていますが問題のすべてが解決されたとは言い難い。そこでさらに，下地構造の面からも防水を少しでも容易にする研究も併せて行う必要があるのではないでしょうか。

■「ポリウレタン防水材について」―ノンタール型―

最近，建築物の高層化，デザインの多様化，また熟練労務者の絶対的不足などに伴い，在来の防水材料では業界の要求に応ずることができなくなり，新しい防水材料とし数年前からポリウレタン樹脂を主成分とする塗布防水材が開発されました。ポリウレタン樹脂はポリオールとジイソシアナートとなどから得られる重縮合樹脂で，液状からの重合が比較的簡単であること，その物性が弾性に富み耐薬品性耐老化性に富んでいることからクッション材，ゴム，弾性繊維，合成皮革などわれわれの生活に広く使用されています。

防水材として優れた物性に加え，簡単な操作で連続した継目のない塗膜が形成されるため，防水性能にすぐれかつ経済的であるなどの特長を有しております。しかし現場硬化型の材料は使用方法を誤ると充分な物性を発揮することができず，信頼される防水塗膜が形成できませんので施工方法の標準化，普及化を推進する必要があり，本講では物性および施工方法について報告いたします。

■タールウレタン「防水材ミリオネートＳＡ」について

ウレタンの原料メーカーである保土谷化学が他社に先がけてポリウレタン樹脂を新らしい防水材として開発上市してから７年を経過しようとしています。新規な材料が建築業界に認められることの難かしさは論をまたないが，とくに耐久性とその実績を要求される防水材においてはアスファルト防水材という古い歴史にささえられた防水材があります。それにもかかわらずポリウレタン樹脂防水材がゼネコン，建材業界ならびに識者の着目するところとなり急速な伸長性をもった防水材として脚光を浴びているのはなぜでしょうか，それは現代建築の様式および業態にマッチした材料であり，過去における樹脂防水材のどの形態よりも安全かつ確度の高い防水性が期待できるからであります。しかし優秀な防水材でも工法にあやまちがあっては評価はマイナスです。そこで正しい工法の確立がのぞまれていましたがさいわいウレタン防水協会により標準施工法がまとまり業界に配布されておりますので，この工法を原点として応用工法を提案したいと考えております。

(1)　ミリオネートＳＡの基本工法
(2)　構造クラックに対処する工法
(3)　他材料との組み合せによる工法

■ＡＬＣ版上のシート防水について

最近の構造体では軽量化が要求される建築物が著しく増加してまいりました。なかでもＡＬＣ版が多く使用されております。ＡＬＣ版下地については目地のクラック段違いまた下地の挙動などが防水材料に大きな影響を及ぼします。これらのいかなる条件にも適した働きを発揮する防水材料としてネオ・ルーフィングＥＢシートが使用されております。

ネオ・ルーフィングＥＢシートはＥＰＴ（エチレン・プロピレン・ターポリマー）ゴムを配合した画期的なゴムシートで耐候性，耐オゾン性，耐久性にすぐれております。ネオ・ルーフィングＥＢシートは１㎜厚の加硫層の裏面に0.3㎜の感圧層（粘着ゴム）を附着してあり，これが目地モルタルのクラック挙動等下地の動きに対してずれ効果を発揮し防水材料の切断等を防いでおります。このように品質的にすぐれた防水材ではありますが，同時に工法面での研究もおこたらず，ＡＬＣ版面がポーラスなため接着面積の不足や目地やクラックを通しての背圧の問題などに取り組み解決してまいりました。その結果，現在月間10数万㎡の施工量に達していますが，さらによりすぐれた防水材を作りあげるべく日夜努力を重ねております。

■シート防水のＪＩＳ・ＪＡＳＳの改訂と問題点

合成高分子ルーフィングはすでに15年の実績を積み重ね，全国総面積の10%を占めるまでに発展してまいりました。日本工業規格（ＪＩＳ）は昭和45年学識経験者，メーカー，ユーザーの努力により制定され，さらに昨年進歩改定されました。

改良進歩のポイントは，防水層相互の接着性能の制定，シートの耐久寸法安定性および耐オゾン性の強化です。また昨年８月，日本建築学会にて建築工事標準仕様（ＪＡＳＳ）および解説が公表され厚さと使用部位の適合性，材料の特質に適合した施工指針が示されました，新ＪＩＳは防水用シートは５種に分類されているがそれぞれの特長欠点と耐久挙動を認識し新ＪＡＳＳに基づき設計施工を忠実に実施されればシート防水への不信が解消され，健全なる発展が期待できます。

技術革新を繰り返す高分子化学の産物である新しいエンジニアリングエラストマーにより米国デュポン社，西独ＢＡＳＦ社にて耐久防水シートが創造されました。最近の材料別でなくユーザー側に便利な性能別工業材料規格化への傾向がありますが米国，西独の新シートはその例ともいえるのではないでしょうか。なお昨年は労働省の職種認定による防水業および従事者の地位の高揚，技能の向上，労務者の確保が実施される段階にあります。事故例を含め，問題点と傾向を限られた時間内で述べたいと思います。

◀通常総会開催お知らせ

本年度通常総会を下記のとおり開催いたします。ご多忙のところ，まことに恐縮ながら何卒ご出席くださいますようお願い申し上げます。

昭和48年2月1日

社団法人　日本建築協会　会長　　塚　本　猛　次

記

と　き　　昭和48年 2 月 21 日（水）午後5時（時間厳守）

ところ　　近畿建築会館4階集会室

議　案　　1. 名誉正会員推挙の件

2. 監事1名選挙の件

3. 本部所属評議員29名選挙の件

お知らせ（冬の合併号予定とりやめ）

昨年の7・8月合併号の会告欄に，冬にもう一回，合併号をだすという会告をのせましたが，その後の努力によって見通しも明るくなりましたので，冬の合併号予定をとりやめて，通常通り発行することになりました。皆さんのご協力を感謝いたします。

社団法人　日本建築協会

前事務局長手島政男君の逝去を悼む



手島君は昨年9月中旬より病気療養中のところ，11月17日午前1時20分薬石効なく逝去されました。享年74才でした。葬儀および告別式は11月19日午後枚方市香里丘3丁目住宅公団営業所2階で執行され，縁故者多数が参列され盛儀でした。

故人は明治31年8月31日北九州市若松区連歌町1丁目430に生れました。大正11年3月東大法学部政治科を卒業し，昭和2年4月株式会社大林組に入社しました。入社後は東京附近の工事勤務より台北にとび同じく工事勤務の後，昭和13年3月台北出張所主任，ついで昭和14年6月上海駐在員となり工事勤務，昭和18年8月ジャカルタ出張所次長，昭和21年6月内地に帰り神戸出張所所長，東京支店庶務部長，大阪本店人事部長を歴任し，昭和24年11月取締役に就任，昭和28年8月辞任して大林組を退職しました。

故人は大和栄衛氏のあとをうけて，昭和29年8月15日本会常務理事，事務局長に就任しました。約11年の長きにわたり本会事業の推進発展を図り，着々と実効を収めました。殊に友好団体である大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部，日本建築材料協会のために狭隘な本会事務所内に仮詰所を提供しその育成を図り，晴れて開所に到るまでいろいろと面倒を見たことは，特筆に値します。

今日大阪における建築6団体の相提携してますますその実力を発揮し，それぞれの会員のためは勿論，広く社会に貢献している現状は，故人の尽力に負うところが多くその功績は洵に大きいと思います。故人は昭和40年6月30日をもって任期満了，惜しまれながら本会を勇退しました。

丁度その当時日本建築総合試験所が昭和39年5月に設立認可をうけて，本会3階に仮事務所を設け開所の準備中であったので，こわれて入所することになりました。

昭和40年7月1日本会をやめた翌日より，昭和42年に開所された後の昭和43年11月30日まで，同所の嘱託として庶務，経理を担当し，かたわら寄附金の募集にも協力し，試験所の創設に並々ならぬ功績がありました。

次に日本建築学会近畿支部の事務局長であった沖田誠一君がある事情で辞任しましたので，あとがまとして昭和43年12月1日に就任，昭和47年11月17日逝去されるまで事務局長として，学会支部のために尽力されました。

さて，故人は昭和39年11月頼みとした長男を亡くし，未亡人とお孫さんを引取られて家庭的に心労の多いことがありました。故人は学会支部在任中74才で亡くなったが，子息の厄介にならず身体のつづく限り働き抜くという心がけであったと思います。

性質は温厚篤実でよく人の和を図り，戦後の社会情勢に対処してよく事務的手腕を発揮し，事務局と会員の絆を強固にされました。毎日の新聞は余暇をさいて隅々まで目を通し，君の識見と経験に培うことを忘れなかったようで，常識の発達した人でした。

台北在勤当時毎朝出勤前に乗馬の練習に励みひとかどの競馬通となるよう研究を怠らなかったようです。内地に帰ってからも競馬好きは変らず，大阪在勤中の休日にはよく仁川の競馬場へ出かけた由です。忘れもしませんが，宴会などで酒の酔いが廻ると，元気な声でお得意の端唄をうたい，外地仕込みの喉を聞かせてくれたものです。私は大林組にいる時から，また本会の理事や事業委員長をしていたことから君と接する機会が多く親しくしており，誠によき友人をなくして悲しみの極みで，今もなおありし日を偲んでおります。

まずは関西建築界の功労者手島君の霊に哀悼の誠を捧げ擱筆します。

岩　崎　甚太郎（48.1.19）

《壁》についてだけ考えてみても……。

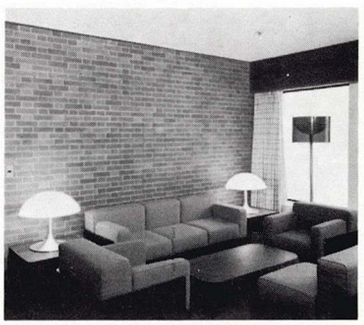
**たとえば、この寺院。幾多の人に深い感銘を与えつづけたことでしょう。
いかにも日本的な調和の美しさ——。いにしえ人の美意識と
造詣の深さには、いまなお新鮮な何かを教えられる気がします。**



もとより、この壁が、私たちの目を楽しませるためだなどとは思いませんが、こころなごむあたたかさ…人間味…ということの大切さを、強く感じるのです。

さらに間仕切壁ともなると、いっそう人間的な豊かさが…

要求されます。物の豊かさや合理性の追求からは得られない何か……人間性に根ざした豊かさこそ、もっと大切にされなければ…。私たちが、いつも考えていることです。実際、私たちマンテン独特の間仕切壁工法が、帝国ホテルをはじめ、有名ホテルにも次つぎに採用されているのも、数かずのすぐれた機能や合理性もさることながら、人間性を根底にした生活の心を、調和を大切にする部屋づくりが認められたからでしょう。



オフィスとしてのビルづくりも同じこと。まさに意のままの設計で、それぞれ個性的な間仕切を可能にしています。

マンテンは、部屋づくりの技術パートナーとして役立ちます。

むろん、机上計画の段階から、設計・施工を一緒に考えるパートナーとして……。それも、たんに間仕切壁だけでなくマンテン特有のアイディア性が好評の、天井下地工法(ネールロックシステム)・床下地工法(ネダコーシステム)をも自在に組み合わせた、住空間づくりのシステムメーカーとしてです。さらに私たちは、間仕切壁だけでも、収納間仕切壁・ユーティリティ間仕切壁…などの実現にも夢をはせながら、これからの生活環境づくりに、地道な努力をつづけているのです。

かずかずの有名高層ビルに採用されている——新時代の軽鉄間仕切壁工法

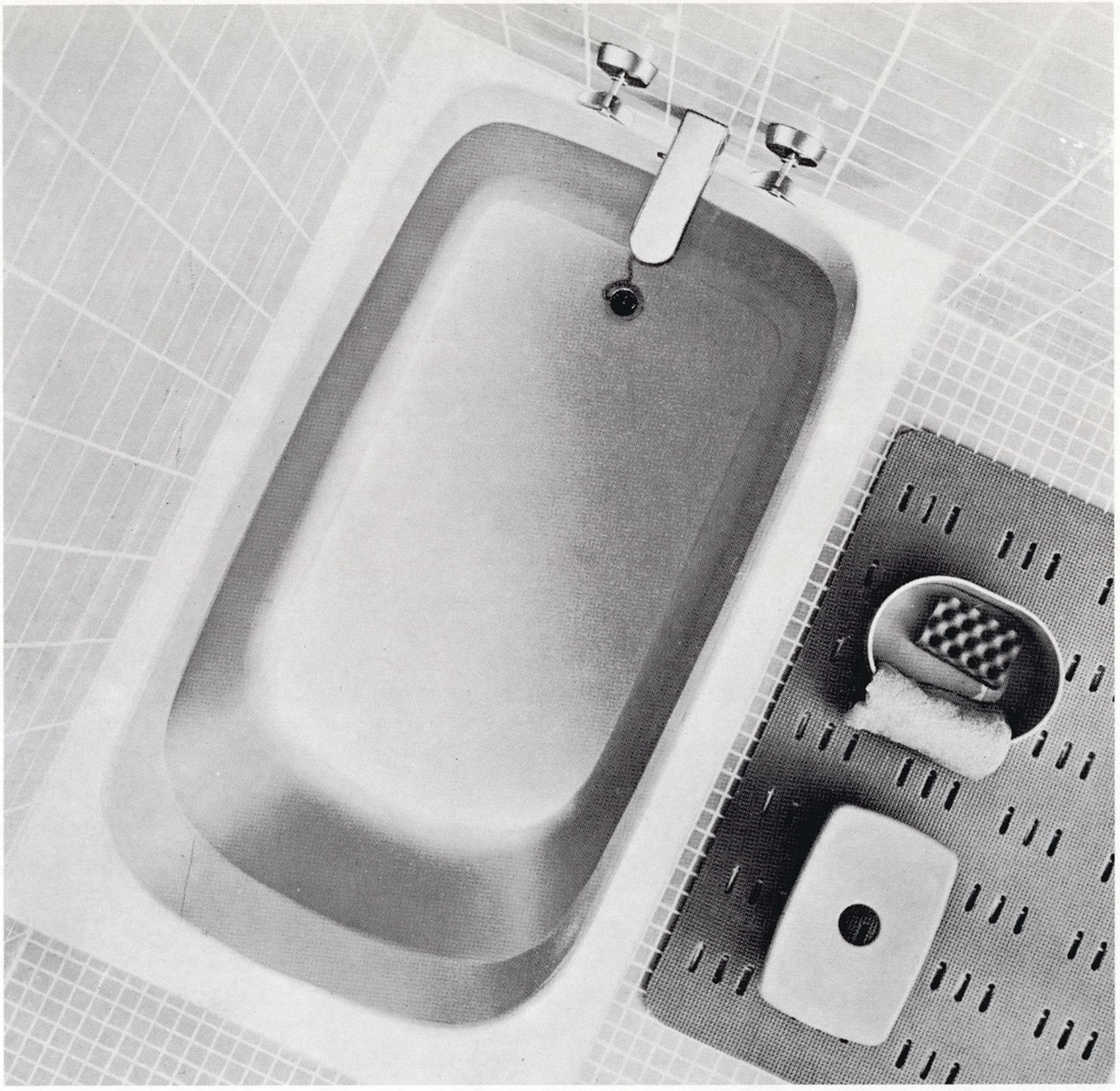
エコニースタッド パーティションシステム

＊カタログを差しあげます。本社・建装部KS係までハガキでご請求ください。

明日の生活環境づくりに
アイディアでとりくむ——

マンテン

株式会社マンテン——本社 〒542 大阪市南区日本橋筋3-2 ☎(06)632-1151代　東京支店 〒136 東京都江東区亀戸2-3-17 ☎(03)682-3241代
名古屋出張所 〒454 名古屋市中川区百船町1-3-4 ☎(052)353-3177代　福岡出張所 〒812 福岡市博多区博多駅東1-12-26(岩瀬ビル) ☎(092)43-4356代　札幌出張所 〒065 札幌市東区北八条東19-22 ☎(011)741-8439



なめらかな肌ざわり、美しい7色のカラー

TOTO のホーローバスには、ピンク・ブルー・グリーン・イエロー・アイボリー・ベージュ・青磁の7色のカラーと白色があります。

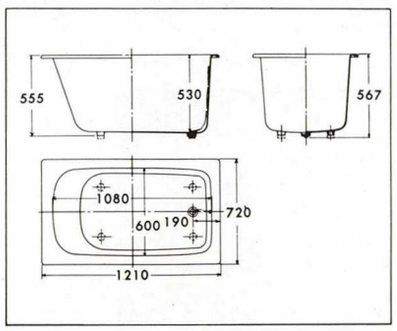
TOTO鋳鉄ホーローバス

FB 70　¥48,000
(排水金具付)

和洋折中形エプロンなしバス

1,210×720×555
容量 250ℓ
専用フロフタ Y9152 #10(#20)
¥2,750

このほかにも、たくさんのホーローバスがあります。右記までご請求下さい。カタログを差し上げます。



TOTO

東陶機器株式会社
本社
〒802 北九州市小倉区篠崎町458
TEL (093)－93－5151
大阪営業所
〒530 大阪市北区曽根崎上2-31-6
(梅新第一生命ビル東館)
TEL (06)－364－1181

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

65

容積制について

この制度は、現在および将来の土地利用計画を勘案し、各種地域地区の都市計画、さらに道路、鉄道等の都市施設を考慮して合理的な土地の高度利用、都市機能の円滑化を図ることを目的とする。すなわち、各種の都市施設に対する需要の発生源であるところの建築物容積率を規制し、都市施設と建築物容積率をバランスさせることができ、また、高さの限度が原則として廃止になるので各用途地域の特性に応じた建築物の形態計画と結びつき、オープンスペースをもつ有効な都市空間を確保することができる。

新用途地域指定に伴い、改正建築基準法の用途地域に関連する規定が働くことになり、全面的に容積制が実施されるので、法第52条の解説を試みる。

法第52条の要約

第1項 建築物の容積率[※1]（延べ面積[※2]の敷地面積に対する割合）は都市計画で定められた数値以下であり、かつ、前面道路の幅員が12m未満[※3]である場合はその幅員のメートルの数値に$\frac{6}{10}$を乗じたもの以下でなければならない。

第2項 敷地が都市計画において定められた計画道路（いわゆる2カ年指定道路を除く）に接する場合または、敷地内に計画道路がある場合において特定行政庁が許可[※4]した建築物については、この計画道路を第1項の前面道路とみなす。この場合敷地のうち計画道路部分を除いた部分を、容積率算定の敷地とみなす。

第3項 許可による容積率割増の要件

第1号[※5] 機械室その他これに類する部分が著しく大きい場合。

第2号[※6] 敷地の周囲に広い公園、広場、道路その他の空地がある場合。

第3号[※7] 令第136条で定める敷地内空地および、敷地面積を有する場合。

第4項 特定行政庁が第2項および、第3項の許可をする場合は、あらかじめ、建築審査会の同意を得なければならない。

※1 容積率

不思議なことに、建築関係者には普及している用語であるが――「建ぺい率」も同様だが――建築基準法では法文作成技術上からそうなるのか用いられていない。

容積制は建築基準法上、昭和38年に法第59条の2（容積地区）として登場した。もっとも、住環境保護のための空地地区制はあったが…。今日に至るまで昭和39年に東京都、また昭和44年に大阪市で部分的に容積地区が指定されているに過ぎない。

しかし、従来からいわば潜在的な容積制限があったといえる。すなわち、旧法第55条（建ぺい率）、旧法第57条（高さの限度）および、旧法第58条（道路の幅員と建物築の高さとの関係）によって建築物形態が規制され、自動的に容積率も規制されてきたといえる。直接的な容積制ではないので、階高を小さくしたり、地階を設けることにより容積率を大きくできるものであり、満足できるものではなかった。

※2 延べ面積

建築物の各階の床面積の合計であるが、令第2条第1項第4号ただし書により、容積率算定の場合には自動車車庫その他のもっぱら自動車の停留または駐車のための施設（誘導車路、操車所および乗降場を含む）の用途に供する部分の床面積は算入しない。ただし、同条第3項により、敷地内の全床面積Aの$\frac{1}{5}$を限度とする。

※3 幅員12m未満の前面道路

容積率は都市施設とのバランスを考えて指定されるが、なかでも道路と大いに関係がある。交通発生処理能力、各種供給処理施設の埋設能力、空間開放度は道路幅員により定まってくるので幅員12m未満の道路による容積率限度が附加されたものである。たとえば、6m道路であれば都市計画指定が400%であっても、0.6×6＝360%が限度となる。

※4 前面道路とみなす計画道路の許可

「交通上、安全上、防火上及び衛生上」の支障がないことが許可の要件となる。これに相当するものとしては、2年以内に事業予定の都市計画道路等に準ずるものが考えられる。許可により道路幅員による容積率の頭打ち緩和が可能になり、また令第131条の2により斜線緩和につながる。長い目でみれば都市計画の先取りであり好ましいが、現実的には事業の遅延、路線の変更等もあり得るので慎重に考えねばならない。

※5 第1号

地区変電所、電話局の自動電話交換室、地域暖冷房センターの機械室等交通発生量の小さいものをいう。

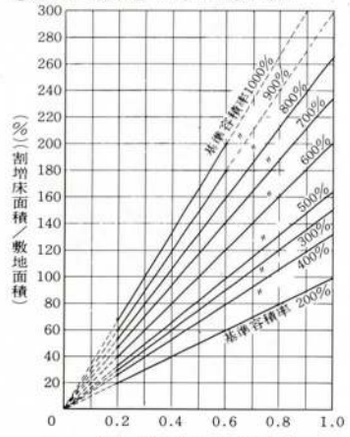
※6 第2号

立地条件によるものであり、容積率指定時に十分配慮されるべきもので※7との関係もあり、積極的な運用は考えられない。

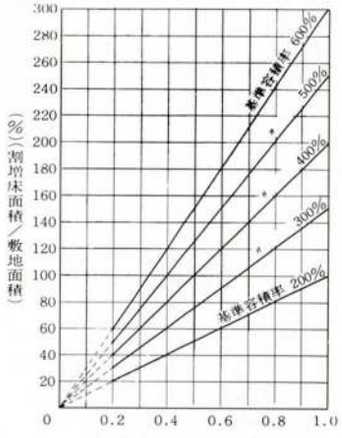
※7 第3号

いわゆる総合設計制度であり、法令コーナー51・52で紹介されている。総合設計制度に関する通達による容積率割増限度は**別表**の通りである。この制度の対象となった建築計画に対しては、住宅金融公庫および日本開発銀行からの融資の途が開かれている。

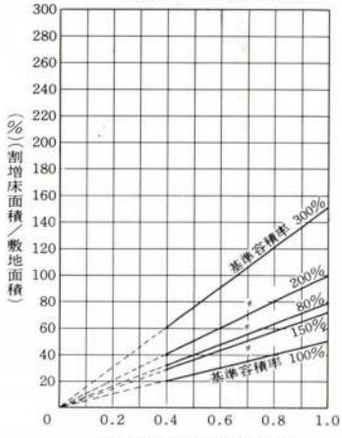
①大都市で基準建ぺい率 100%の場合



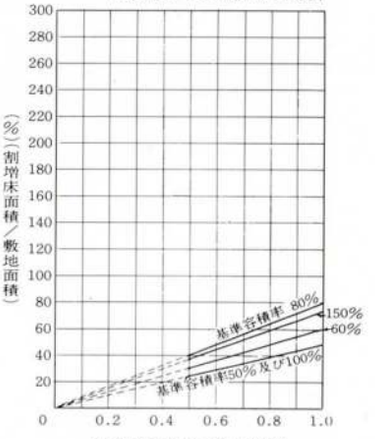
②その他の都市で基準建ぺい率 100%の場合



③基準建ぺい率60%の場合
（大都市、その他の都市共通）



④基準建ぺい率30%、40%又は50%の場合
（大都市、その他の都市共通）



（大阪市建築局建築指導部　岡村雅央）

すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス

SIPOREX



軽量

比重0.5

コンクリート¼の重量

断熱

コンクリートの10倍の断熱性

耐火

法定耐火材料

スミモトビル（ホワイトパーク）・広島市
設計　ＫＡＭＩ建築設計事務所
施工　㈱鴻池組
使用場所　カベ・マジキリ

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまであらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被覆に使用されますが次の建物には特に最適です。

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

シポレックス株式会社

本社・東京支店　東京都千代田区神田司町２－６（平沼ビル）
電話　東　京　（256）代表　３　４　５　１
大　阪　支　店　大阪市西区立売堀北通１－90（第三富士ビル）
電話　大　阪　（538）代表　０　５　２　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３－２（大商ビル）
電話　名古屋　（581）代表　７　４　２　１

読者の頁

ウルビーノとトウスカニアの保存開発

本多正道



アルボルノース出城から見たウルビーノの町とパラッツオ・デュカーレ

1．去る11月号の「ウルビーノの開発と保存」（本誌昭和47年11月号；都市の開発的保存　加藤晃規氏）の記事を読んで、ウルビーノで数日を過した若干の所感をのべてみたい。といっても、私は都市開発を特別に研究しているわけではなく、ただ多くの読者にはあまりなじみのないであろうウルビーノという町について、極めて一般的な概念を、多少でも得ていただくのに役立てばと思うだけである。

2．ウルビーノ。この町の外観と環境は専ら中世的であり、ルネサンス的であって、サン・ジミニアーノ（塔の町）、チエルタルド（ボッカチオの生地）、ボルテルラ（エトルスクの古都市）、コルトーナ（同左）、アッシジ、オルビエトなどと同じく、中世そのままの姿で今日まで生きのびてきたような、典型的な山上の町のひとつである。イタリアでは小さい町でも、ローマ時代の遺跡の一つや二つはあるのが普通であるが、この町にはそれらしいものも見当らない。海抜約５００mの小さい丘の上を覆うようにできた町で、人口僅かに7500人位、とても都市などといえるものではなく、また町の中には産業らしいものはほとんど見当らない。おそらく周辺地区の農業に頼っているのであろう。バスも鉄道もアドリア海岸のペーザロから通じており、西方地域からもバスを乗替えれば交通の便はあるが、いづれも回数が極めて少く、その上バスは中腹の広場までしか来ないし、鉄道駅は更に離れた所にあって、山上の町からの交通は、自家用車にでもよらない限り極めて不便である。

領主の居宅（パラッツオ、Palazzo Ducale）とその周辺の寺院だけが町とは不似合な程の威容を中央にそばだてており、その周囲から中腹にかけて、赤みがかった黄土色の古い家々が、貝殻のようにビッシリと岩山に吸付いている。

ウルビーノは、ルネサンス期に一傭兵隊長から成り上ってここに封されたフェデリコ・ダ・モンテフエルトロの行跡を除いては、考えることができない。今なおフエデリコの町である。

彼はここの領主となって、当時としては他に類をみないほどの善政を行い、イタリアルネサンス期の大小無数の君主中で最高の名君といわれている。名前を聞いただけで近隣の諸君主が震え上ったといわれる恐るべきチエーザレ・ボルジャも彼の領地にはうかうか手出しできなかったといわれる武将であると共に、当時の建築家ルチアノ・ラウラーナ、ブラマンテ、フランチエスコ・デイ・ジョルジオ、多くの画家、彫刻家、文学者を集めて、邸宅、城廓、寺院の築造、美術品の輯集、文化学問の向上に努めた。1506年創立の大学が今なおこんな小さい町に存続しているのも彼の力といえよう。不世生の天才ラフアエロが此の町に生れたことも偶然ではないであろう。今なお彼の生家が残っており、記念館になっている。今はフイレンツェのウフイッツイ画廊にあるピエロ・デラ・フランチエスカ筆のフエデリコの、鼻柱の欠けた左側面の肖像画（槍仕合で鼻柱と共に右眼を失う）と、これと対をなす妻の右側面の肖像画は、名画としても名高い。

パラッツオの東側、すなわちリナシメント広場側の外観は黄桃色の練瓦積のままで、平凡な立面に見えるが、西側は岩山の急斜面の中腹から立ち上り、極めて特色のある外観で、壁面に附着した細い円塔の先端が鋭い円錐形の屋根となっており、明るいローマネスク・ルネサンス風の城郭兼居宅である。内部の多くの部屋は現在マルケ地方国立美術館となっていて、ラファエロのスケッチになるゴブラン織、ボッチチエリーやマルティーニのスケッチによる扉廻りの象眼細工、其他ビバリーニ、カルロ・クレベリ、ベロキオ、パオロ・ウッチエロ、ガン、ピエロ・デラ・フランチエスカ等の画があり、また当地に残る唯一のラファエロ筆の女の肖像がある。

谷を隔てた東南の低い丘上にはブラマンテ（或はフランチエスコ・デイ・ジョルジオ？）の設計になるクラシック風のサンベルナルデイノ寺院が静かな環境のうちに建っており、ここにフェデリコ夫妻、子息グイドバルド夫妻の棺がある。ここから主丘の眺め、特に夕方は、城廓や寺院がシンキロウのように中空に浮んで見える。そのほか二三の寺院、中世の小さい講堂などは勿論、丘上やその斜面に密集している建物の殆んどが古いもので、僅かに谷間や山麓に少し新しい建物があるばかりで、とても開発などという概念の対象になりそうにみえない。観光以外にはどうしようもなさそうに思える。

その観光客も、現在のところ僅かである。イタリア半島の裏側にあり、交通不便ということもあろうが、観光的魅力に乏しいともいえるであろう。近くのペーザロなどは、此辺一帯九十九里浜のような海岸があるので、少くとも夏期のバカンスには、避暑客と海水浴客で大変なにぎわいを呈し、新しいホテルがどんどん建てられているがなお不足のような状態であり、さほど遠くないサンマリーノも世界各地からの観光客でにぎわっているが、これらの観光客もほとんどついでにウルビーノを訪ねるようなことはしないようである。

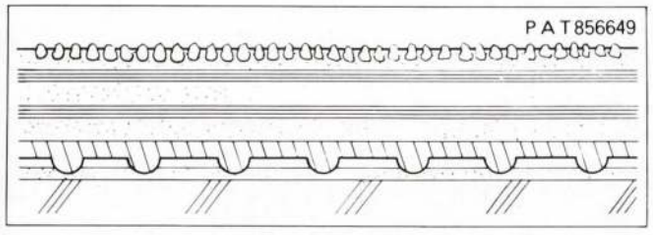
こうしてみると、観光地として開発されても、果してどれ程発展するのか、素人考えにも疑わしいような気がする。結局このような町は開発というよりも保存と復旧と内部改造が主となり、せいぜい上下水道等の衛生施設の開発位が行われる程度ではないだろうか。現在のところ、例えば路傍にある噴泉も「飲料に適せず」の札が立ててあり、清水にもめぐまれていないようにみえる。

3．トウスカニア。それにつけて思い合されるのはトウスカニアの町である。ヴィテルボーの西48kmばかりのところにある小さい丘上の町で、エトルリア人の古墳も多く、石棺その他のエトルリアの発堀品も多いが、小さい城内は完全に中世の町である。谷を隔てた東側の低い丘上には、イタリアローマネスク建築の中でも特色あり、しかも当初の面影をかなりよく残している



フクレ防止宣言!!

防水の難問を解決した
特許ストライプ工法 **ピロウエルド**



1.露出防水のフクレを完全に防止します。
2.下地挙動を緩和し、優れた耐亀裂性を発揮します。
3.従来の絶縁工法にない接着力で、風による剝離を防止します。

日本アスファルト防水工業協同組合
●東京都足立区千住東2丁目21番28号　TEL東京(882)2424(代表)
●大阪市東淀川区瑞光通り4丁目30の2　TEL大阪(329)7737(代表)

マルエス S 日新

日新工業株式会社
本社営業所●東京都足立区千住東2丁目21番28号　TEL東京(882)2424(代表)
大阪支店●大阪市東淀川区瑞光通り4丁目30の2　TEL大阪(329)7737～7740
出張所●名古屋(741)4257～8●広島(21)1010・1061●福岡(74)3461～3
●札幌(51)5659・6885●山形(23)0437～9　工場●東京●埼玉●山形


サンタ・マリア・マジョーレ寺院（トウスカニア）

ので有名なサンタ・マリア・マジョーレーとサン・ピエトロの2つの寺院が廃寺のような姿でひつそりと建っているが（目下修理中）、城内に入ってみると、城門附近の数軒を除いて、全城内は死の町で誰も住んでいない。つまり住民は全部疎開させられて、今にもくづれ落ちそうな家々を木の控材で補強しながら、片端から大補修をしている。内部の床や壁をこわして、鉄筋コンクリートの柱や梁をつくつているもの、外壁の傾いてクラックの入ったのを取外したり起したりして、新しい煉瓦やブロックで積直しているもの等々まったく大変な仕事である。人気のないところには野良猫がうろつき廻っていて、無気味である。

城外の西側にはかなり広い台地があって、少し前までは畑地であつたのであろうが、今そこに新しいアパートが相当に建ち並び、役所や学校等の公共施設もここに建てられて、新しい町をつくっている。多分城内の住人はここへ移されたのであろう。しかし一体どんな風にして住民を全部移転させたのか、そして改修後彼等の大部分は元の家に帰るのかどうか、補償はどうなっているのか。この膨大な費用はどこから出ているのか、こんな小さな貧しい自治体ではとても負担できないと思われるから、多分国家が負担しているのであろうが、われわれの頭では、只々驚くばかりである。役所へでも立寄って聞けば、疑問点の概要だけでも明かにすることができるかもしれないと思ったが、何分正午から15時頃まで昼休みのイタリアの役所では、日帰りの旅行者にはどうすることもできなかった。すべては疑問のままである。町ぐるみの保存工事というものの外見だけを紹介する。

（ほんだ まさみち　石本建築事務所大阪支所長）

TV映画〝世界のエネルギー〟の放映

このほど鹿島建設が企画し、鹿島映画で製作された〝世界のエネルギー〟が下記のとおり延べ13回にわたり、放映される。

放送局および放送日時

●フジテレビ（東京）　1月7日～4月1日
毎日曜日　午前8時00分～8時30分

●東海テレビ（名古屋）　1月12日～4月6日
毎金曜日　午前11時00分～11時30分

●関西テレビ（大阪）　1月5日～3月30日
毎金曜日　午後4時30分～5時00分

（テーマ）

第1話　エネルギーと未来
第2話　石油時代
第3話　国際大手
第4話　主張する産油国
第5話　資源を求めて
第6話　ヨーロッパの新らしい動き
第7話　エネルギー大国アメリカ
第8話　エネルギーと生活
第9話　天然ガス登場
第10話　原子力時代への道
第11話　見なおされる資源と技術
第12話　エネルギーと環境
第13話　総集編――日本のエネルギー問題

アッピール「科学的な民主的国土建設をめざして点検、構想、実践の3つの運動を早急におこそう」

新建築家技術者集団第2回大会が、さる1972年11月3日から5日の3日間にわたって京都で開催された。

第1日目は見学会とボーリング大会、第2日目は新建研究集会、第3日目は大会そのものの行事が行われ、住みよい環境づくりをめざす建築家技術者の運動として、大きな成功がみられた。「若々しいフレッシュな多彩な運動を引きつづき拡大し、質の高い技術・技術者運動を発展させよう」・「各層の建築家・技術者にさらに意識的によびかけ、組織を整備し、しっかりした体制をつくり上げよう」という'73年度に向けての方針が採択された。

とくに研究集会において、最近の日本列島改造論にともなって、国土の荒廃化と公害化に対して、下記のような「科学的な民主的国土建設をめざして点検、構想、実践の3つの運動を早急におこそう」というアッピールが採択されたのが注目される。

そのアッピールが建築協会あてに送られてきたので、以下紹介する。

第1回新建研究集会の討議および準備をつうじて、「日本列島改造論」を旗印としておこなわれている国土改変の動きは、今後15年間にG．N．P．を4倍にするという超「高度成長」政策のもとに、日本列島全体を大企業が高利潤を生むための国土に改造しようとするものであることが明らかになりました。これがそのまま実行されれば、国土全体に公害をばらまき、美しい自然を破壊し、地方自治を形骸化させ、過疎、過密は解消するどころかますます激化し、わたしたちの国土に取り返しのつかない重大な荒廃化を招くことが予想されます。

わたしたちは、国土建設に少なからぬ責任を負っている建築家、技術者として、こうした国土の荒廃化をゆるすことはできません。

しかし、一方で、「改造論」の"目玉商品"大規模工業基地のひとつ志布志湾における地域住民の開発反対の運動が、第1次計画案を撤回させたように、国土の荒廃化に反対し、美しい自然や生活を守る動きが全国各地でおこりつつあります。こうした、地域住民の生活を向上させ、地域の民主的な発展をめざした国土改造こそ、わたしたちが求めなければならないものです。

こうした状況のもとで、いま、わたくしたちは、建築家・技術者として、あるいは、新建として、どのような行動をおこすべきでしょうか。

当面、つぎの3つの運動を早急につよめていくことを提起します。

(1) 科学的、民主的な観点から、「改造論」の論点およびその具体的なあらわれを、分析し、その矛盾点を指摘しながら、点検していこう。

(2) 各支部、各地域で、国土や都市の荒廃化の姿を予測していくこととその形象化、あるいは、地域の住民とともに、地域を住みよくする立場からの構想づくりの運動をおこそう。

(3) 建築家・技術者のおかれている各職場で、この「改造論」がどういう形であらわれているか調査し、その実態をあきらかにしょう。

そして、これらの地域に根をおろした点検・構想・実践のうえにたって、さらに長期的には、科学的な民主的国土計画を作成し、国土建設のプロセスをあきらかにしていこう。

研究集会の名において新建全会員に、これらの運動を提起するとともに、ひろく社会に支持と連帯を呼びかけます。

1972年11月4日

「壁式プレキヤスト鉄筋コンクリート造5階建共同住宅設計指針・同解説」の解釈について（回答）

建設省住宅局建築指導課長

昭和47年10月9日付け建指第357号で照会のあった標記については、下記のとおり、回答する。

記

耐力壁の端部及び開口部の周囲に設けられる曲げ補強筋を、耐力壁のせん断補強筋に兼用することはできない。

なお、本件に関しては、標記の設計指針のほか、日本建築学会制定の「壁式プレキヤスト造設計規準」第5条及び「壁式鉄筋コンクリート造設計規準」第4条を参照されたい。



完全責任施工　年限保証

日本アスのアスファルト防水

■シグマートによるウエルドシステム防水工法
■特殊絶縁防水工法（特許出願中）
■メルタン防水工法



50 年の実績が生んだ防水

シグマート・SPウエルドルーフィング

■全国に配置された組合員の強力な連繋で完全な施工工事をお受けいたします

地区別	会社名	電話
北海道地区	日本防水総業株式会社	札幌 231－7511代
	大和工業㈱苫小牧出張所	苫小牧 4－3358
	日新建工（株）札幌出張所	札幌 221－5015
東北地区	信栄工事（株）仙台出張所	仙台 23－1735
	日新建工（株）仙台支店	仙台 25－5431代
関東地区	伊藤建材株式会社	東京 842－1431代
	春日工業株式会社	東京 802－3871代
	金岡工業株式会社	東京 363－4341代
	木下工業株式会社	東京 634－0821代
	協立工業株式会社	東京 433－1961
	大東スレート株式会社	東京 883－3131代
	日新建工株式会社	東京 803－2411代
	日本綜合防水株式会社	東京 403－0171代
	野口工材株式会社	東京 444－3531代
	鍋田工業株式会社	東京 263－4861代
	東京瀝青株式会社	東京 803－3481-3
	富士工材株式会社	東京 634－0161代
	藤瀝青興業株式会社	東京 362－5697代
	北条瀝青工業株式会社	東京 551－2676
	マサル瀝青工業株式会社	東京 842－6311代
	大和工業株式会社	東京 802－4751代
	瀝青建材株式会社	東京 861－2706～8
	瀝青建材（株）宇都宮出張所	宇都宮 22－9737
	石田建材工業株式会社	高崎 22－3301～3
	石田建材工業（株）大宮支店	埼玉 31－1225～7
	石田建材工業（株）宇都宮出張所	宇都宮 33－7697
	同和建業株式会社	新潟 45－2251代
	同和建業㈱長野営業所	長野 27－0298
	株式会社奈良屋商店	水戸 41－5141代
北陸地区	石橋建材株式会社	福井 23－0775
	有限会社折橋政次郎商店	高岡 22－0999
	有限会社小島工業所	高岡 23－0391
	島屋建設株式会社	金沢 42－5151

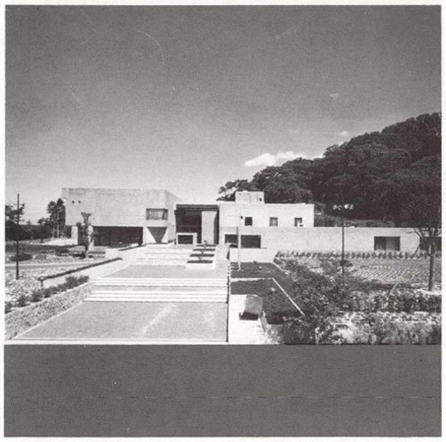
地区別	会社名	電話
東海地区	協和建材工業株式会社	清水 45－2221代
	三信建材工業株式会社	豊橋 45－8211代
	中央建材工業株式会社	名古屋 761－6181代
	東京建材工業株式会社	名古屋 411－6621
	東海物産株式会社	名古屋 721－2211-5
	日本建材鋼業株式会社	名古屋571－5541～4
	三井工業株式会社	静岡 85－9151～3
	宮崎建材株式会社	名古屋 331－1531代
近畿地区	池田瀝青工業株式会社	大阪 699－5757-9
	清水興業株式会社	大阪 372－0250～3
	東洋建材株式会社	京都 361－9171
	棚田建材有限会社	神戸 22－9182代
	中村瀝青工業株式会社	神戸 34－5884
	日新工材株式会社	大阪 541－3785～6
	有限会社ミサキ商会	和歌山 22－3922
	フタバ興業株式会社	大阪 385－2781代
	マサル瀝青工業（株）大阪営業所	大阪 303－0241代
	マルエス工業株式会社	大阪 458－4841～3
	日新建工（株）大阪出張所	大阪 541－1607～8
	日本綜合防水株式会社大阪支店	大阪 329－1023代
	有限会社ミサキ商会	和歌山 22－3922
中国地区	株式会社三洋技建	大竹 2－5155代
	東中国防水工業株式会社	岡山 23－1181代
	豊永建材株式会社	広島 61－6371～3
	大和工業（株）広島出張所	広島 71－4687
	株式会社巴商会	宇部 21－0760
四国地区	大三工業株式会社	高松 51－6811代
	大三工業（株）高知支店	高知 83－7328～9
	徳島大三工業株式会社	徳島 54－4161代
	株式会社マルマス河野商店	今治 2－5000代
	株式会社山本商会	松山 31－6261代
九州地区	安藤工事株式会社	福岡 28－5207～9
	安藤工事株式会社	長崎 44－7583
	加茂装備株式会社	福岡 56－6250
	株式会社北原建材商会	鹿児島 23－9395～6
	株式会社　工材社	北九州 38－1468～9
	株式会社大二商会	宮崎 24－1625
	日建工材株式会社	福岡 74－6665代
	日新興業株式会社	延岡 3－2455～9
	上原建設工業社	沖縄 098－2368

■建設省東計第240号認可

日本アスファルト防水工業協同組合

東京都足立区千住東2－21－28 日新工業株式会社内　電話（882）2424（代）
関東支部　東京都足立区千住東2-21-28 日新工業株式会社内　電話（882）2424（代）
関西支部　大阪市東淀川区瑞光通り4-30-2 日新工業株式会社大阪支店内　電話(329)7737(大代)
九州支部　福岡市大手門1－6 日新工業株式会社九州出張所内　電話（74）3461

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



838. 鳥取県県立博物館

設計：日建設計
施工：熊谷組
a．鳥取市東町２丁目
b．3,537.57 m²
c．9,660.94 m²
d．SRC造、３F、B１
e．昭和45年10月～昭和47年６月



839. 加古川産業会館

設計：K構造研究所
施工：大成建設
a．加古川市加古川町寺家町南五反田
b．2,472.63 m²
c．20,030.54 m²
d．SRC造、８F、B１、P２
e．昭和46年７月～昭和47年９月



840. 東大阪市立青少年婦人センター

設計：大和建築事務所
施工：日岡工務店
a．東大阪市長栄寺２丁目18
b．453.16 m²
c．1,408.36 m²
d．RC造、３F、PH１
e．昭和47年１月～昭和47年９月



841. 札幌互助センター

設計：山下寿郎設計事務所札幌支社
施工：三井建設札幌支店
a．札幌市豊平区水車町５丁目
b．1,775.907 m²
c．6,921.145 m²
d．SRC造、５F、B１
e．昭和46年10月～昭和47年８月



842. 七条電報電話局（増築）

設計：電々公社近畿電気通信局第一建築部
施工：大日本土木大阪支店
a．京都市下京区七条通高倉東入ル材木町476-1
b．1,000.8 m²
c．2,997.7 m²
d．RC造、２F、B１、PH１
e．昭和46年９月～昭和47年９月



843. 伊奈製陶厚生会館

設計：竹中工務店
施工：竹中工務店
a．佐賀県鹿島市浜町
b．922 m²
c．1,941 m²
d．SRC造、３F
e．昭和46年11月～昭和47年９月



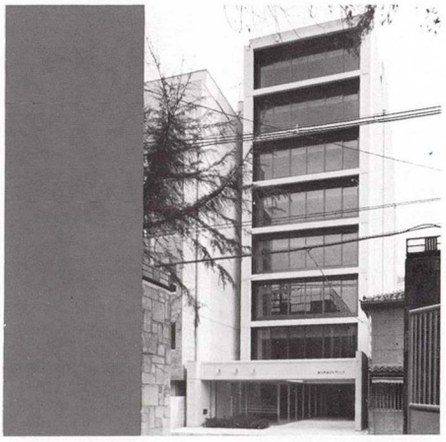
844. セントラルビル

設計：日建設計
施工：竹中工務店
a．高松市亀井町７－15
b．1,066.01 m²
c．11,826.42 m²
d．SRC造、９F、B２
e．昭和45年12月～昭和47年６月



845. 東明ビル

設計：峯建設計事務所
施工：浅沼組
a．大阪市東区北久宝寺５－25
b．422.477 m²
c．3,630.007 m²
d．SRC造、８F、B１
e．昭和46年６月～昭和47年５月



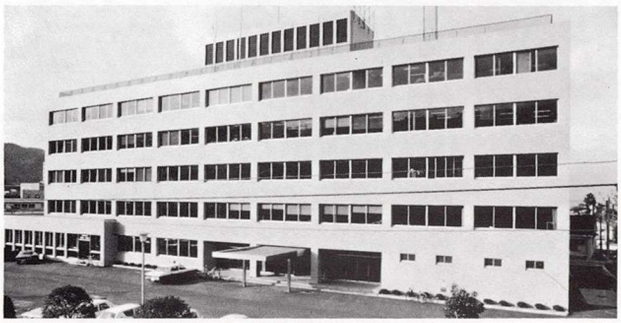
846. 第二芦池ビル

設計：大成建設
施工：大成建設
a．大阪市南区安堂寺橋通３－40
b．280.62 m²
c．2,193,1 m²
d．SRC造、９F
e．昭和46年６月～昭和47年３月

防水層の保護と軽量、断熱に

東邦のパーライトコンクリート PC－D工法

（歩行用及び防水下地用）



屋上アスファルト防水層の保護、断熱、軽量に東邦パーライトコンクリートPC－D工法採用の大津法務合同庁舎
設計　近畿地方建設局　　施工　KK伊藤組、KK笹川組

作業が一工程省け工期の短縮とコストが安くなる合理化工法

- 防水層の押えに使用し仕上モルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法
- デッキプレートの軽量化や露出防水下地、または貼物下地にナラシモルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法

畳下地の省力化と塩ビ系タイル下地の防湿、防温、軽量化、断熱（結露防止）に

東邦のパーライトモルタル PM－C工法



各階のタタミ下地に東邦パーライトモルタルPM－C工法採用の大宮高層分譲住宅
設計　大阪市住宅供給公社　　施工　KK間組、KK熊谷組

- タタミ下地の床組（大工仕事）が全く要らないので**工期短縮とコストが安くなる**
- 床組しないので建物の**ボリュームの節約ができる**
- 無機質 100％絶対耐火それに多孔性材料のため吸温、遮音に優れている
- **独立気泡**の東邦パーライトと**防水液を使用した完全防水パーライトモルタル**であるため、湿気を全く透さない
- **比重・断熱共木材並１：３**
  （比重0.85kg／ℓ、熱伝導率0.14kcal／mhc）

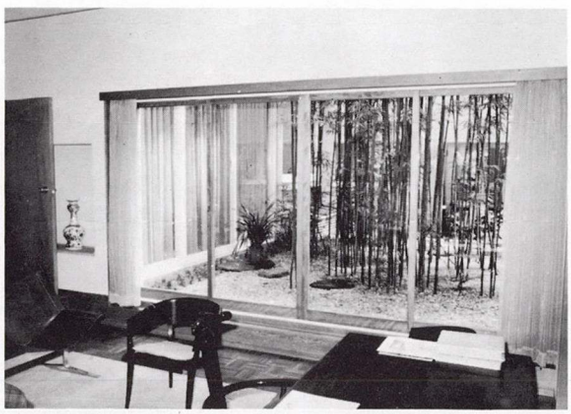
遂に出た…ベニヤ仮枠コンクリート下地の**かべ**、天井の一パツ重厚吹付仕上工法

建設省防火認定材料基材同等第0004号

ネオパールスキン®

化粧、吸音、防湿、断熱（結露防止）と多目的用に

- ベニヤ仮枠コンクリート下地（天井及びかべ）に直接吹付して剥離の心配がない
- **かべ面は金ゴテ押え**すれば聚洛壁タイプの表面強度のあるソフトでデラックスなムードである（ネオパールスキンの特徴）
- 一工程で仕上るので**工期の短縮とコストが安くなる**
- 下地はボード類、鉄板類、石綿板、モルタルなど何んでもよい
- 標準色20色と特別色もできる



かべ面にネオパールスキン７ＦＫ（吹付後金ゴテ押え）採用の村野、森建築事務所
設計　村野・森建築事務所　　施工　鹿島建設ＫＫ

東邦パーライト株式会社

大阪市東区森之宮西の町５９４　ＴＥＬ 代表 06－941－9243～7
〈営業所〉 東京03－974－３２２５～７　広島0822－44－６３６０～１　岡山0862－72－２０６９
高松0878－33－１８０２　金沢0762－44－３３４７

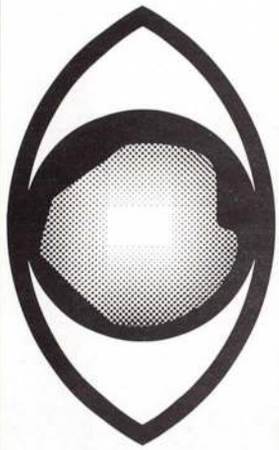
建築の眼

安田　宏
新日本技術コンサルタント企画部長

城谷　豊
福井大学教授

木原正雄
住宅公団大阪支所建築部長

上領潤一郎
新日本空調大阪支店営業部課長



1月号より6月号まで上記4氏で担当

□凍れる音楽

――建築は私の恋人である。彼女はいくら私が見つめても決して逃げようとはしない。天候や光線の加減で多少顔や姿を変えることはあっても、いつも私の心の空虚をみたしてくれる。山の深い森にわけ入って山門をくぐったその瞬間、ゴーッと天にこだまする大合唱、交響楽を演奏している多くの建物；右の金堂、左の五重の塔、それぞれが力の限り妙技を発揮して、訪う者をして〝お待ちしていましたヨ〟と歓迎してくれる彼女たち、建築はいつも私に音楽をきかせてくれるのである。――という書き出しで、建築のもつ音律的感覚を説明した論文があった。

建築の形、配色、比例を音楽の旋律、和音、律動の三要素になぞらえ、建築が真の美しさを具えるならば必ず時間意識をわれわれに感じさせ、そこにみられるよき調和と統一が音律や音楽を体験させる過程を、先人の教示と事例研究を通じて心理学的に説明している。〝建築は凍れる音楽である〟という言葉をその人なりに解明したものであった。

最近、そのような音楽を感じさせる作品にしばらくおめにかかっていない。世の中がただむやみに忙しく、ひたすら合理性の探求に追いまくられていた故ばかりではないと思う。四次元である時間芸術（音楽）を作品の中に織り込みたいものである。

（Y）

□地方建設産業史発掘の提唱

地方へ赴任して強く感ずるのは、地方史への興味、とくに地元建設資本の役割についての歴史的興味である。私の場合、この地方の出身である飛島建設や熊谷組、ことに後者が明治以来この地方の発展に及ぼしてきた影響である。古くは九頭竜の河川工事、戦後は戦災・震災復興事業など、枚挙にいとまない工事請負が広くこの地方の風土的・経済的状況を変えてきただけでなく、親子二代にわたり福井市政界に君臨し、それらを基礎に経済的にも政治的にも中央進出を果たし、名実ともに大手5社に次ぐ大建設資本に成長した。しかしその成長のメカニズムが、地域社会の発展との関連では必ずしも明確にされているとはいえないし、ことに地場資本から全国資本への発展過程の解明は大きな課題であろう。

北陸にかぎらず全国各地における建設業発展史といったものは、県単位の建設業協会沿革史などが若干あるほかは、個別企業の社史の中に触れられている程度で、まして建設業を中心に据えた地方史などはまずないといってよい。そこで私は各地方における建設業成立・発展史の掘り起こしを提唱し、それらの集積としての内容豊富な日本建設産業発展史の編さんを期待したいのである。

（S）

□生活の智恵

高層住宅の設計に携って居た頃のことであるが、入居された方から投書が届きました――それは2段ベッドを置いたところ、窓の処が危険なので何とかならないか、という苦情です。不特定多数を対象に建てられる住宅の設計にあっては、個々の生活状況に合せる訳に行きません。ベッドなる家具の方で、格子など付けて戴きたい旨、御返事して御了解を得たものです。三次的な家具に合せて一次的な器の設計を、とやかくいわれては、たまったものではありません。それが、生活する上での人間の智恵ではないでしょうか。またそれと同時に、洋服ダンスや和ダンスなどは長年の間に住宅のモデュールと家具そのものとが、あるまとまった関係で日本人の生活らしく一応納っているようですが、近年耐久消費材である家庭電化製品については、今一つ日本の住宅の経済寸法とマッチしない点があるように思われる。例えば、住宅設計上どうしても面積の切りつめは、浴室、便所あたりに皺寄せされ勝ちであり、そこに置くであろう電気洗濯機まわりが、手狭である例は数多いと思う。その洗濯機がどれも角ばっているのは、どういう訳でしょう。少くとも機能上からいっても、手前の両角は大きな丸面であった方が良いのではないかと思われるが、メーカーさんの御意見はどんなもんでしょう。

（K）

□計画と施工との谷間

テレビ番組で素人の作詞・作曲を発表する番組がある。歌曲の場合、本来作詞があって作曲されるのが順番だと思うが、実際はメロディーが先にできて詞が後から付けられるケースが非常に多いようである。勿論この場合は順序がどちらであろうと大した問題ではないが、これと同じようなことが建築の場合でも考えられる。然し建築の場合は、社会と経済に密着しているだけにことは簡単には済まされない。次元は違うが、建築は計画（要求）と施工（経済）との相関関係の矛盾を如何に調和させ克服して完成させるかというプロセスが総てである。依頼者と設計者と施工者との接渉は、最終的には坪当り幾らということで結着がつくのが通例である。この場合、まづは理想的な計画を立てていかに現実とマッチさせるか、または坪当り幾らという現実をふまえて計画を進めるか、恐らくこの業界の総ての人々がその立場立場によって苦悩する点はこれである。業界全体が巨大になり、生産体制が技術的にも機構的にも近代化されて行く現在、計画と施工のプロセスにおいて、理想と現実とのより合理的な処理の方法が社会的な問題として重要視されねばならぬ所以である。

（K）



日野ゴルフ倶楽部　クラブハウス

設計監理　彦谷建築設計事務所
施　　工　不二建設株式会社

所 在 地　滋賀県蒲生郡日野町杣
建築面積　2042.59㎡
延 面 積　B1　228.48㎡
1　1422.80㎡　ピロティ　453.22㎡
M2　497.04
2　1098.38
計　3246.70
構造規模　RC造　地下1階　地上2階
工　　期　S.46.4～S.47.10
主要仕上　外壁・コンクリート打放しの上カラークリア吹付仕上げ
Y.S.G吹付仕上げ
ジュータン・ヒウガカーペット

ARCHITECTURE AND SOCIETY VOL.54 1973

KENTIKU TO SYAKAI

建築と社会

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

2

泉北ニュータウンのコミュニティ施設

SPECIAL FEATURES ON COMMUNITY FACILITIES IN SENBOKU NEWTOWN

会　告　実務に直結した建築工事別説明会（第2回）「最近のウレタン防水及シート防水の材料と工法について」。通常総会のお知らせ。前事務局長手島政男君の逝去を悼む／岩崎甚太郎。…… 1

法令コーナー65.　容積制について……岡村　雅央… 5

読者の頁　ウルビーノとトウスカニアの保存開発(本多正道)。アッピール「科学的な民主的国土建設をめざして，点検，構想，実践の3つの運動を早急におこそう」(新建築家技術者集団)。「壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造5階建共同住宅設計指針・同解説」の解釈について(回答)。… 7

スケッチブック　最近竣工した新建築（No.838～No.846）……11

建築の眼　凍れる音楽／安田　宏・地方建設産業史発掘の提唱／城谷豊生活の智恵／木原正雄・計画と施工との谷間／上領潤一郎……13

海外写真　イギリスの大学2　セントラルロンドン高等専門学校……17
写真・（故）田中　宏明，文・河辺　聡

特集＝泉北ニュータウンのコミュニティ施設

総論　泉北ニュータウンのコミュニティ施設 ……大阪府企業局調査室…18

1 各コミュニティ施設紹介

1—1　泉北高速鉄道と駅舎 ……20

1—2　線道ネットワーク ……21

1—3　泉ケ丘・栂地区センター ……22

1—4　泉ケ丘H住区・栂J住区近隣センター ……23

1—5　泉ケ丘プール ……24

2 泉北ヤングタウン

2—1　総論と配置図・施設概要 ……26

2—2　府立青少年会館・泉北勤労福祉センター ……28

2—3　大阪府住宅供給公社棟 ……30

2—4　雇用促進事業団棟 ……32

2—5　民間企業棟 ……34

2—6　入居者へのアンケート ……37

技術の頁　今月号は休みます。

都市の開発的保存13.（最終回）　EPILOGUE—都市のアメニティと保存……鳴海　邦碩…41

日本建築総合試験所だより6．新設された音響・熱試験施設に期待する／松浦邦男・ニュース・梁床用耐火試験炉……45

月報　日本建築協会月間の動き（昭和47年12月分）……46

表紙デザイン・島村　昇

編集人　松井昭光
印刷　昭和48年2月20日
発行　昭和48年2月25日
発行人　福中定三郎
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪 231—9648
振替口座 大阪 39975
印刷者　網野栄
印刷所　㈱研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪 361—2091
売価　1部 400円・送料共

昭和47年度編集委員会

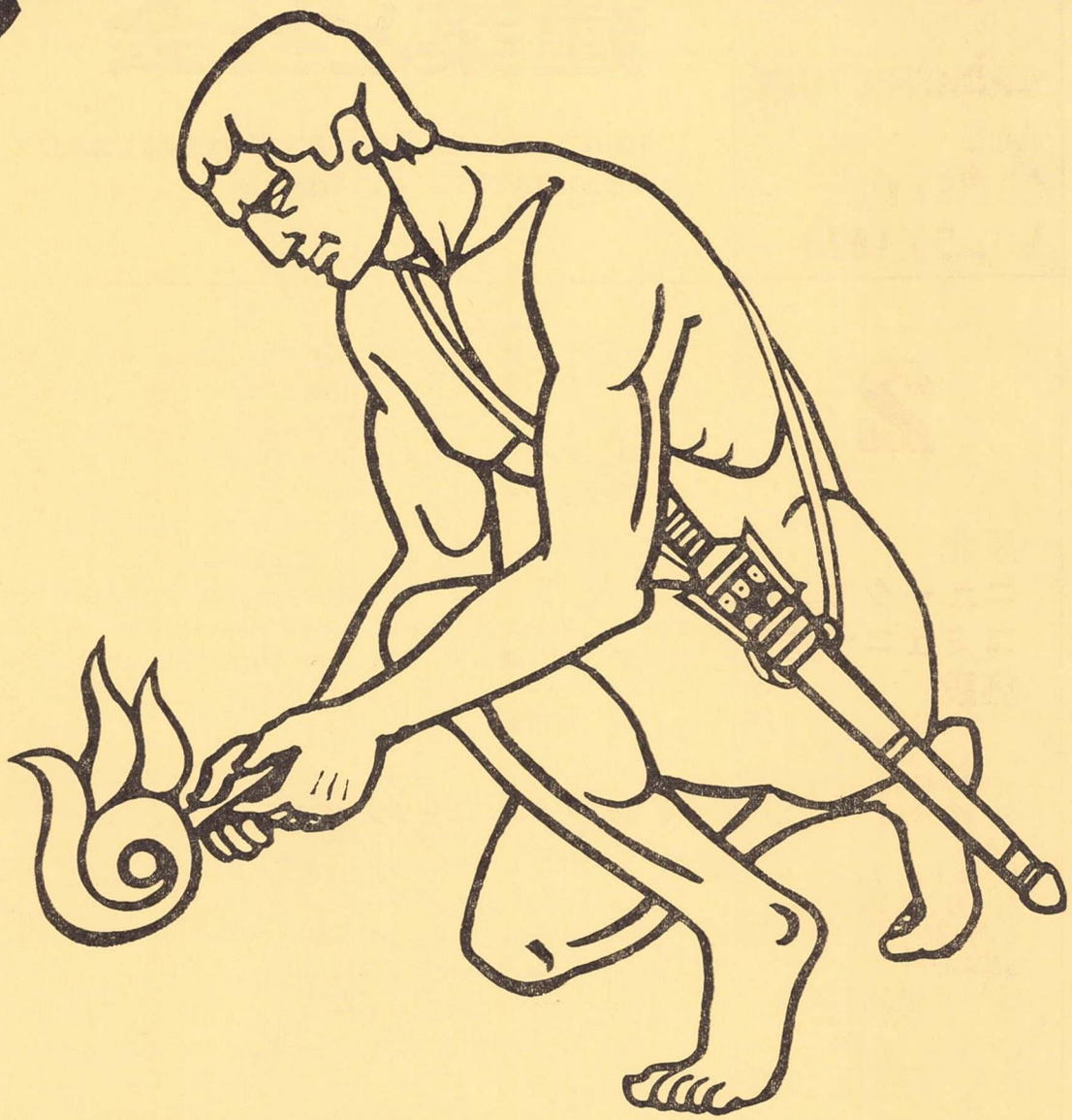
編集委員長　渡辺　豊
彦谷　邦一

編集理事　安田　丑作　日下　正基　竹嶋　祥夫　片方　信也　森本　信明　三輪　嘉男　加藤　満　岩口　勝　永谷　二郎　谷　淳之介　大蔵　勝
北垣　智造　白井　周二　今元　康彦　山田　勝成　小西　評　堀内　三郎　谷口　尚武　岩下　久哉　井上　規　尾亀　清四郎

編集委員　池田　恵次　森埜　和枝　安永　絆二　矢野　邦昭　宮坂　一也　口羽　竜二　江藤　暢英　小林　満　佐伯　晃　村田　光平　竹山　清明　増淵　昌利　加藤　照男
鈴木　俊世　松尾　純　松原　徹雄　中谷　麻差男　上野　登統

事業委員より　大橋　一雄　窪田　祐二　田村　真夫　三品　哲夫　佐々木　純一

■次号特集予告—大阪大林ビルディング
■4月号特集予告—レジャーと施設



※ギリシャ神話でプロメテウスは〈予見する者〉ともいわれ、天上の火を人間にあたえました。

《現代のプロメテウス》

近電工はあすを考えています

総合設備産業のパイオニア

〈近電工〉は新しい時代の展開とともに成長をつづけます。電気工事はもとより計装・空調・土木工事まで、その総合力を広範な分野で発揮し、国際的レベルの技術・技能をほこる精鋭企業として、70年代のエネルギーを先導します。

電気・計装・空調・土木

近畿電氣工事株式會社

取締役会長　大森久司

取締役社長　今元康彦

海外写真

イギリスの大学 2

グループISSB71
写真　田中宏明（故）
文　　河辺　聡



セントラルロンドン高等専門学校

高等専門学校は大学と並んでイギリス高等教育の一翼を担う、技術系専門学校である。1966年その制度は改革され、イギリス全土で一気に30もの新しい企画がなされた。教育の機会均等に名を借りた技術革新の波立ちであった。写真はロンドンの都心にある理工学部（上）と建築工学部（下）である。

一人の旅行者としてはイギリス高等教育の現在的状況は知る由しもない。しかし日に照らされたスターリング様式の大きなガラス壁の前での、一人の老婦人の小さな露店の花々が何とも美しく印象的であったのは、旅行者のひと時の気の移りであろうか……。

上：理工学部
　設計＝ライオンズ・イスラエル・エリス事務所
下：建築工学部
　設計＝ＧＬＣ



泉北ニュータウンのコミュニティ施設

①モデル・ニュータウン

千里ニュータウンは、建設後ほぼ10年を経て、卓抜した環境の良さにおいて、高い評価を獲得しつつあるようだ。広々としたオープン・スペース、歩・車道分離の道路、整備された学校や各種センター、通勤・通学に便利な交通機関、静かで日当りのよい住宅地などによって、日本ではかつてなかった高水準の人工都市が出現した。千里において、わが国はじめて適用された近隣住区理論も次第に定着しつつあるし、そこで開発された計画・建設・管理のシステムはニュータウン開発にとっては教科書的な存在となっている。千里はその後、全国的に簇生してきた大小幾多のニュータウンのパイオニアとなり、日本におけるニュータウン建設のマイルストーンをうちたてたといえる。

千里の姉妹都市、泉北ニュータウンも現在建設途上にあるが、千里と同様の評価が与えられることはまず間違いあるまい。

そのためか、住宅の質と環境整備について語るときに、「千里・泉北は良過ぎる」「ぜいたくだ」などと住宅地としての質の高さの故に、いつも引き合いに出されるのである。既成市街地の住環境が、公害・交通事故・日照・緑地不足などのために日増しに悪化していくにつれて、千里・泉北の環境の良さはますます際立ってくる。今後10年間、府下住宅ストックの約半分が不良住宅化していくと予測されるなかで、既成市街地の環境整備は緊急を要することであって、千里・泉北がシビルミニマムの達成目標として引用されるのは至極当然のことである。

しかし、環境が良いということは、すなわち、住みやすいということにはならない。環境の良さは住みやすさの重要な要件であるがそのすべてではない。環境の良さとは、住宅地としての便利さ、快適さ、閑静さなどが主な指標となり、多分にフイジカルなニュアンスを含んでいる。一方、住みやすさとは、自然的・人工的な環境の良さも含めて、居住者の社会的・心理的な環境評価を含んでいる。

大阪府の調査によると、千里の居住者はその自然的・人工的環境に高い評価を与えている。(注1) しかし一方では、環境評価の悪い点として、「物価高」と「施設不足」を上げているのは注目に値する。「物価高」の問題はさしおくとして、「施設不足」の内容に図書館・保育所・診療所・小売店舗・各種学校などが含まれている。これらは、すでに存在しているものであるが日常生活に実質的に必要なものばかりである。このほかに、より一層多様な施設要求が潜在しているものと思われるが、居住歴が比較的新しいのと、千里のもつ環境の良さに救われてそれらが顕在化していないとみてよい。たとえば、千里ニュータウンの地域生活施設を、千里と人口・面積で類似している東京・武蔵野市と比較しても、公園、緑地施設と集会所を除いた他の施設が千里は圧倒的に少ないと指摘されている。(注2) 特に、千里の保健医療施設・娯楽施設・文化施設などは武蔵野市にはるかかに及ばない。これらの施設は量的に少ないばかりか、その多様さにおいても驚くべきほど貧しい。このような顕著な相違は一体どこからくるのか。両者が大都市の郊外都市であることから、どうやら、人工形成都市と自然形成都市はコミュニティ施設の多様性の発生基盤が根本的に異なるようだ。

②画一性と不在感

H・カーバーは、自動車によってつくられたアメリカの郊外都市の欲求不満と悲哀を「混乱」「画一性」「不在感」の三つに特徴付けている。(注3) 計画的に土地利用された千里・泉北では、混乱した街並みとなる筈がない。しかし、画一性となると千里・泉北も例外ではない。同じように区切られた街区と道路、個性のない公園と緑地、全く型にはまった小住宅群、道路沿いに建ち並ぶ真白いアパート群などは、何ら人びとに新鮮な印象を与えてくれるものではない。一方、「不在感」とは何かが欠けているというわびしさを直観的にいい表わしたものである。千里・泉北に移り住んできた人たちは、それぞれかつて生れ育った町や村の思い出を持っている。さまざまな商店が雑然と立ち並ぶ町の風物が、そこに生活する人びとの中に完全に融け込んでいた。千里・泉北は、なるほど、新しい都市景観をつくり出し、人びとにニュータウンという新しい住宅地のイメージを与えることができたことは十分評価しえよう。しかし、一方では「よそよそしい」「温か味がない」などといわれるのは、人びとが緑の中に散在するコンクリートのハードなまちに、ゴミゴミとした下町の郷愁を求めようとするからだろう。今後、千里・泉北が優れた住宅地としての環境を保持しながら、より豊かなまちへと発展していくためには、人びとが多様な社会生活を営むことができるよう施設と空間をつくり出していくことでなければならない。泉北ニュータウンのコミュニティ施設の計画は、先輩ニュータウン千里の経験をふまえて、人工都市に付随する画一性と不在感を最少限にとどめ、多様性のあるまちづくりを目ざすものでなければならない。

③多様性のあるまち

千里・泉北とも、たった10年の短い事業期間を持つ急成長都市である。一般に人口15～16万人の都市は、永い歴史の経過の中で個人の自由なまちづくりの意志のもとに自然発生的に形成されたものだ。千里・泉北は、大都市近辺での住宅難解決のための宅地の大量供給という使命を帯びて、企業会計による開発という制約のもとに、全く計画的に計画者達の統一した意志のもとにつくられた人工都市である。千里・泉北の居住者はただお客さんとして、でき合いの住宅、でき合いのまちに迎え入れられた。したがって、そこにはまちづくりの主人公たるべき居住者の総体的な意志が、介在する余地など皆目存在しなかった。戦後の住宅供給が、住宅から団地へ、団地からニュータウンへと大規模化してくるなかで、パッケージ供給はある程度避けられないことではあった。今後、住宅の大量生産・大量供給あるいは大規模開発がすすむにしたがって、レディ・メイドの住宅やまちがますます増えてくるだろう。問題は、将来の住み手である入居者が、この画一化の傾向に対していかにして主体性をもって、新しいまちづくりに参画していくかにかかっている。

一般に、多様性に関する自然形成都市と人工形成都市の諸特性は、自然の生態系のなかに深い類似性を見い出すことができる。自然の植生は、長時間をかけて種をふやし、いろいろな種類の動植物が互いに競争しながら共存しつつ、ひとつの秩序ある多様な生物社会を形成している。

ひとたび、この生態系が破壊されると、微妙な生物社会の秩序はこわされ、自然の多様な種は絶滅あるいは減少し、種の画一化、貧化という現象がおこる。戦後のニュータウン建設の歴史をふりかえると、団地からコミュニティづくりへと叫ばれながらも、基本的には自然生態系のもつ多様性を具備するまでには至っていない。シビルミニマムとして、市民生活に必要な教育施設・医療・商業施設はある程度整備されるが、武蔵野市にみられる多種多様なコミュニティ施設は育っていない。もともと、人工形成都市は破壊された自然生態系と同じ条件で出発しているのであるから、いかに豊富なコミュニティ施設が当初から建設されても、ある程度の画一性と貧化は避けられないとみてよい。

計画者達は、しばしば概念のはっきりしない「コミュニティ」論議にとりつかれることがある。しかし、豊かなコミュニティを育てて

豊かなまちづくりへの指標

角橋徹也

いくための基本的要件は、現代人が管理された企業やレジャーの束縛から抜け出し、主体性ある一個人として行動するところに求められるべきであるし、そのための施設をつくっていくことが第一であろう。豊かなまちづくりは、ルネッサンスの自由都市に見られるように、市民一人一人の自由なエネルギーにもとずいて行われていくべきだ。

④住民のエネルギー

千里・泉北両ニュータウンの目ざすべき方向は、この人工都市を、あたかも複雑で多様な自然生態系の秩序をもった自然形成都市へとつくりかえていくことでなければならない。それでは、多様性のあるまちを住民のエネルギーに依拠しつつ実現していくにはいかにすればよいか。さしずめ、次の二つの方法が考えられる。

第一は、計画過程において、居住者のエネルギーをいかに多様な形で吸収するかという「計画者－住民」間の計画参加のメカニズムをシステム化することである。最近、都市計画においても住民参加方式が取り入れられるようになり、うつわ（道路、公園や住宅）は開発者がつくり、中味（住みよいまちづくり）はあとの住み手が整えるのだといった硬直した考え方は幾分薄れてきている。本来、まちづくりのハード・ウェアー（うつわ）とソフト・ウェアー（中味）は一体化したものでなければならない。計画者がより優れた計画理論を創造し、技術レベルを高めることが必要であるが、さらに計画者が独善に走らず、将来の住み手の生活行動と意識を正しく反映し、住民のコミュニティ活動を豊かに発展させるための施設と空間を整備するよう努めなければならない。ニュータウンの計画と建設の段階では、将来の住み手があらわれないので、計画に直ちにフィードバックさせることはむつかしいとよくいわれるが、少なくとも過去のニュータウン建設の経験をくみとり、幾多の住民の意識調査または実際に起っている住民運動の動きをつぶさに分析し、それらを謙虚に学び取るとることができる筈だ。さもなければ、計画者は住民の生き生きとした要求や意識を計画に反映させることができず、建設屋は相変らず、ニュータウン建設にとって最も大切な「まちづくり」「人間の生活づくり」には何らかかわりのない単なる住むためのハコづくりにいそしんでいるというそしりをまぬかれることができない。

⑤路線商店街の復活

第二は、住み手のエネルギーを積極的に誘導するため、計画にフレキシビリティを持たせることである。今後、千里・泉北を自足的なまちに発展させていくには、住民自治の場である各種行政機関・文化・レクリェーション・商業施設の4つの機能を充実させることが必要となろう。これらは、将来おこりうる住民の多彩な施設要求に十分こたえうるものでなければならない。千里・泉北には、各種行政機関の出張所などが設けられることになっているが、現在では本当の意味での住民自治の場として機能していない。また、現在の地区センター・近隣センターは、消費を対象とした商業施設が中心となっているが、将来完結したコミュニティ中心となるには、行政・文化・レクリェーション施設などあらゆる施設が整備されなければならない。

フレキシビリティについていまひとつ考えられることは、将来、住宅地内でさまざまな小店舗経営ができるような住宅併用店舗、あるいは露店スペースを地区センター・近隣センター以外の場所であらかじめ確保することである。これらの施設は、将来の施設需要のための保留地であり、当然、住宅地としての土地利用に混乱を与えることなく、まとまった形で緑道沿いに設けられることになる。泉北では、住区内のすべてのコミュニティ施設が住区の真中を走る緑道に沿って建設され、これらが住区および地区全体を結びつけるコミュニティ・ベルトを構成している。現在ではこのコミュニティ・ベルトが自動車利用のまちづくりから歩行者中心のまちづくりへ転換させるための重要な戦略手段となりつつある。

将来需要に備えた併用店舗や露店スペースを、緑道沿いにあらかじめ確保しておくとともに、近隣センターや地区センターの一部の施設を従来の閉鎖された内庭型のものから解放して、緑道沿いに足長く配置することも検討する段階にきている。かって、道路をはさんだ路線型商店街は自動車によって完全に分断されてしまったが、人間の歩く歩道ではヒューマンスケールにささえられて、人と施設はよりなじみ深くなり、より一層活気にあふれたものとなろう。この路線形商店街の復活は、人間の歩行によるモビリティの高まりに十分対応したものとなるし、同時に将来の多様な施設需要に対して拡張可能なフレキシビリティの高いものとなろう。

⑥いくつかの制約

千里・泉北から画一性と不在感をなくし、これらを変化に豊んだ魅力あるまちとするためには、いくつかの大きな制約が存在することも承認せざるを得ない。まず第一は、生産の場をもたない住宅都市では、オフィス・工場等に付随する関連施設が発生せず、いわば消費に直結した純粋培養型の施設しか存在し得ないのでバラエティを欠いたものとなる。将来住民が多様な地域活動に参加するための余暇も必要だろうし、また現在の「与えられる」文化・レジャーから「求める」ものへと変えていくために住民が主体性を取り戻すことも必要であろう。多様性とはそこに住む人びとの属性（年令・職業・収入）の多様性が前提となるが、ニュータウンでは、分譲住宅入居層を除く各住宅階層は若年令層に片寄り、比較的学歴の高いホワイト・カラー層に限られている。当然、人びとの趣向と行動様式も画一化することになり、あらゆる階層に適したバラエティに豊んだ施設需要が発生する基盤がすでに失われている。

千里の調査では、賃貸住宅入居者層のうち60%が住みかえを指向し、20%が定住を指向しているが、将来住戸スペースを大きくして定住指向をふやさすようにしなければ、千里・泉北は結局居住者にとって仮の宿りとしてしか機能せず、彼らに地域社会の発展に根ざした地道なコミュニティ活動を期待することは最初から無理なこととなるだろう。

⑦新しいまちづくりの指標

しかし、それにもかかわらず、今後住民の生活行動が多様化し文化・レクリェーション・消費行動の面でさまざまな施設需要があらわれてくると、千里・泉北の住民はいつまでも「なくてすます」かあるいは「都心で求める」というわけにはいくまい。また、都心指向からの脱却が千里・泉北の本来の目標でもある筈だ。

千里・泉北両ニュータウンは、今後、「環境の良さ」を売りものにして、その高い評価のうえに安住していてはならない。千里・泉北が、既成市街地の再開発を含めた将来のまちづくりの目標とされるかぎりは、千里・泉北は豊かなまちづくりに向けて絶えず前進しなければならないと考える。

（かくはしてつや・大阪府企業局調査室主幹）

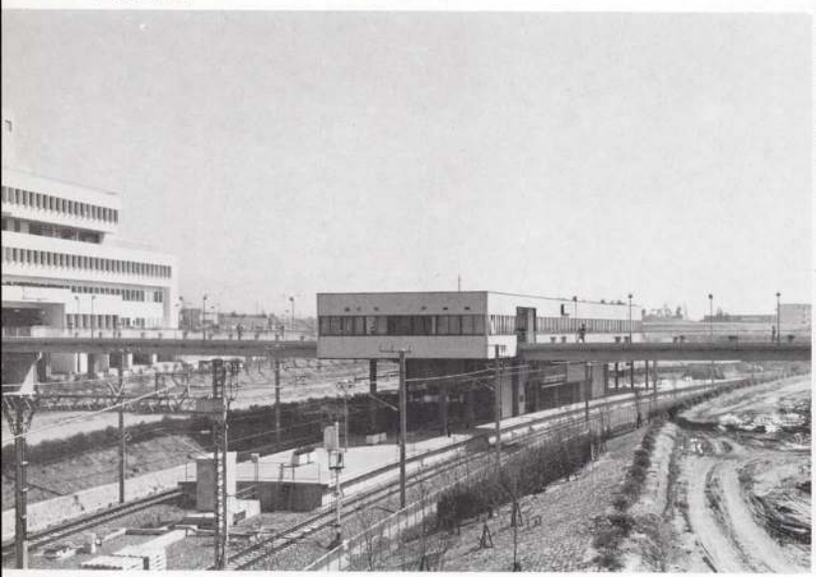
注1：「千里ニュータウン居住者層の消費行動と生活施設利用に関する調査」大市大、住田昌二
注2：「同上」
注3：「郊外都市」H・カバー鹿島出版



△深井駅舎



▽泉ヶ丘駅舎





泉北高速鉄道と駅舎

泉北高速鉄道は、泉北ニュータウンと大阪の都心部および堺市の臨海地帯を結ぶ通勤、通学の足として計画されたもので、現在ニュータウンの建設と歩調を合わせて建設が進められている。

本鉄道の建設・運営にあたる事業主体として、大阪府都市開発株式会社が、大阪府をはじめ関係各機関の全面的な協力と支援のもとに、昭和44年3月泉北高速鉄道の敷設免許を取得し、昭和46年3月に第1期工事（中百舌鳥～泉ヶ丘間、延長7.94km、工事費約75億円）を完成し、同年4月1日から営業を開始した。

なお、本鉄道は南海電気鉄道高野線を中百舌鳥駅経由で相互直通運転を行ない、住宅地（泉ヶ丘駅）と難波を27分で直結するもので、短時間で都心と連絡できる。

また残る泉ヶ丘～光明池間（延長4.40km）のうち泉ヶ丘～栂間（延長2.46km）については、昭和48年秋頃開通を目途として、鋭意建設が進められており、さらに栂～光明池間（延長1.94km）については、ニュータウン計画の進捗状況と歩調を合わせて建設する予定である。

なお運営方法については、運転、駅務および保守等の現場業務は南海電鉄に委託する方式をとっている。

（大阪府都市開発K.K.技術部建築課　松尾　純）

駅舎

・中百舌鳥駅

中百舌鳥駅は泉北高速鉄道の起点であると同時に南海高野線の途中駅でもある。泉北高速鉄道が乗り入れする新しい中百舌鳥駅は、区画整理に合わせて約170m難波方に移設し、そこに島式2面よりなる4線構造の共同使用駅を建設した。

・深井駅

中間駅の深井駅は、当初、建設を考えていなかったが工事の進展につれて設置の声が高まり、周辺の区画整理や駅前広場の都市計画が計画決定されたのを機会に、開通時から中間駅を開設することに踏みきった。場所は都市計画道路中村新村線からはずれて泉北1号線に入るまでの曲線部分とし、そこにラーメン構造の高架駅を建設した。

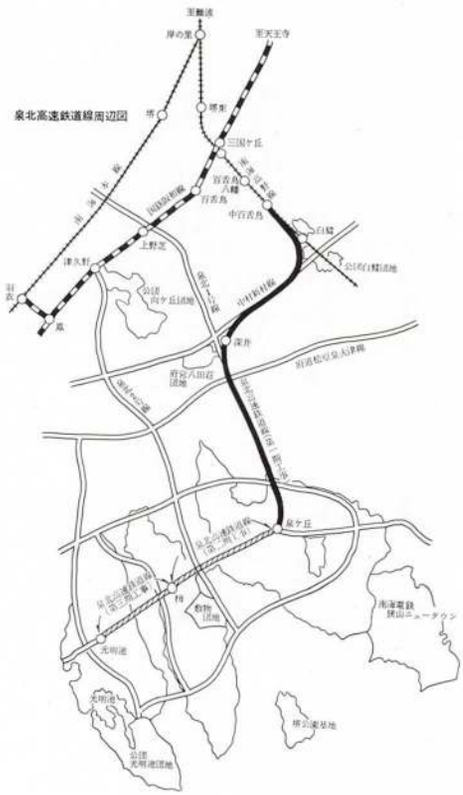
・泉ヶ丘駅

泉ヶ丘駅は、ニュータウン計画に合わせて泉ヶ丘地区の地区センターに設置した。駅舎は歩道橋でセンタービルおよび駅前広場とつながっている。

泉北鉄道の最大駅と見込まれ、ホーム巾11m、将来エスカレーターを設置する予定であり、地区内外の交通の有機的連絡をはかる拠点である。

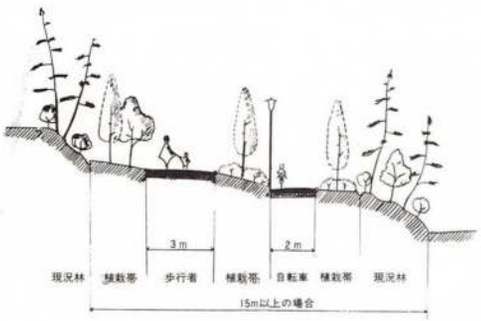
停車(留)場一覧表

名称	乗降場 型式	乗降場 延長(m)	乗降場 幅員(m)	駅舎構造
中百舌鳥	相対式(島式二面)	139	8.0～5.0	S造、2F
深井	島式	180	8.0～6.0	RC造、3F
泉ヶ丘	島式	180	9.0～10.8	S造、3F

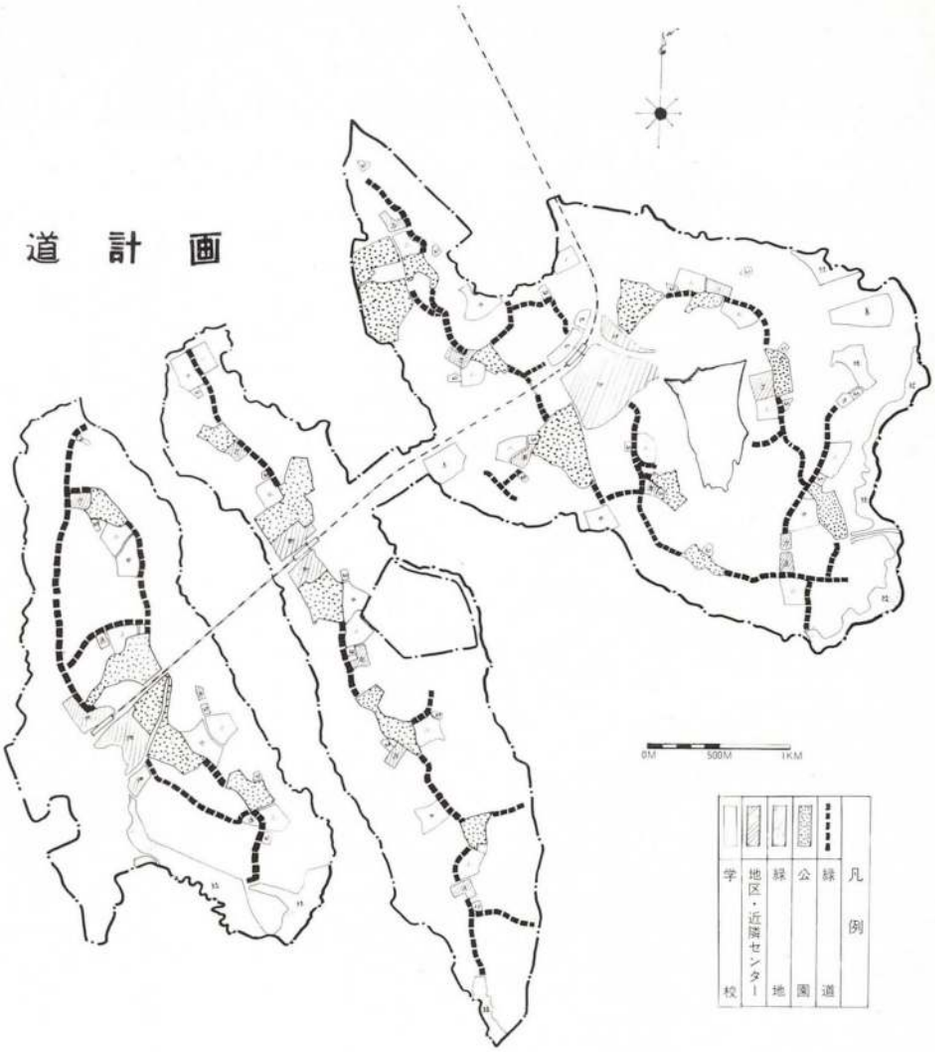




緑道計画



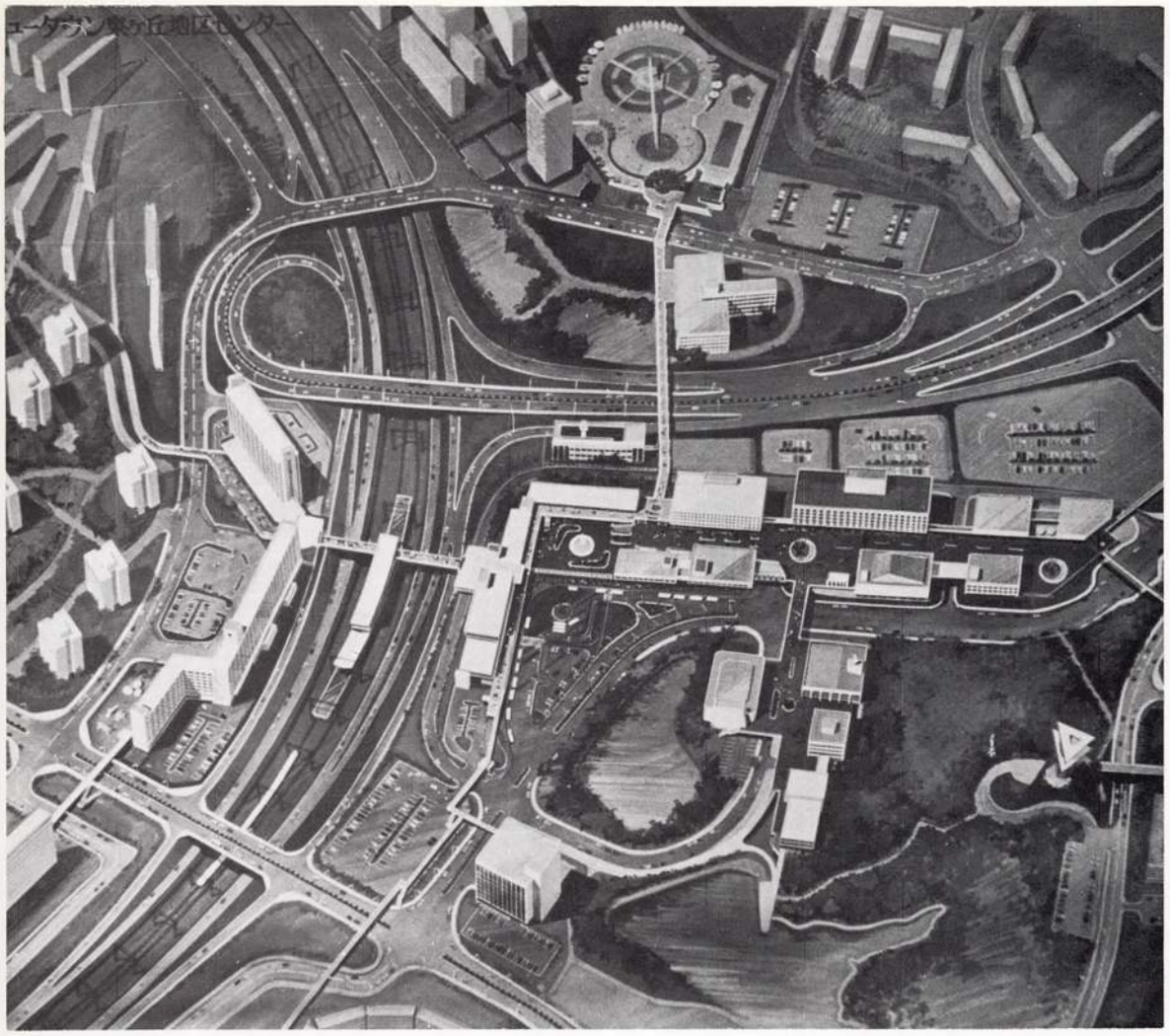




緑道ネットワーク







泉ヶ丘地区センター

地区センタービル

設計　安井建築設計事務所

施工　清水建設大阪支店

建築面積　4,539㎡

延床面積　12,872㎡

構造規模　RC一部S造、5F、B1、P2

工　期　S.45.5.16～S.46.3.31

施設配置および床面積

B1F　ガレージ、倉庫、機械室、守衛室、ピロティ他　（計）1,689.5㎡

1F　店舗、大和銀行、郵便局、ショールーム、ピロティ他　（計）4,467.3㎡

2F　大和銀行、堺市役所出張所、泉北地区工事事務所他　（計）2,424.1㎡

3F　泉北開発センター事務室、会議室、集会室他　（計）1,857.2㎡

4F　集会室、企業局他　（計）1,048.5㎡

5F　貸事務所　（計）1,208.3㎡

地区センター専門店（二期）

設計　安井建築設計事務所

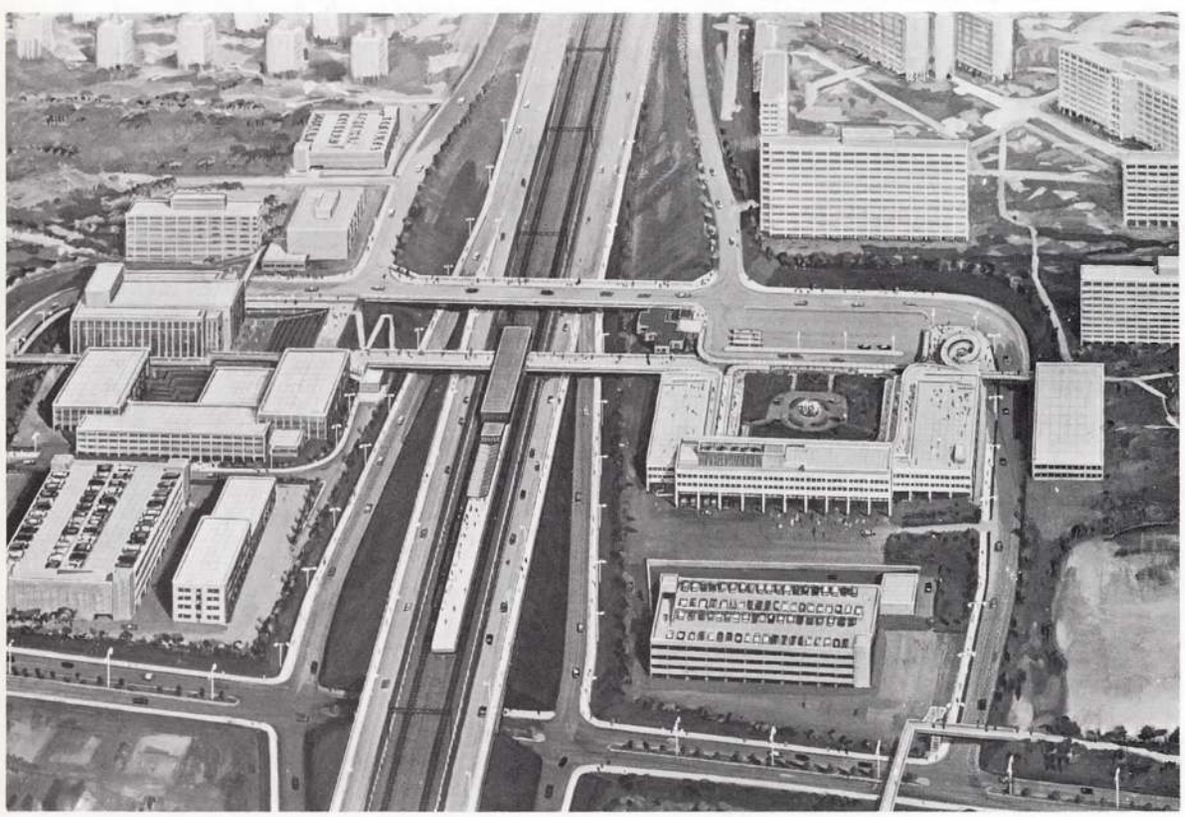
建築面積　7,000㎡

延床面積　16,000㎡

構造規模　RC造、2F

工　期　S.48.5～S.49.3（予定）

泉ヶ丘・栂地区センター



栂地区センター

設　計　村野・森建築事務所

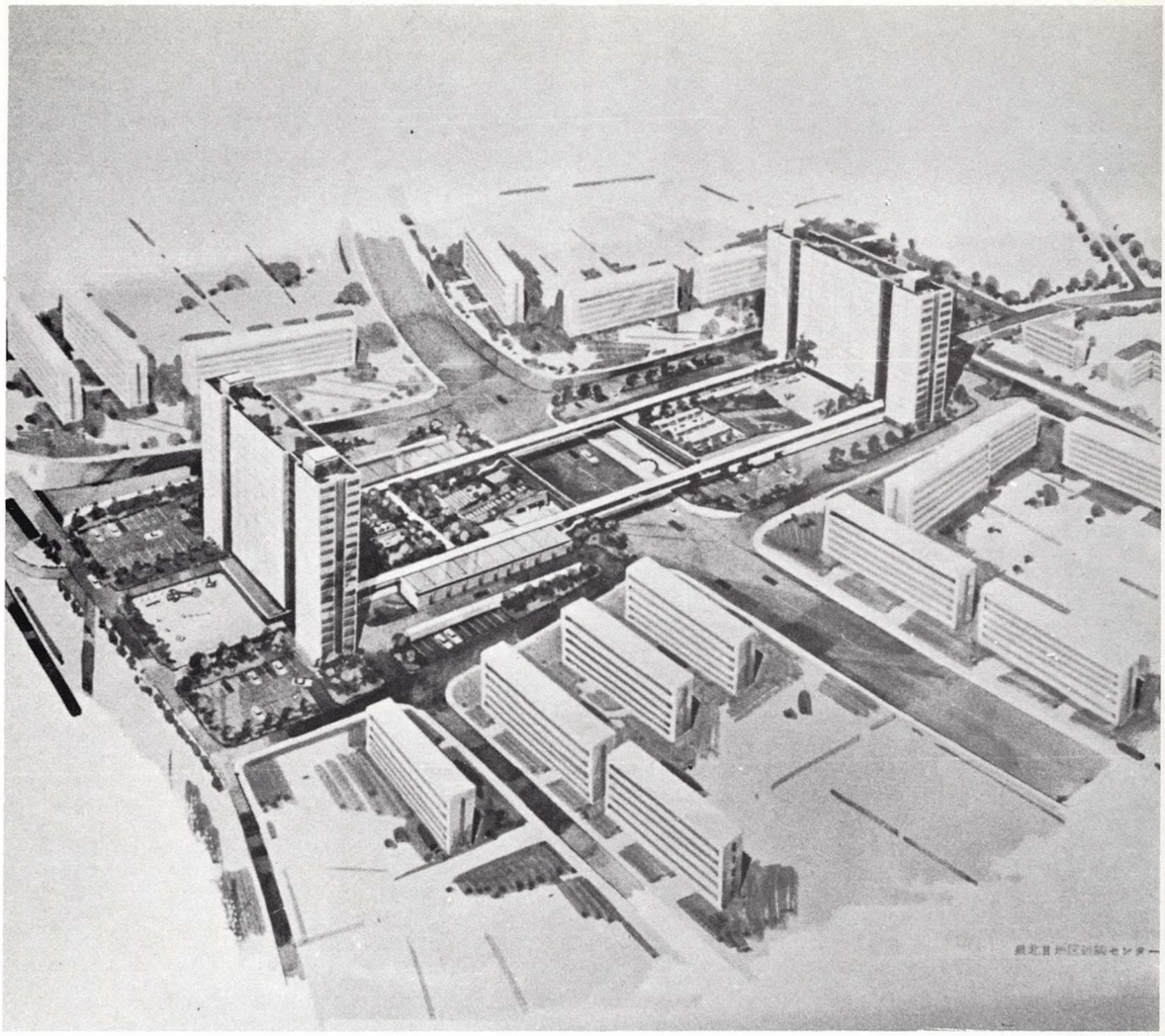
建物概要

業務ビル	1B、4F、RC造	延床7,573.38㎡
専門店	3F、RC造	〃 3,004.39〃
スーパー	4F、RC造	〃 8,380.16〃
ピロティ		1,152.04〃
歩廊		2,512.97〃
敷地面積		99,000 ㎡
建築面積		5,898.94㎡

工　期　S.47.12.23～S.48.11.15

泉北H住区近隣センター

設　　計　浦辺建築事務所
施　　工　竹中工務店

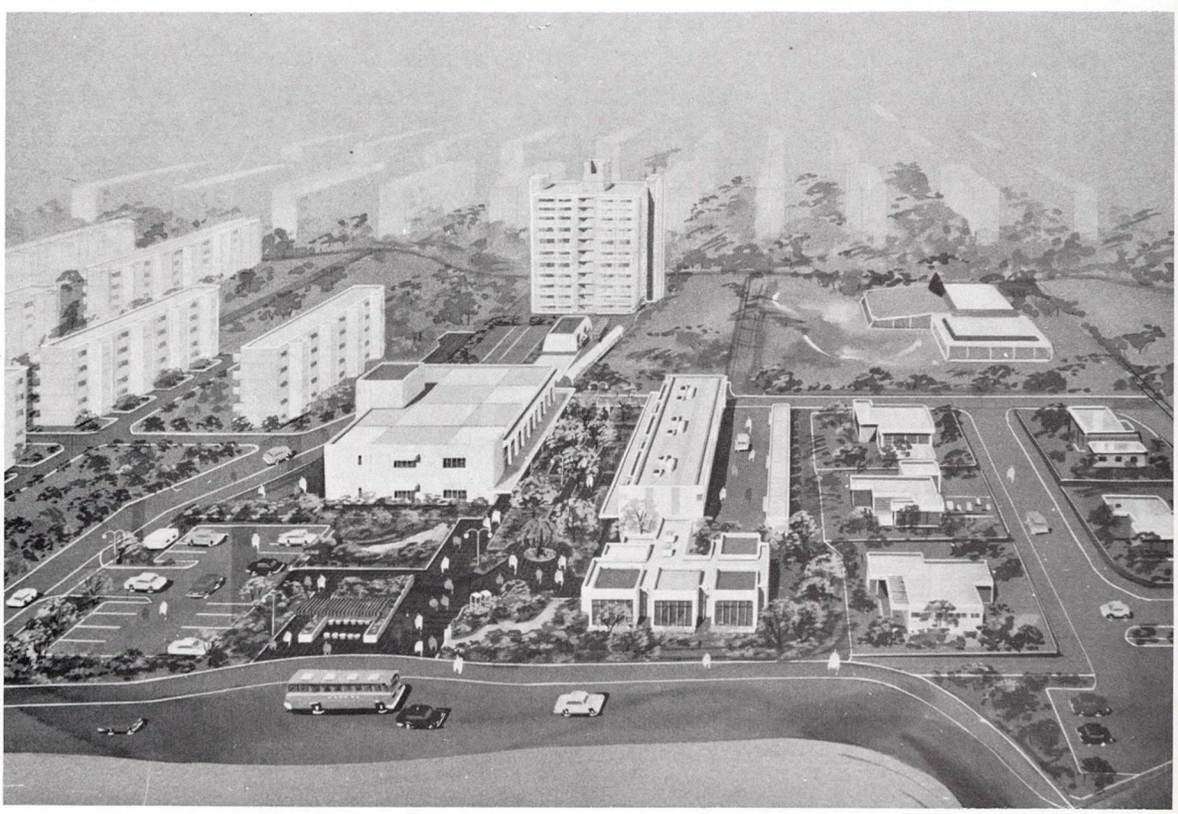


建物概要　管理棟　　RC造、2F
　　独立店舗棟　RC造、2F
　　スーパーマーケット棟　RC造、2F
　　歩道橋　　RC造
　　（橋桁P.S.C）
　　モール　　S造
敷地面積　13,952.67m²
延床面積　管理棟　　733.890m²
　　独立店舗棟　　2,692.310m²
　　スーパーマッケット棟　1,768.288m²
　　モール　　990.244m²
　　合　　計　6,184.732m²
工　　期　S.46.8.18～S.47.3.31
建設場所　堺市晴美・槇塚台

住区近隣センター

栂J住区近隣センター

設　　計　吉田建築事務所



建物概要　管理棟　　RC造　1F
　　独立店舗棟　　RC造　2F
　　スーパーマーケット棟　SRC造　2F
　　バス待合所　　S造　2F
敷地面積　5,974m²
延床面積　管理棟　　239.27m²
　　独立店舗棟　　1,064.60m²
　　スーパーマーケット棟　1,694.99m²
　　バス待合所　　14.00m²
　　合　　計　3,012.86m²
建　　設　未定
工　　期　48年度
建設場所　堺市原山台



泉ヶ丘プール

設計監理　大阪府企業局、双星社竹腰建築事務所
施　　工　西松建設

計画上のテーマは、大川での急流や、谷川の小さな滝や、池での遊びを、童心にかえって、水のさまざまな動きに、翻案することから始った。しかし、鮎が水底をよぎり、月見草が頂垂れている真夏の河原を想起すると、私達の失った自然の恩恵は余りにも大きいことに思い至る。

都心部の薄汚れた空気の下で、日焼け油のギラギラした流水プールに、ポッカリ浮んでいることほど、健康な遊びに程遠いことはない。

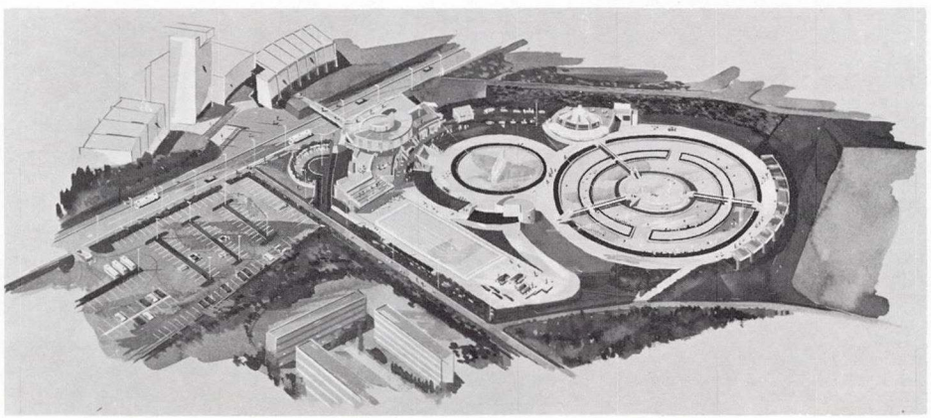
プールができ上って、和泉山脈を眺めながら、団地ッ子と水を楽しみ、何の危げもなしに、カスケードの石積を上り下りしている子供を見る時、私達の仕事の苦労は解消した思いであった。

テーマの第2点は、泉ヶ丘センターとヤングタウンと団地を結ぶ緑道の結節点にあるため、建物の屋上をパブリックユースに開放すること。

第3点は北にゆるやかに広がる谷間を利用した地形の全望を見渡す要の位置に、管理施設を置くことであろうか。谷間のもとの塵芥置場に、設けられたプールは、鉄板プールとフレキシブルジョイントで不同沈下に対応して設計した。

水の遊びの多目的な演出と、健康な運営方針が私達の与えられた課題である。

（双星社竹腰建築事務所）



所 在 地　堺市三原台2丁目9番
同時収容人員　約5,000人
駐車台数　約370台
敷地面積　23,843㎡
駐車場面積　14,845㎡（舗装面積11,376㎡）
管 理 棟　ＳＲＣ造、３Ｆ、Ｂ１
　延べ面積　2,070㎡
　Ｂ１Ｆ　シャワー室
　１　Ｆ　男女更衣室・救急室・監視室・便所
　２　Ｆ　切符売場・デッキ
　３　Ｆ　レストラン・デッキ

建設工事費　約4億円
工　　期　Ｓ46年3月～Ｓ47年4月

名　称	面積(㎡)	水深(cm)	構　造	適　要
幼児用プール	107.5	30	コンクリート製	噴水あり
滝 プ ー ル	67.2	30	〃	滝一間知石積
ドーナツプール	810.3	70～90	鉄板製	連絡プール
流 水 プ ー ル	1,384.3	100～120	〃	778㎡を含む
スライダープール	366.4	30～50	コンクリート製	スラーダー未設置
公 認 プ ー ル	956.5	130～150	鉄板製	9コース・50m
計	3,692.2			

その他　プールサイド合計面積 9,018㎡
　自転車置場(建築面積) 56㎡（約70台）



写真上　泉ヶ丘駅前展望台より

写真下　泉ヶ丘三 原台ドラッグストア



ヤングタウン

ヤングタウン建設の発想

わが国の経済が年々、急速に発展を続けるなかで、都市の勤労青少年に対する需要の増大は、多数の勤労青少年の都市への集中をもたらし、大都市におけるこれらの勤労青少年をめぐる社会問題は、複雑、多様化の様相を呈するようになった。このような社会的背景のもとに、ヤングタウン建設の計画は、勤労青少年のための総合的施策の一環として発想されたものであり、大阪府では、昭和44年に学識経験者11名よりなる「ヤングタウン計画準備委員会」を設置し、同委員会の報告により、ヤングタウン建設の構想がとりまとめられた。

ヤングタウン建設の構想

1 ヤングタウン建設の趣旨

ヤングタウンは、社会的に未成熟な青少年が、配慮された施設と適切な指導のもとに、良き同僚、友人とともに、自主性、協調性を培い、自己啓発に努めるための場を提供しようとするものである。またヤングタウンは、泉北ニュータウンのなかのひとつの小地域社会として位置づけられ、勤労青少年が、近隣の地域活動にすすんで参加協力することを通じて、地域住民としての市民的自覚と責任感をもった社会人として成長することを期待するものである。

2 ヤングタウンの施設

ヤングタウンの中枢施設として、タウンの中心に府立勤労青少年会館を建設し、タウンの管理運営にあたる事務局をこの中に設置するとともに、ロビー、視聴覚室、図書室、相談室、研修室、音楽室などを設け、入居者の利用に供している。また、同会館の隣には、食堂、宿泊施設などを備えた泉北勤労福祉センターを建設している。これらのほかに、浴場、売店、クリーニング屋などの公益的施設とともに、テニスコート、卓球室などの運動施設が建設されており、体育館、ホール、グランドなどについては、現在、計画中である。なお、近辺には、リバー・プールを中心とした運動公園も設置されている。また、入居者の快適な生活のため、ヤングタウンの建設には、すべて、蒸気による地域暖房の設備が施されている。

3 ヤングタウンの構想の具体化

タウン建設の趣旨を実現するにふさわしい地を選定した結果、大阪府が開発中の泉北ニュータウン泉ヶ丘地区三原台とするとともに、国、大阪府、公共的団体、民間企業および地域社会が協力し、知識、技術、資金などを結集してタウンの建設にあたっている。

また、これら施設を管理するとともに、タウン建設の趣旨にのっとり、タウンを運営してゆくため、昭和46年10月、「財団法人青少年の町」を発足させ、総務部、相談部、指導部の3部からなる事務局を府立勤労青少年会館内に置き、この業務の遂行にあたっている。



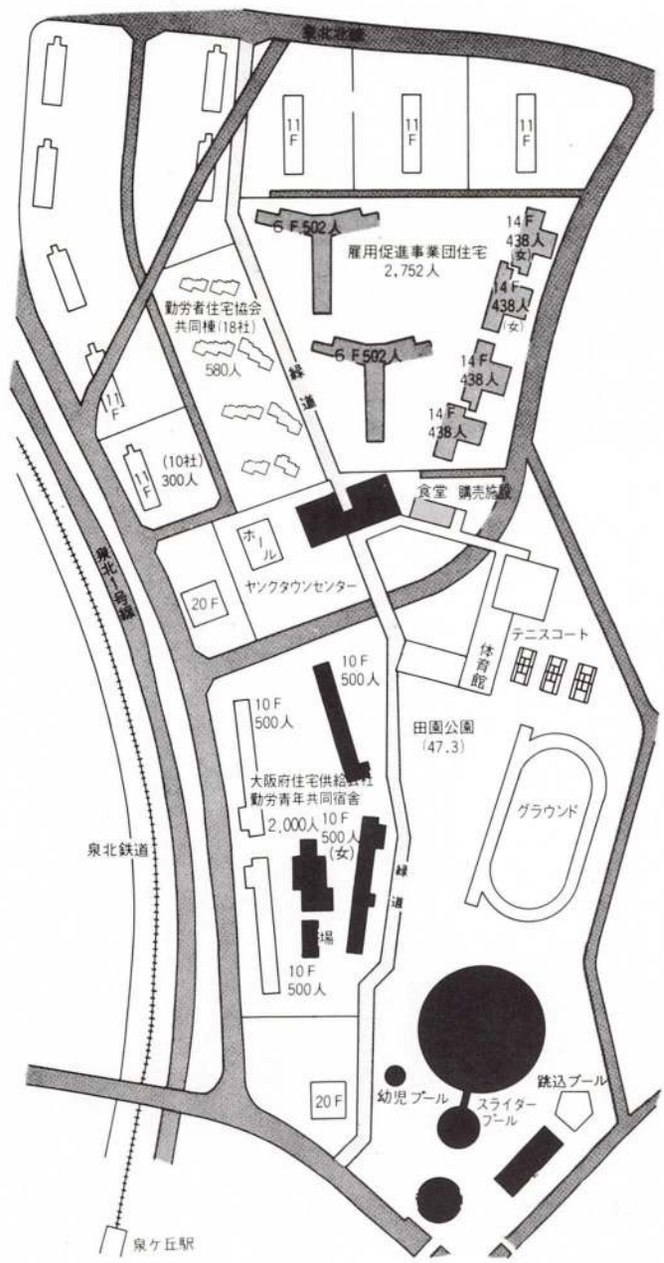
ヤングタウン施設

位　　置　堺市泉北ニュータウン泉ヶ丘地区三原台２丁
面　　積　16ヘクタール（約５万坪）
入居人員　単身者約10,000人

住宅施設（単身者用）

住宅種類	特　　長	予定入居者数	対象年令	家　　賃	共　益　費
雇用促進事業団住宅	労働力の地域間の移動を円滑に行う為、公共職業安定所の紹介で、他地域から就職してきた青少年の住宅	3,000名	15～30才	（一期）　（二期） 1人部屋　5,800円　6,400円 2人部屋各2,900円　3,200円	（一期）　（二期） 1人部屋　3,400円 4,000円程度 2人部屋各2,200円 3,000円程度
大阪府住宅供給公社住宅	単身者共同宿舎、公社賃貸住宅として建設、勤労青年に必要な規模と設備をそなえた個室	2,000名	18～30才	（一期）　（二期） 7,380円　7,650円	（一期）　（二期） 2,600円　2,600～3,000円程度 〔男子のみ〕
勤労者住宅協会共同棟（民間企業棟）	複数の企業共同の民間企業棟、勤労者に必要な住宅を、総合的な企画により、安価に分譲したもの	5,000名	25才前後	企業により相違	企業により相違

ヤングタウン配置図



センター施設（福祉 文化 教養施設）

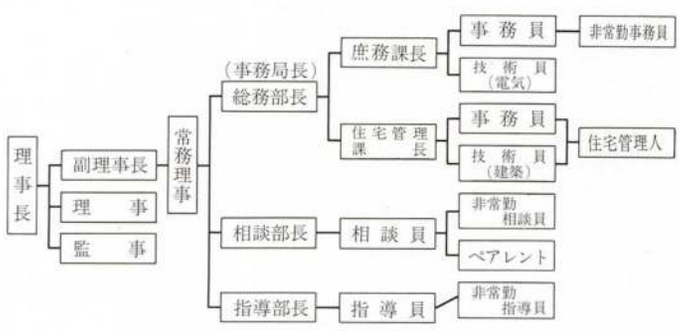
大阪府立勤労青少年会館

（第１期建設予算　391,269,000円）
1.職業、生活、健康、レクリエーションなどの相談
2.講習会、講演会、文化、教育、体育　レクリエーションなどの集会
3.地域社会との交流を計るため各種の集会
4.勤労青少年の指導者の育成
5.勤労青少年の余暇活用のための場の提供
ロビー（約100名）　視聴覚室（100名）　図書室（書庫）　相談室（２室）
集会室（３室　各24名）　研修室（36名）　大研修室（48名）
絵画室（20名）　音楽室（40名）　工作室（20名）　写真暗室

雇用促進事業団泉北勤労福祉センター

（第１期建設予算　150,000,000円）
1.勤労者の資質向上のための研修・会議
2.勤労者の歓談、食堂の利用
3.勤労者とその家族の宿泊
4.勤労者の郷土とのつながりを促進する催し
5.その他　勤労者の福祉増進
食堂（300名）　喫茶コーナー　郷土資料展示ホール（213㎡）
料理教室（30名）　茶道教室（30名）　華道教室（30名）　集会室（30名）
宿泊室（８室）　娯楽室（20名）
註　他に文化ホール　体育館　グラウンド　テニスコート　その他の建設を予定

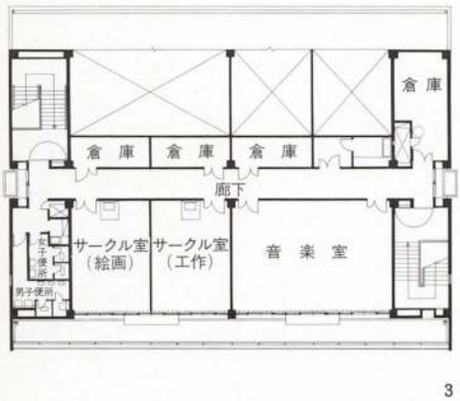
機　構





大阪府立勤労青少年会館

施工　阪口建設



3F



2F



1F

設計　都市科学研究所
監理　岡沢建築設計事務所

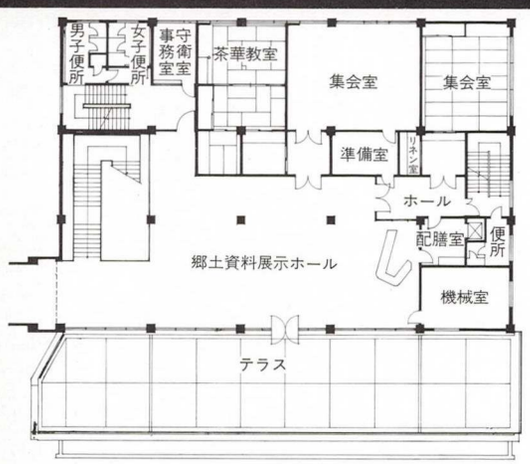
敷地面積　6,790m²
建築面積　616m²
延床面積　2,176m²
構造規模　RC造、3F、B1
工　　期　S46年2月～S47年1月

人口約1万人の単身勤労青少年の住宅地ブロックが計画され、ヤングタウンと命名された。
このヤングタウンが単に単身青少年の住居を数多く集めただけか、それ以上の意味があるのか、それは青年達の共同施設の内容と構成にかかっているといえる。
タウンセンターとしては、劇場、青少年の町事務局、集会研修室、音楽、絵画室等のクラブ室を有する会館。
大食堂、郷土資料展示コーナー、青少年達の家族のための宿泊施設をもつ福祉センター。
購売施設、体育館、温水プール、庭園などで形成されている。
このセンターは原則として週日中心、つまり日常生活中心的なものであり、またヤングタウン中心である。したがってセンターの中心施設としては、日常的に使われるものであり、かつ生活必需的施設となる。しかしそれが単に目的を達成するだけのものでなく、レクリエーションが営まれるように考慮する必要がある。
このような基本方針の上で、ヤングタウンの中を通る緑道をはさんで静かな空間と活動的な空間に分離し、しかもそれらを一体化するための方法としてペデストリアン・ウェイを考える。
これに諸機能をもった諸施設がぶらさがっている。
これらの諸機能の中の文化教養部門の場として会館は計画された。
なおセンターの全体計画は、京都大学上田篤助教授に御指導をいただいた。（都市科学研究所）

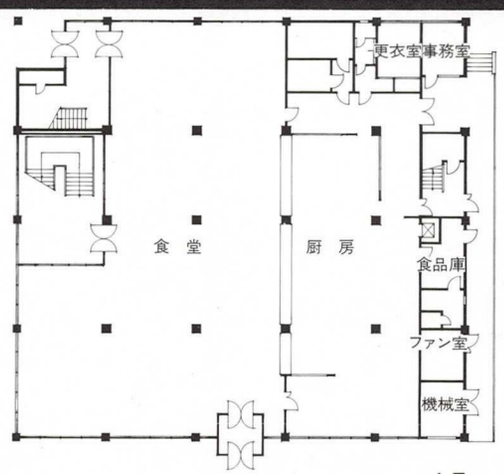


泉北勤労福祉センター

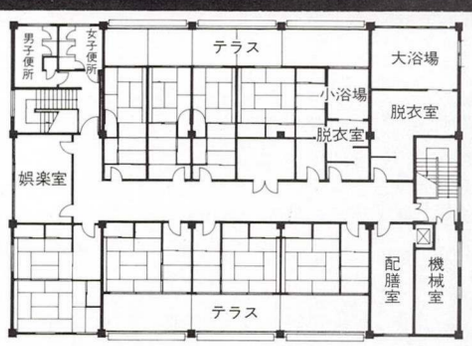
施工　阪口建設



2F



1F



3F

設計監理　東畑建築事務所

敷地面積　2,248m²
建築面積　　953m²
延床面積　2,058m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　Ｓ46年９月～Ｓ47年４月

泉北ニュータウンにヤングタウンが計画され、大阪府の勤労青少年センター構想に基ずく共同施設の一環として建設されたもので、本館との結びつき、および調和に留意した。

周辺単身者に対する利便施設とともに、遠隔地域からの就職者に対する、郷土との結びつきを計る目的で、父兄などとの交歓・親睦の場としての宿泊施設を持っている。

この活用により遠隔地域よりの勤労青少年の定着化に役立つように願っている。

（東畑建築事務所）




2-3

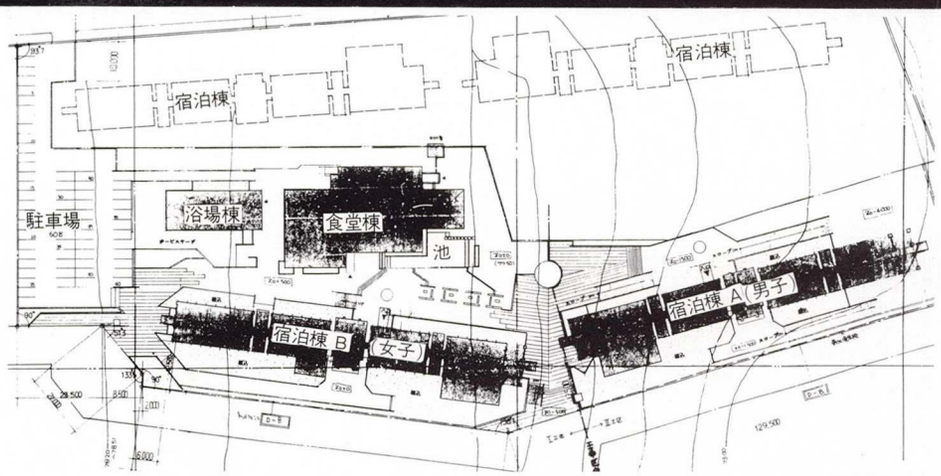


大阪府住宅供給公社住宅

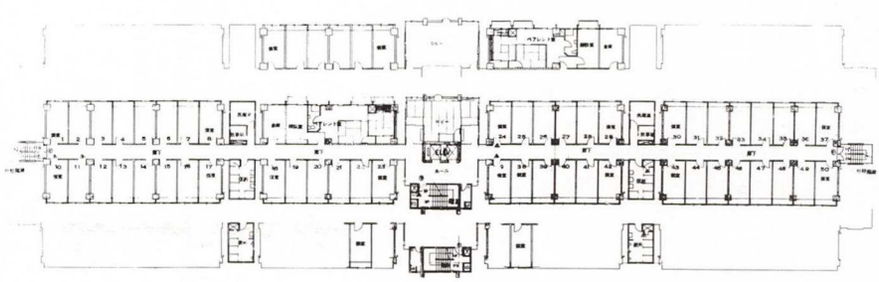
施工　奥村組（女子棟）・熊谷組（男子棟）

設計　大阪府住宅供給公社
　　大建設計

敷地面積　23,039.03㎡
建築面積　宿舎棟　1棟当り　1,040.62㎡
　　食堂棟　881.58㎡
　　浴場棟　199.35㎡
延床面積　宿舎棟1棟当り　9,795.81㎡
　　食堂棟　832.17㎡
　　浴場棟　199.35㎡
高　サ　宿舎棟　GL＋28.150m
構　造　宿舎棟　SRC造、10F
　　食堂、浴場棟　RC造、1F
暖　房　直接蒸気暖房　大阪ガス地域暖房供給 高圧蒸気を減圧し低圧蒸気にて。
工　期　1期S45年10月～S47年3月



配置図



3F　6F　9F　平面図

ヤングタウン全体計画にそって、この共同宿舎も進められた。すなわち、南北軸と平行に、4つの板状の宿舎棟を配置。それに囲まれた中央部に、浴場棟、段状の食堂棟、そして1段低い所に〝土〟のままの広場を設ける。宿舎棟は1棟に500人で、2期工事の2棟を含め4棟建設。その内1棟は女子棟である。
個室は2,500×4,375で、洗面、暖房設備が備えてある。　（大建設計）

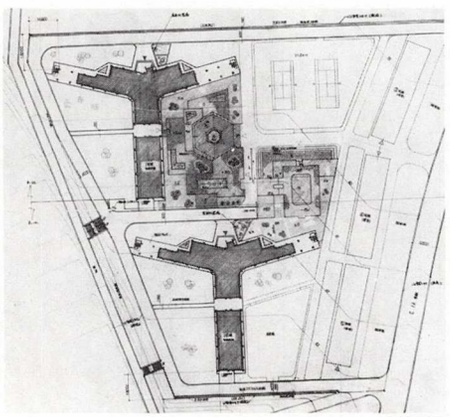


雇用促進事業団住宅

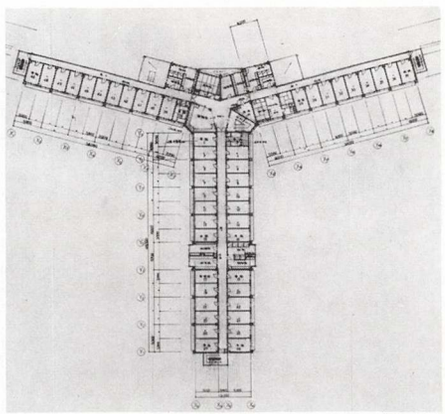
施工　鴻池組（1号棟）・間組（2号棟）

設計監理　林田設計事務所

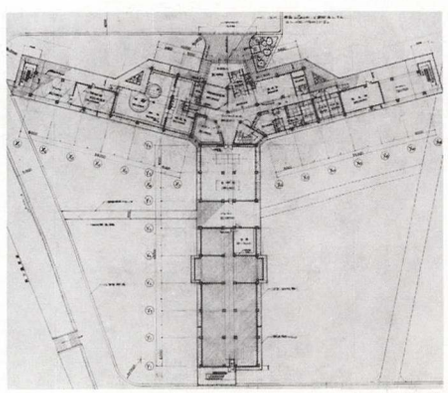
敷地面積　30,000m²
建築面積　1号棟　1,433.03m²
　　2号棟　1,433.03m²
延床面積　1号棟　2,353.04m²
　　2号棟　2,398.94m²
構　造　RC造、6F一部塔屋(1.2号棟共)
工　期　S46年4月～S47年2月
仕　上　屋根　アスファルト防水
　　柱型　杉木実型枠コンクリート打放
　　シシリコン吹付
　　外壁　モルタル刷毛引吹付タイル、
　　ALC版面アクリルリシン吹付



配置図



平面図



1F平面図

勤労青少年を対象とした寄宿舎――この建物のもつ意義というものは非常に大きなものである。特に一会社の専属寮としてではなく、種々の会社の勤労青少年の群居という形式をとる場合そのコミュニケーションの形成が建物のもつ主要な要素と考えられる。

泉北ニュータウンでは、この為、外的には大規模なプール、テニスコート、屋外庭園という型でこれに対応されていると考えられよう。

当建築物内部的にはコミュニティ形成の場を、卓球室、各階ごとの談話ロビー他、集会室等の設置でその目的遂行を試みた。その他、寄宿青少年に考えられる精神的問題に対処する為、階おきにペアレント室、相談室を設置した。これらの施設でもって、勤労青少年の宿舎というものの第一意義は満たされたものと考えられる。しかし、これらはあくまでスペースの供与であってその利用等によるコミュニティの形成は寄宿者にゆだねられる。この為、我々建築家が考えねばならぬのは供与されたスペースをいかに利用しやすくしてやるかということだろう。今度の場合、その施設を階ごとに設置することにより、利用度を高めようとしている。

（林田設計事務所）





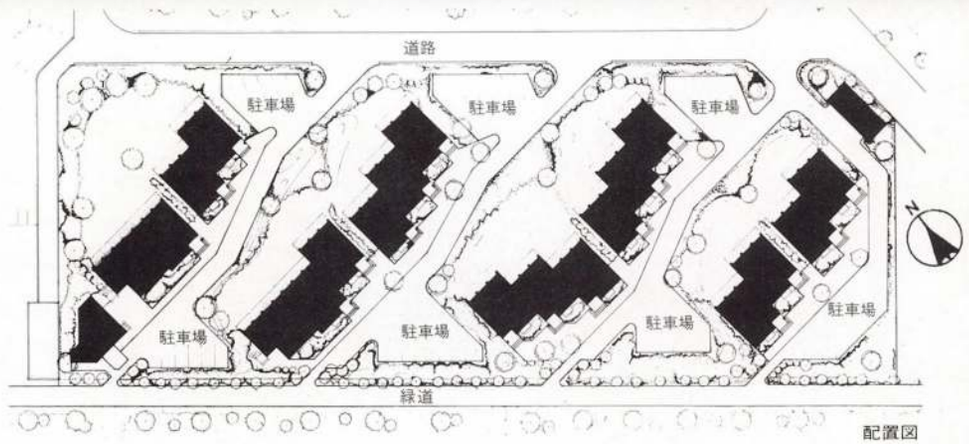


民間企業棟

施 工　佐藤工業

設計監理　(財)勤労者住宅協会
地域・建築研究所

敷地面積　10,450m²
建築面積　 2,000m²
延床面積　10,000m²
構造規模　ＲＣ造、５Ｆ、Ｐ１、軒高15.55m
工　　期　Ｓ46年８月～Ｓ47年３月
収容人員　１棟28人(１室２人)―16棟
　　１棟60人(１室２人)―２棟
　　計568人
各階内容　１階：食堂、談話ホール
　　２階：浴室、寮
　　３～５階：寮室
　　屋階：洗濯室、物干場

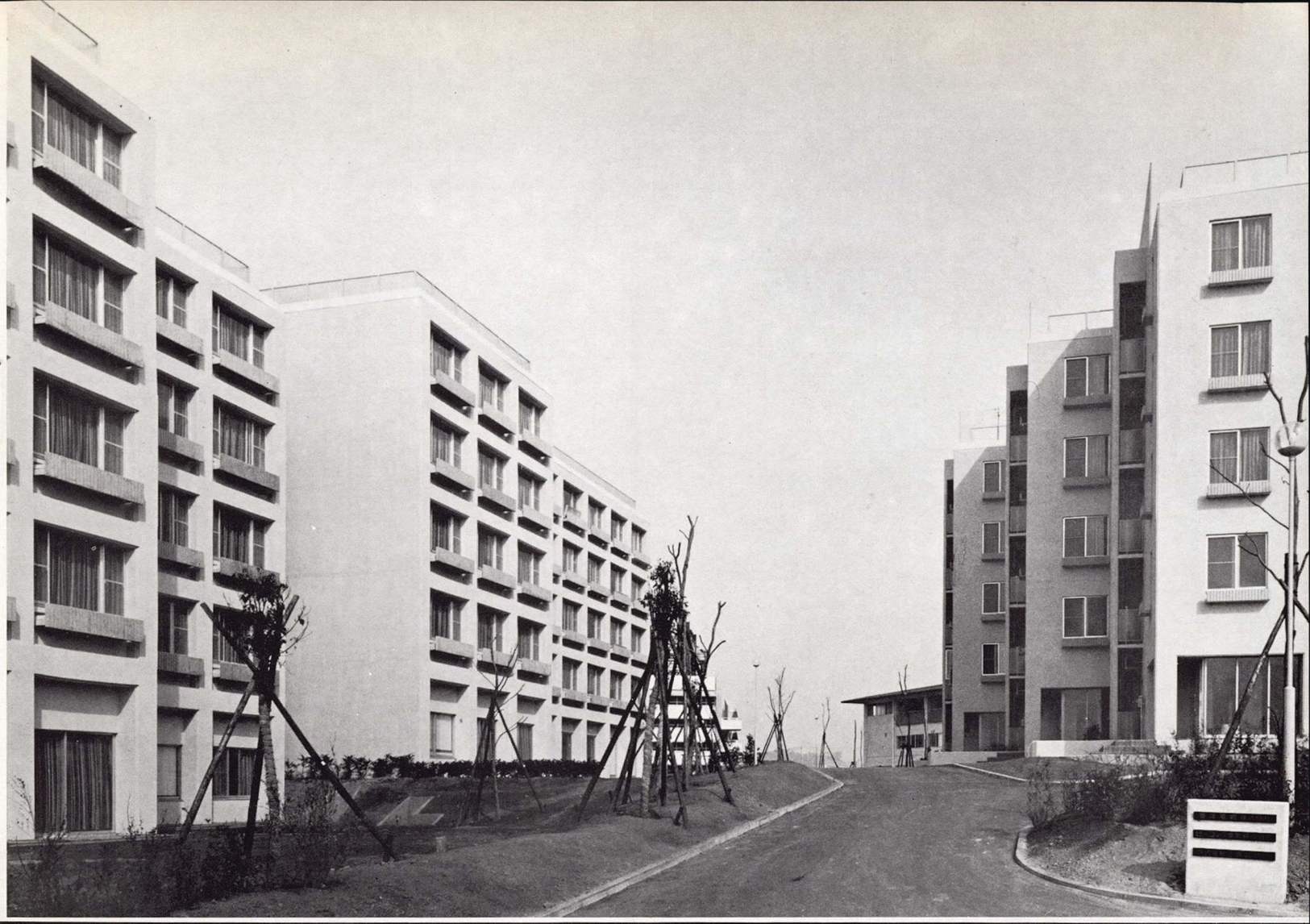


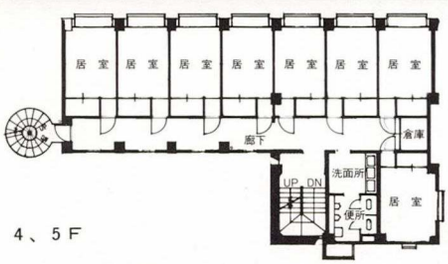
配置図

小規模独身寮の民間企業向け分譲であり、各戸に専用の玄関アプローチ、階段、食堂、浴室をもち独身寮として機能的独立性をもった中層建物18棟からなるため、計画においては18棟の群構成のあり方に主眼が置かれた。
①住戸周辺の外部空間を分節し、各戸への帰属性を与えるとともに有機的に連続させる。
②アクセスを歩行専用緑道（センター施設と泉ヶ丘駅を結ぶ）との連続としてとらえる。
③緑道、車道からのアプローチをわかり易くする。
④分節された外部空間（前庭）と内部空間（食堂、談話ホール等）との連続性。
（地域・建築研究所）

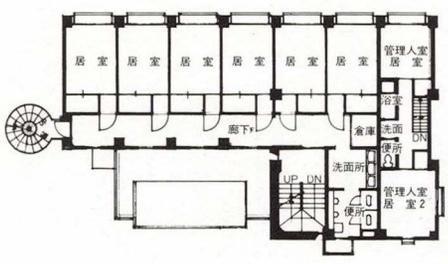


1Ｆ　　3、4、5Ｆ　1：400

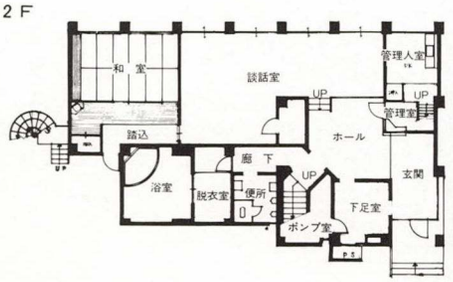




3、4、5F



2F



1F

1：400





アンケート

ヤングタウン建設の発想と構想については冒頭にのべられたのであるが、では現実のヤングタウンはいかに展開しているのだろうか。

①勤労単身青少年のための快適な住宅と生活環境の提供②豊かな人間関係を基盤とする青少年の健全な育成③大量労働力源としての雇用の促進と安定をモットーとしたという、世界でもはじめてといわれるヤングタウンは、現代の苦悶する都市状況のなかで、一つの具体的な試行として、今后、その動向はますます関心を呼び注目されることとおもわれる。

昨年3月にオープンして以来、この1月現在、約1400名の若ものがこの新しいまちで生活を営んでいる。

彼らが、ヤングタウンで生活するなかで、ヤングタウンをどのように見、また期待しているか、現在感じ考えているところをアンケート形式で答えてもらった。

とくに設問内容については、ヤングタウン若者の生活に少しでも具体的に触れることができなければ、総体としてのヤングタウンの現状理解には遠すぎると考え、建築分野に限定せずに広く生活意識全般とした。

□調査方法　ヤングタウン居住者の中から 130人を無作為に抽出し、うち 107人から回収。

	大阪府住宅供給公社住宅		雇用促進事業団住宅	民間企業棟		合計
	男	女		男	女	
入居者数（1973年1月現在）	約 500人	約 300人	約 300人	約 240人	約 60人	約1400人
調査依頼数	40人	30人	30人	24人	6人	130人
回収数	33人	25人	20人	23人	6人	107人
回収率	82.5%	83.3%	66.7%	95.8%	100%	82.3%

□調査日時　1973 年 1 月11日、12日、13日

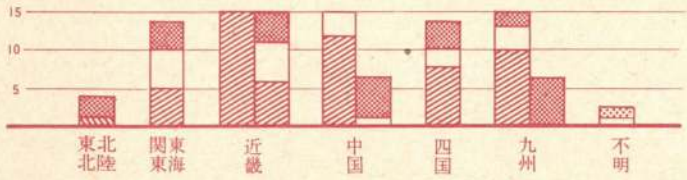
グラフ表示内訳

民間企業棟
雇用促進事業団住宅
大阪府住宅供給公社住宅

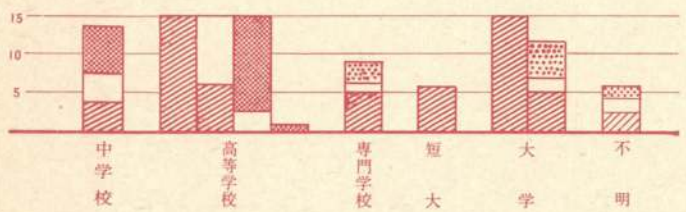
①年　令

	大阪府住宅供給公社		雇用促進事業団(男)	民間企業		合計
	男	女		男	女	
19才以下	1 人	1 人	3 人	5 人	3 人	13 人
20才～22才	6	15	7	6	3	37
23才～25才	21	8	6	8		43
26才以上	5		4	3		12
不　明		1		1		2
	33	25	20	23	6	107

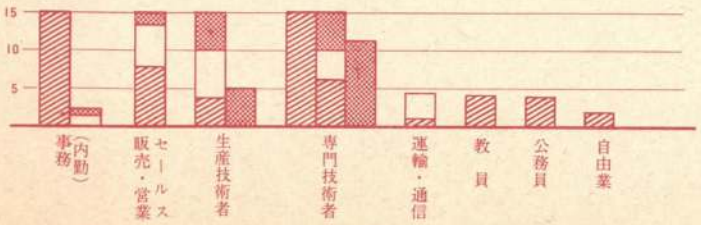
②出身地

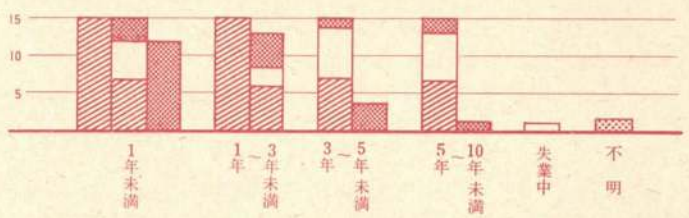


③最終出身校

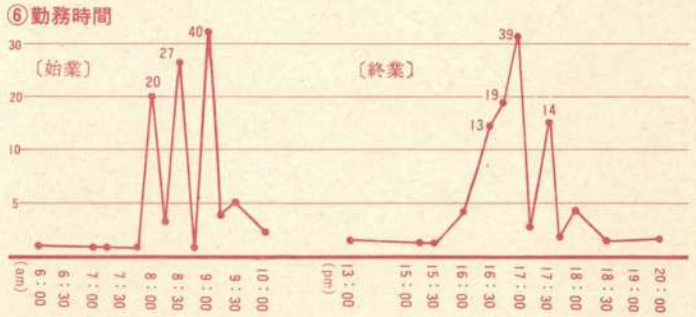


④職　種





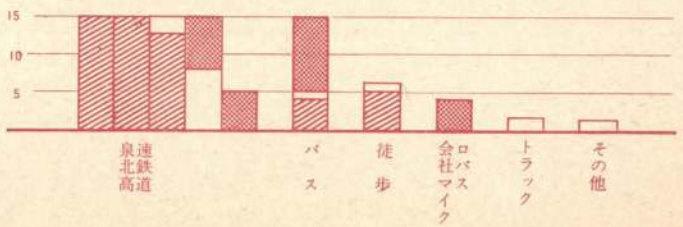
⑥勤務時間



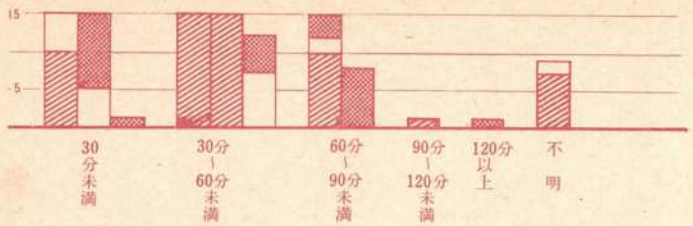
⑦週休

1　日	84 人
隔週2日	7
2　日	5
その他	11

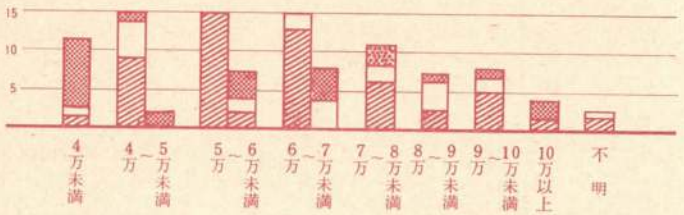
⑧通勤手段



⑨所要時間（会社までの片道）



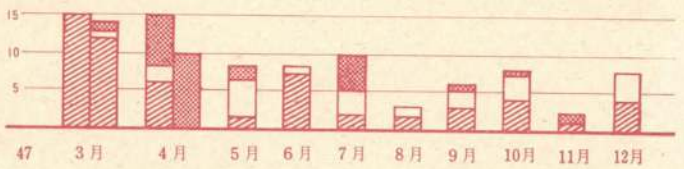
⑩平均月収（ボーナス・諸手当含む）



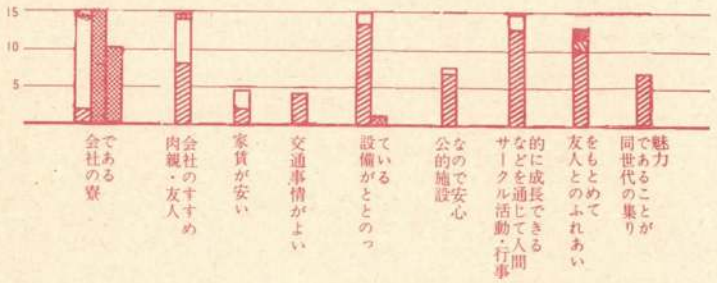
⑪条件さえあえば転職する気持がありますか

	大阪府住宅供給公社	雇用促進事業団	民間企業棟	合計
ある	19 人	7 人	11 人	37 人
ない	21	7	4	32
どちらともいえない	17	5	11	33
不明	1	1	3	5
	58	20	29	107

⑫ヤングタウンの入居年月

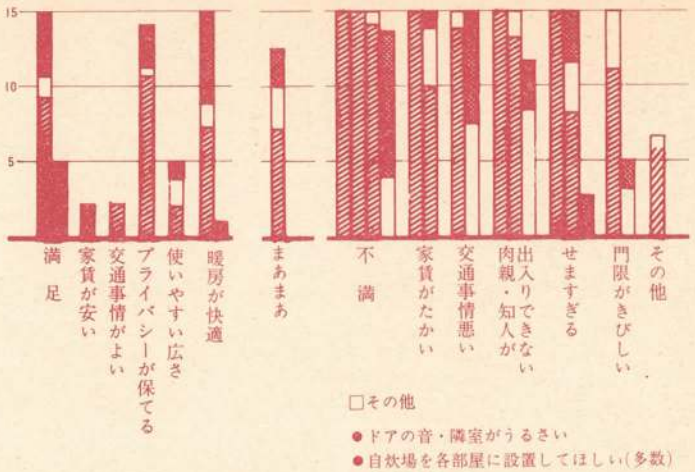


⑬ヤングタウンに入った理由



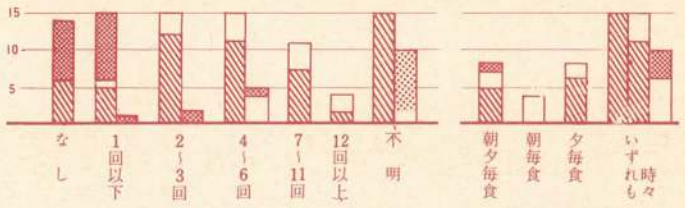
□その他
- 自然環境がよい
- 多種多様な人の考え方・行動を仕事に役立てたい
- 市・教育委員会のすすめ。
- 住宅がなかったのでさしあたり
- 勤務先に近い。

⑭居室についてどうおもいますか

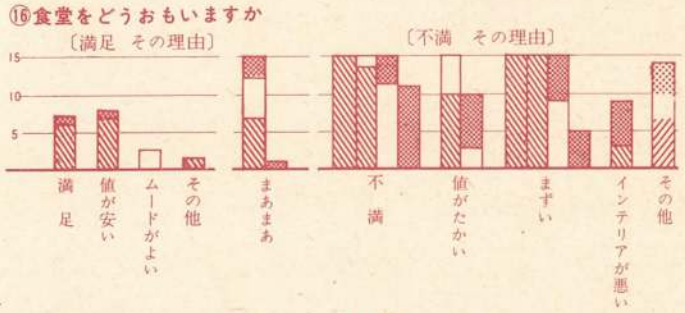


□その他
- ドアの音・隣室がうるさい
- 自炊場を各部屋に設置してほしい(多数)
- 暖房ききすぎ

⑮食堂を利用する回数（回／週）

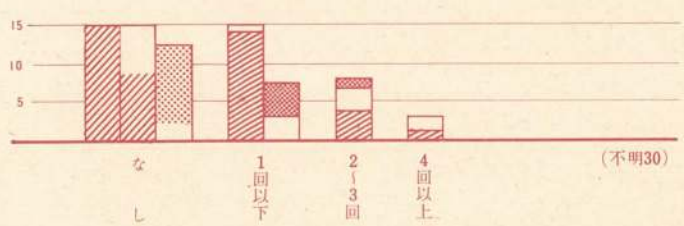


⑯食堂をどうおもいますか

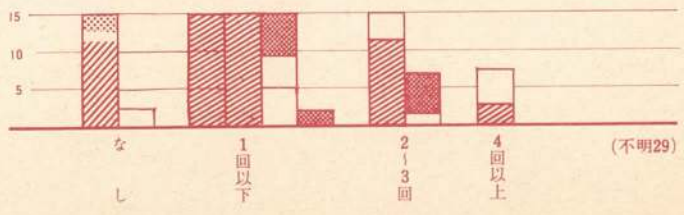


□その他
- 品数少ない。サービスが悪い。
- 栄養がかたよる。少し遅いとおかずが冷い。
- 男性が多くて入りにくい(女)

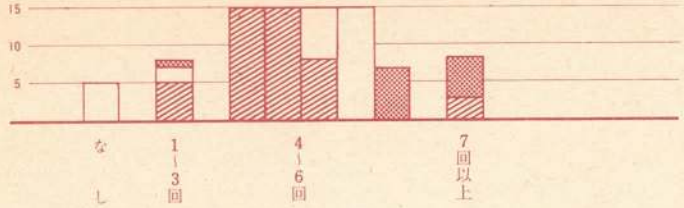
⑰喫茶・スナックを利用する回数（回/週）



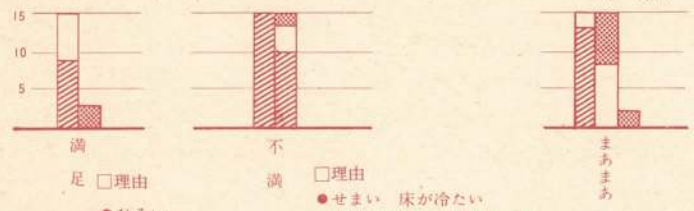
⑱店舗を利用する回数（回/週）



⑲浴場を利用する回数（回/週）



⑳浴場についてどうおもいますか



□理由
- ひろい
- 湯が豊富
- 棟内にある(女)
- 毎日入れる

□理由
- せまい　床が冷たい
- 風呂場が遠い　機能的でない
- 時間制限がきびしい
- 夜遅いと入れない
- 棟内に設置してほしい
- シャワー・ゴミバサミ・ゴミバコドライヤーを設置してほしい。
- 週休1日を月1回にしてほしい。

㉑自治会活動を必要とおもいますか

	大阪府住宅供給公社		雇用促進事業団	民間企業棟	合計
	男	女			
おもう	17人	10人	10人	13人	50人
おもわない	1	5	3	1	10
どうでもよい	4	4	3	5	16
不明	11	6	4	10	31
	33	25	20	29	107

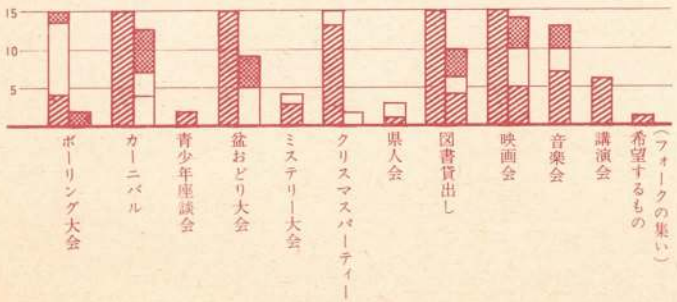
㉒各種教室・講座に参加したことがありますか

	大阪府住宅供給公社		雇用促進事業団	民間企業棟	合計
	男	女			
ある	12人	16人	5人		33人
ない	14	3	14	20人	51
不明	7	6	1	9	23
	33	25	20	29	107

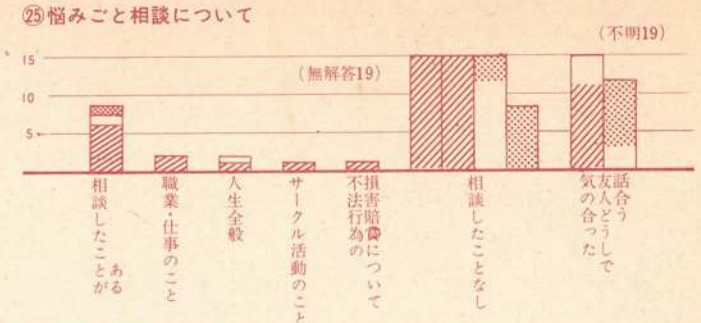
㉓グループに入っていますか

	大阪府住宅供給公社		雇用促進事業団	民間企業棟	合計
	男	女			
いる	11人	12人	2人		25人
いない	15	8	17	20人	60
不明	7	5	1	9	22
	33	25	20	29	107

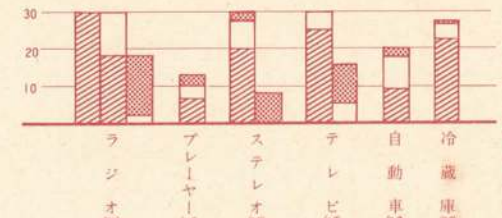
㉔文化、レクリエーション、スポーツ、行事などで参加したもの



㉕悩みごと相談について

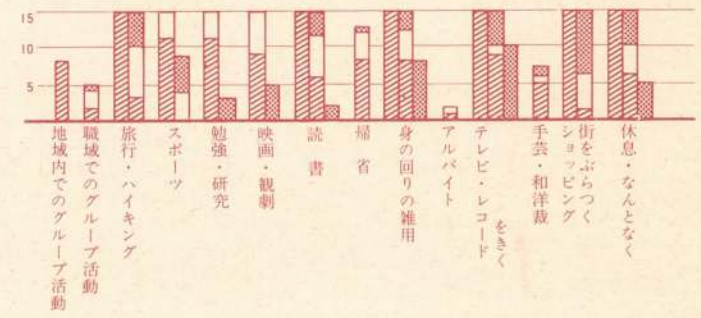


㉖あなたが持っているもの



□その他
- ヨット（共同）
- テープコーダー
- アイロン
- アミキ
- カメラ
- ギター
- 扇風機
- ゴルフ ハーフセット
- 電卓計算機
- ラジオカセット

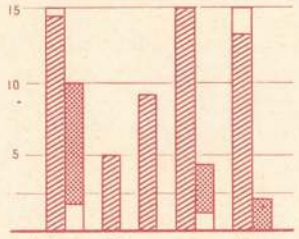
㉗余暇のすごし方について



□その他　クルージング・ドライブ・ボーリング・マージャン・ギター練習・クラブ活動デートetc

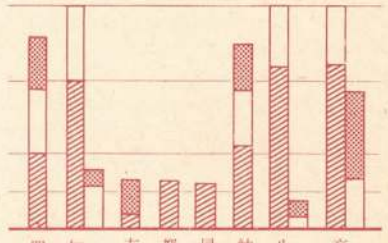
㉘ヤングタウンについて

〔続けてすみたい 49〕



□その他
- 環境良好緑多い
- 女一人で安心
- 指導部に良い先生がいる
- 職場に近い
- のんびりできる

〔できれば出てゆきたい 48〕〔不明10〕



□その他
- 家族的なふれあいが少ない
- 職場・駅から遠い
- うるさくて睡眠不足である
- 生活が不自然に監理されている
- 公団入居決定
- 自由がないのでアパート暮しをしてみたい
- 今の仕事がおもしろくない

㉙ 今までヤングタウンで生活してこられて、とくに印象に残っていることを書いてください。

設備のこと、人間関係のことなど、よかったこと悪かったこと、うれしかったこと困ったこと喜んだこと、怒ったこと、悲しかったこと……どんなことでも結構です。
そして、もっとこうすればという意見があればそれも書いてください。
（以下、回答者原文のまま、なお誌面の都合で回答者のことばのうち重複する意見など約半数は割愛しました）

★大阪府住宅供給公社住宅男子

残業で帰宅して風呂がしまっていた時、扉がしまっている時のジーンとくる非人間的なすまい。事務局は人間の生活を全く知らないと言えないだろうか。我々は設備では、不十分なことを、横のつながり、フィーリングでカバーせざるを得ない。
われわれは、フロアを中心にして飲む会、また交流会を通じて、何らかの意味で横のつながりと、人間として生活するということを育くみつつある。そしてこの短い一生の最高の時をここで過ごすことはとても意義あることと思う。
夏のキャンプは、総合力（グループの）の素晴らしさを知らせてくれたし、また華道というクラブを通して施設のよい面をも味わった。
総括としては、住む所、また若者であること、本質から考え直す態度、生活とは何かということを原点に帰って計画されることを祈る。われわれは最後まで、生活の場ということを忘れないで欲しいと強く言いたい。
明日の生活の活力の再生産の場としてのコミュニティ計画。それは、物理的なものよりもむしろ人間であることへの反問ではないだろうか。
（24才・男）

家賃が若い世代からみると高い。
入居時のパンフレットの条件とだいぶ異なる。（たとえば体育館がない。図書館があるとなっていたが現実には名ばかり、蔵書の少ない図書室である。）
建築の観点からこのヤングタンをみれば、1人住いの部屋としてはずいぶんせまいものである。洋タンス、整理ダンス、本だな、机を置くとあとはふとんを敷くだけ、また押入れはふとんがまともに入れない大きさである。これでは名の通った設計事務所の実力をうたがうばかりである。せめて六畳の広さはほしいものです。（23才・男）

衣食住の中の「住」をどのように考えているのかが疑問だ。生活をするということ……、ヤングタウンという場を与えてくれたが、しかし人間としての生活は考えられていない。道具として、事務的に行われている。例えば暖房の件について、説明すると、時間（PM5.00～PM11.00）、期日で（12月○日～○月○日までとか）規制している。
寒かろうと暑かろうとおかまいなしの状態。やはり寒むければ10月でも入れるべきだ。このような事柄がすべての点にみられる。しかしこのような非人間的な場（状態のなか）でさえもここに住みたいという人がいる。やはり同じ若者、若者同士の心のふれ合いを求めているのではなかろうか。
また、建物についても閉鎖的である。（25才・男）

室内の設計がズサンである。もっと居住性を考えて設計すればよいと思う。例えば①ドアの開閉方向(外へ開くようにできないか)。②洗面器の設置場所（ドアと平行に設置できないか）。③ドアの材質（もっと防音にすぐれたものを使用できないか）。④冷房装置の設置は不可能だったか。⑤窓の面積（壁いっぱいにすることができないか）。（24才・男）

食堂について。
まず食堂従業員が、お客をお客とも思っていないような態度。（売れようが売れまいが、私の知った事か？）経営者は、もっと勉強してほしい。公的施設の食堂でありながら、栄養、カロリーなどの問題は考えているのだろうか？献立がない。（21才・男）

建物自体について、屋上に屋根がついたら、冷たい感じがしなくなると思う。それと、日本人であれば障紙がほしい。室内も白壁でなく、色のついたモルタルのような壁であれば（例えば緑色）、柔かい感じが出ると思う。畳についても京間でなく、本間の方がよい。暖房も温水でなく、温風の方がよい。できれば冷房もほしい。テラスも内側でなく、外側にするべきだと思う。千里ニュータウンのようなドーナツ現象は作らないでほしい。
よかったことと言えば同世代の人と色々な話しができること。勤務先がバラバラだから色々な知識が入る点良いと思う。
悪い点としては、自分のカラにとじこもりやすい。一室一室に独立している点に、問題があるかも知れないが……。談話室も各階ごとに利用する点そう言えるかもしれない。（23才・男）

ヤングタウンに入居して1年近くなりますが、第一に室代がその設備の割りに高いこと。気軽に運動できる施設は卓球ぐらいなもので、普通の民間のアパートとほとんど変りがない。ここへ入居してたった一つ良いことは、同世代の人達と友達になれたことぐらいである。入居者のほとんどが成人していて、責任ある社会人であるにもかかわらず、門限をもうけたり、外来者の入室を拒んだり、電話取継ぎの制限など通常の社会生活を送るのに不都合な規則をつくり、生活改善の要求は、少数意見とみなされ、いっこうに改善されるようすがない。生活指導部、ペアレントなどがあるが、一般の人達は何ら関係なく、何の活動をしているのか分らない。
これが世界に誇るヤングタウンだろうか？
（24才・男）

設備。
浴場を寮内にもうける必要あり。又、冬の日など皆さむそうに洗面具を持ってきている。浴場を外にもうけた理由は、人間関係などいろいろあろうが、そういうことは他の面でカバーすべきである。
室がせまいので荷物がおけなかったり、体を思いきってのばせない。人間の居住するについての必要最少限度の広さは数字ではない。実際居住する人の生の声が必要である。公平な目でみて、4畳と3畳のふた室か、6畳ひと室にすべきである。
環境がよい。
同世代でありながら、団体生活をやったことがないためか、他人のめいわくを考えない。夜おそくまでマージャンをやったり。ステレオをボリュームいっぱいにあげている。
ペアレントの制度をとりながら、寮生活に節度をつけるペアレントの役目がなされていない。男・女のサークル活動に力を入れすぎる傾向にある。
（24才・男）

現代の若者の広範な精神的欲求や肉体的（物理的）欲求を、当局は充分に把握していない。
精神的欲求の場合において、まず前提にかかげられることは、若者は命令、禁止、既成概念、などの系統体から脱皮を求め、自分らの力で提案、企画などを案出し、実践していこうとする独立心が旺盛であるということだ。一成人となった若者を社会の一員として正しく評価し、コンミュニティを完成さす方向に転換させなければならない。
肉体的（物理的）欲求の場合においては、まず部屋の広さの問題が第一に上げられる。暖房のような室内環境も重要だが、根本になる部屋のスペースの拡大なくしてはけっして満足のおける生活は維持できない。さらに重要なのは、若者が結婚してマイホームを築こうと思っても、都市の住宅難というパワーにおし流されて、家を求められない。青少年の町というからには家庭を持てるような状況まで作るというのが、行政の応益の原則ではあるまいか。
（24才・男）

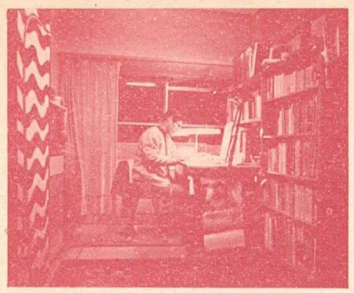
部屋の中をパイプが貫通しているため、むだな空間が多く、本棚、タンス、冷蔵庫、机を置くと身動きできない。
押し入れの戸は片開きになっているが、戸を開閉するだけのスペースがないので、戸は外してしまっている。戸は必要なくカーテンのようなもので良いと思う。（26才・男）

せめて肉親だけくらいは入室禁止を解いてもらいたい。例えば一つの案としていわせてもらえば、ヤンタンだけの写真証明書用紙を発布し、各自の心当りの肉親に作成してもらい、保管してもらい持参により許可する方法。
側面からみた場合、片方では、グループ活動、友人との触れ合などの人間関係の豊さを売り物にしながら、片方では知人、肉親の入室禁止とまったく逆の規則を内持している。不思義な町ヤンタン！
（24才・男）

★大阪府住宅供給公社住宅女子

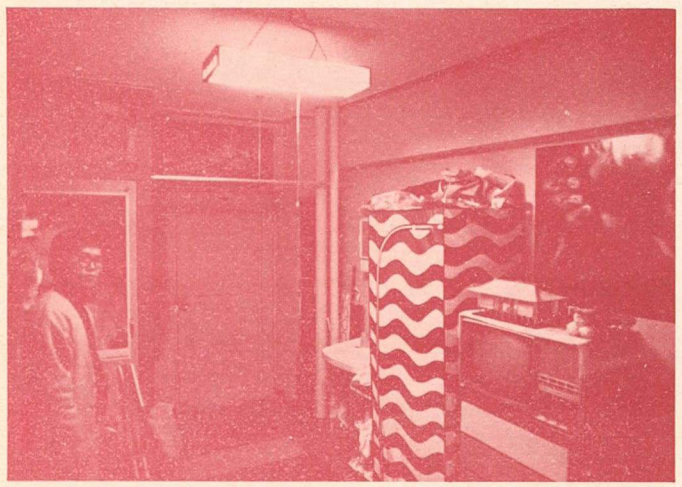
スチーム暖房は、こたつよりも、ストーブよりも、設備として優秀だと思う。建物内で冬においても伸び伸びと行動できるのは、大きな恩恵である。朝も、寝床から出やすい、といえば笑われるでしょうか…。ただ、入いって間もない、冷蔵庫のない私にとって、スチーム暖房が否応なく行われるため、食物が腐りやすい状態におかれることが口惜しい。
よくヤンタンが家賃の割りには設備が悪いと言われるのは、各室に台所のスペースがないからだと思う。この寮には各階に2つの小さな炊事場があって、ガスはコインを入れて使うようになっており、かなりの不便を感じると共に、それに伴って、食費のかさむことが不満に思える。しかし、そこにも利点がある。それは各個室に、火源がないため、火事の心配がほとんどないことは、高い所にすむ者にとって、少し安心である。
◎クラブにもよるかも知れないが、有意義だと思う。念のため、私は英会話社交クラブなのです。
◎友人を自由に個室に入れられないのは、極論すれば、人権の侵害じゃないだろうか？（22才・女）

同じ年令層の人達ばかりであるということが、毎日の生活にはりがあると思った。まわりを見ると、みんな若さのあふれる人達ばかりで、自分も若いのだということを感じずにはいられない。中でも同じ職種の人が多いということもうれしいことだ。職場での生活と、居室に帰ってきてからの生活、ただ休息をとるための住まいではなく、もう一つの充実した生活があるということは、いいことだと思う。
入居したては、まず家賃の高いことに驚ろき、共同炊事場であることや、これだけ住宅がたくさんありながら、まわりに、日常の買い物をする適当な店がないことなど、とても不満に思ったが、だんだん生活に慣れ、楽しむことをおぼえてくると、自分の「小さなお城」だと思い愛着がわいてくる。
（19才・女）

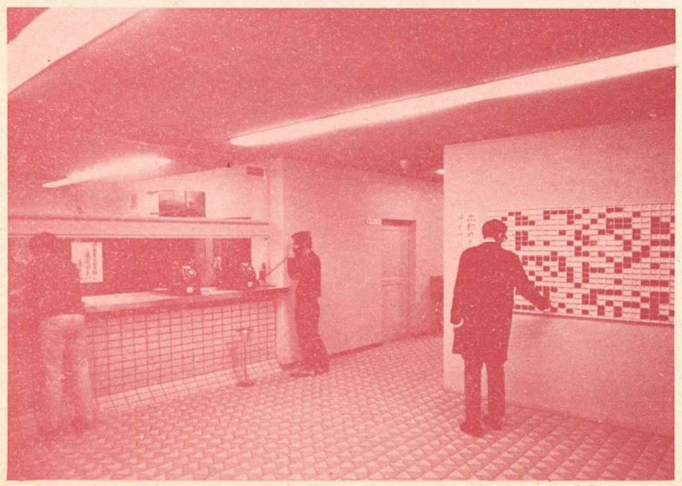


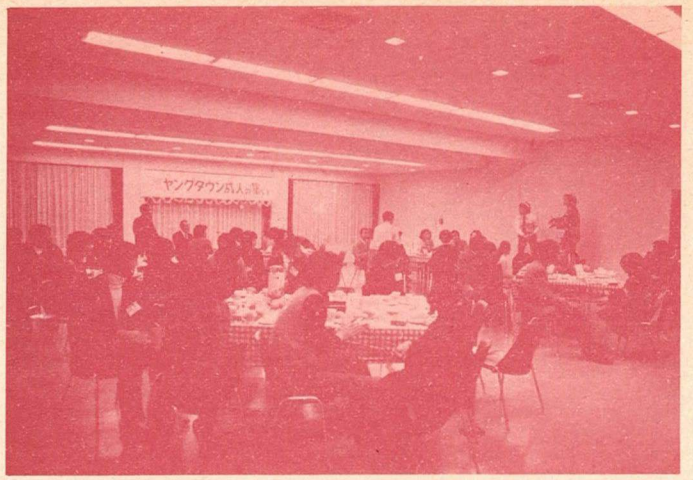
◀大阪府住宅供給公社男子棟居室

▼大阪府住宅供給公社男子棟居室

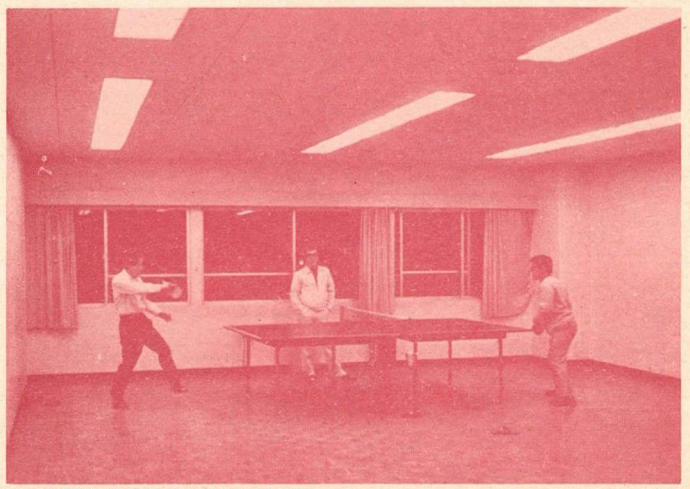


▼大阪府住宅供給公社男子棟玄関
左：管理人室　右：出勤・在室表示カード（出勤時・赤 帰宅時・白）



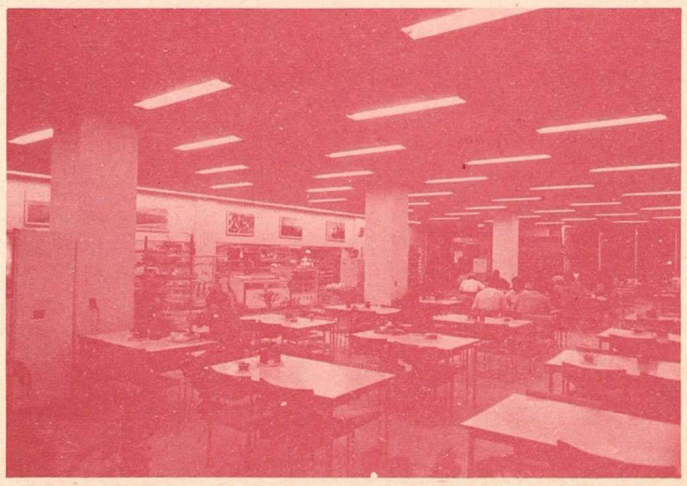


▲ヤングタウン成人の集い会場風景



▲大阪府住宅供給公社男子棟卓球場

▼勤労福祉センター食堂



一番考えることは電話が少なすぎること。仮にも、500人が住むことのできるところに、外からここへかけられるのは二口しかない。家の方で毎日、10回以上かけても、いつも話し中であるとか。同世代の友人が、常に同じところにいるということは、こころづよい。ペアレントの方々には〈日用品を貸してもらえる。非常時の薬をもらえる〉などいつもおせわになっている。（23才・女）

炊事場が余りにも狭いので不満です。
できれば各室にあれば良いのにと思います。
家賃は少し高くっても我慢は出きますので、どうても炊事場をもっと広くしてほしいと思います。
それにガスはコイン式なので不便です。
団体生活なので他の人に迷惑にならない行動をとってほしいと思います。
（例、ローカをパタパタ大きな音をたてて歩たり走ったり、戸を締める時も無神経な人が時々おられます。）（不明・女）

学生時代よりずっと親元で暮していたせいか、ここの土地が味気なくてひどくむなしかったです。窓の外のあかりがみな同じ光を放っていて、よけいそのさびしさを感じさせたように覚えています。
今、なれたのか……？ややこもりがちの自分におどろいてますね——。つとめ先が非常に近くて、便利なのですが、いつもこの泉北ニュータウンの中からぬけることができなくって。たまの休みはどこかとおくへ出かけていきたいきもちもあります。自分から積極的に行事に参加できなかったことにも原因するのかとも思う。
はじめてのこころみのヤングタウン。徐々にすみよくなるのでしょうね。
まだまだ不便な点のみがめだちます。
せんたくのほし場の確保。
炊事場があまり利用できない状態。（各フロアーに2つずつのため）おふとんをおもいきり太陽でふくらませたい!!（22才・女）

私の場合、入居の最大の理由は、ヤングタウンの女子棟が安心して住める場所であることであった。田舎から出てきて、都会に住む女子にとって、単身、右も左もわからぬ所へ住むのは非常に危険の多いことで、この女子棟の場合、男性禁制であることは、気がねなく扉を開放してさえ、眠れる場所であり、それは、田舎で待つ肉親や、知人、恋人に安心感を持たせてあげれると思われたことです。（他の住人にはこの点不満はあるかもしれないが……）。
しかし、その一方では、外来者入室禁止のため、非常に不愉快なできごとがあった。ステレオの調整員が来訪してきた折、時間が長びいたため、管理人に不信なマナザシ!!まったく、嫌なカンジ…デシタ。
それにいくら外来者禁入室だとはいえ、肉親マデとは、入居してから知ったことです!!
住めば、住む程にヤンタンという場所は、人をバカにしていると誰しも思うのではあるまいか。過保護??のため。私達を中・高生と感違いしているんです。
住居の建築については、暖房のため、ヒーターと管が飛び出しているので、家具の設置に非常に不便なこと。壁にポスターなど貼付できないこと。女子の場合特に自炊設備に欠けることect,etc、ヤンタンは短期住人のために建設されたのだろうか。以上、時間、紙面が限られてますのでこの辺であしからず。（24才・女）

まだ入居して日が浅いので何を書いていいのかわかりませんが、私が感じたことを書いてみたいと思います。最初ヤングタウンは、新聞で知りました。当時私は、高校時代約2年間に渡って、仲の良かった女の子2人、私を入れて3人で暮らしていました。（文化住宅 4.5畳と3畳）。そろそろ独立しょうか、各自そう思い始めどこか適当な所は無いかとそれとなくさがしていました。そこで知ったのがここです。今まで3人で暮らしていて急に一人になるのは淋しい。それに下宿は気を使うし、そうなるとアパート、でもアパートだと怖い気がして、いつだったかアパートで殺された女の人、一ヵ月たって発見されたとか、となりの部屋で殺人が行なわれても、そのような声を聞いても知らんぷりの人達……何となく気が進まなかったのです。話を元にもどします。そして何といっても私達をひきつけたのは、3人がいっしょに暮らせるってことです。それに各自がプライバシーを持てるということ。さっそく翌日3人で見にきました。そして正直びっくりしました。すごく設備ととのっているし、小さい所にも神経がゆき届いていて（ペアレント・クリーニングなど）へェー日本にもこんな所があったのか（チット、オーバーかな）って思いました。よくきびしいとか耳にしますが、私は非常に良いことだと思います。今の若者(私も含めて）は何がか不足している。そう感じます。その根源は何だかそういうことをいうところにあるような気がします。そういう訳で私は大変、気に入ってます。こういう施設はどんどんふやすべきです。これを考え作ってくださった方に感謝します。そして同時に若者たちだけでなく、老人が安心してくらせるような施設（もちろん無料でその分若者から取って）作っていただけたらいいのにな。オワリ。（21才・女）

★雇用促進事業団住宅男子

私、ヤングタウンに転入して約1ヶ月余りで、まだこれと言った印象はないが、外観的に素晴らしいと思った。経済の成長にともない、社会が複雑多様化し、人間関係が複雑化し、人間が孤立化しやすい現在、若い世代が一地域で生活する。そしてそこに様々な活動が行なわれる事は、社会教育の上からも好ましいと私自身思う。健全な生活環境を我々の手で造り上げその基で、人間として成長して行くことこそ、ヤングタウンの姿ではなかろうか。様々な面での指導、助長を期待している処である。（18才）

食費が少しかかり過ぎる。(競争相手がないためか少し値段が高いようだ)
門限を廃止するかもう少し遅くしてほしい。
友人(男女を問わず)の出入の自由をお願いしたい。
以上の3点が不満である。ほかについては良である。（23才）

知人が、田舎より来た時でも、泊ることができず、ホテルを利用したことがある。ヤングタウンの事務所に宿泊所があるときくが、そのような所に宿泊させることはできない。わざわざ遠い所より、たずねて来てくれるが（いろいろと話しもあることですから）このようなことがつづくと管理人の目をぬすみ室に入れるようなことがあるかもしれない。
このような場合、宿泊用紙（住所・氏名・日数など）——を作り、管理人に連絡して宿泊できるようにしてもらいたい。
大阪府がヤングタウンを作ったのは、非常にうれしいが若い人の身になり考えてもらいたい。遠いわりに家賃が高すぎるし、食堂にいっても値が高すぎるし、うまくなく大阪府がつくったといわれる特権がない。ヤングタウンなどつくるだけではだめなのです。便利さ、利用しやすさがないようでは来るような人はふえないでしょう。（24才）

よかった事
一人一部屋でのんびりできる
悪い事
他の人が多勢入居しているので家族の、雰囲気が味わえない。
嬉しかった事　特に無し。
困った事。
食堂の終了時間が早くて。
嬉んだ事　特に無し。
怒った事。
10日程前の牛乳を何も言わずに売った事。
買ったばかりの靴を取られた事。(23才)

★民間企業棟男子

設備に比べて建物が雑である。もっと研究が必要であると思う。例、外部ジョイント白地から水の漏透、風呂の位置及配置、泉北鉄道泉ヶ丘迄の間の交通の便が何も無いので非常に不便である特に雨降りの日等衣類がぬれてしまう。堺市バス等を全面的に走らせるべきである。
朝、夕（京都迄出勤の為）の出勤時間の電車の間隔準急電車の増発及車両の増結を願いたい。朝の4両編せいでは満員で行く迄につかれる。
近くに総合病院がほしい（ありますか？）
夏は冷房、冬は暖房で設備は非常によい。阪急電気？の方も居られるし毎晩御苦労さん。
一昼夜お湯が出るのは冬等特に便利である。
プール等の施設が有るのはヤングタウン（若者には）ご利用出来るニレの町には割引もあるし。
堺市役所迄行かなくてもニレの町で事務的な処理が出来るので非常に便利である。（25才・男）

生活範囲。
夜間会社の終業時間がＰＭ５：00であり残業等を行えば帰途時は泉ヶ丘ＰＭ９：30～ＰＭ11：00間になるので都市計画の用途指定を変更して駅前にでも夜間12時頃までは開店している飲食街（moorとしたもの）を設けて欲しい。
日、祭日に読書等をするために図書館の設置を促進願いたい。
furniture及雑貨、電気用品等の販売を行うスーパーの誘置を望みたい。そのためには少くとも敷地1500坪都合して欲しい。
同上の案の代用として百貨店等による月販販売会社の誘置を願う。（27才・男）

印象に残った事は、静かな事、それと名前の通りヤンタンであるので活気がある。又、事務局の方もよくやって下さるし、生活するのには楽しさありで多いによい。但し、まあ、その内によくなると思われるがスーパーとか、生活必需品を買うのにわざわざ泉ヶ丘駅まで行くというのは不便である、また営業終了時間が早すぎる。アンケートにも書いていた様に交通の不便、何とかしてもらいたいものです。（23才・男）

各室の防音性が非常に悪い。（木造作りの建物と大差ない）
各室に換気口が無いので2～3時間で室内空気が悪くなる。
湿気がきやすくカビがハエる。
入居前に体育館、テニスコート等の設備があるように聞いていたが、いまだにできる様子がなくスポーツの場所を設けてほしい。
泉ヶ丘プールの入場料は、我々ヤングタウンの住人は無料という事であったがいざオープンしたら一般入場料であったことが腹立しい。（24才・男）

建物の欠点。
雨じまいの悪さ。
空調関係のコショウがよくある。
交通の便が悪い。
仕事のうえでリクレーションに参加できかねるのが残念に 思っている。（23才・男）

★民間企業棟女子

設備や人間関係は確かに今までは良かった、あまり他の寮の子などと接した事がないので、良くわからない。近くに感じのいい喫茶店などがあれば良い。（19才・女）

もっとレクリエーションのできる所を作ったらいいと思う。にれの町の近くにバス停を作ったらいいと思う。（19才・女 ）

EPILOGUE—都市のアメニティと保存

共同研究 都市の開発的保存 13（最終回）

鳴海邦碩

はじめに

このシリーズでは、都市内に残存している過去の文化的遺産としての建造物、その集合体である歴史的な地区、あるいは緑地としての河や運河が、都市の発展に伴う都市空間の変化のなかで、どのような考え方によって、どのような工夫でとりあつかわれているかについて、欧米のいくつかの都市を事例に紹介してきた。これらは、わが国においても近年いろいろなレベルで保存の問題が生じてきており、そのあり方を検討するための参考となろう。ここでは、これまでの報告をふまえながら、保存についての考え方を整理してみたいと思う。

1．保存に関するいくつかの考え方

保存とひとことでいっても、いろいろな場合が考えられるが、ここでは対象を都市内における歴史的建造物あるいは歴史的地区一般に限定して考えてみたい。

歴史的建造物、いわゆる文化財の保存について、これまでの考え方を整理してみるとつぎのようになろう。

①過去のすぐれた遺産を保存し、子孫に伝えようとする考え方

②都市は歴史的なつみ重ねによって形成されていくのであるから、重要なものは取捨選択して残していくべきであるという考え方

——The present is the past in the future.

③歴史的な景観は都市景観に多様性と豊かさを与えることになり、その演出的効果から保存しようとする考え方

④これに関連して、観光資源として保存する必要があるという考え方

⑤歴史的景観を保存することによっておのおのの都市は独自の景観をもつべきであり、これが市民的連帯感をもたらすであろうという考え方

⑥現代の経済的価値を最優先する社会の動きに対する反発から保存を主張する考え方

——文化財や自然の保存の運動は結局、それが物的環境の問題にとどまるのではなく、現代の一元的価値の体系に対立する新たな規範的、人格的体系を探すことである。（資料1）

⑦同様の論法であるが、最近の自動車優先の都市開発に対し、歩行者空間の整備の立場から、歴史的な都市空間を再評価すべきであるとする考え方。

歴史的建造物および歴史的地区を保存するにあっては、このように多様な考え方があるが、いずれも都市空間の形成のなかで、これらを有機的に位置づけていくことをもくろむものである。しかし残念ながら現在のところ都市計画行政においては、このような考え方をおりこんだ法的基盤をもつにはいたっていない。

建設省都市計画局の宮沢美智雄氏は、この辺の状況についてつぎのように述べている。（資料2）

——行政上の制度として取り上げがたいという状況を作り出している最大の原因の一つは、歴史地区に関する論議が最近の環境問題の一般的議論のなかに解消されてしまって、これからの新しい文化の創造の方向、それとの関連における文化的遺産の継承や保存といった本来の議論が厳密に、しかも深く行なわれることなくして、安易に保存ムードの枠内の止まっている場合が多いことなのではなかろうか。

しかし、歴史的建造物を有機的に都市空間にとりいれていくためには、環境問題の論議のなかで、文化的遺産の位置づけを検討することが、不可欠なのではないだろうか。

2．地方自治体によるいくつかの動き

最近、都市内における保存上の課題として、歴史的なまちなみ景観の保全についての関心が強まってきたようである。これらの動きの基本的な目標を知るために、いくつかの都市における保存条例の目的を例示したい。

たとえば、金沢市伝統環境保存条例には、

——都市開発に伴う本市固有の伝統環境の破壊を極力防止するとともに、近代都市に調和した新たな伝統環境を形成して、後代の市民に継承する。

倉敷市美観保存条例には、

——倉敷市固有の歴史的伝統美観を保全し、後世に継承するために、必要な措置を定め、もって郷土愛の高揚をはかるとともに、わが国の文化の向上発展と観光に寄与すること。

妻籠を守る住民憲章には、

——われわれは、さらに心を新たにして保存に最善の力を尽すとともに、わが宿場の文化的価値と観光資源を地域の産業振興と結びつけ、これをよりよく活用するため、妻籠住民の総意に基づきこの憲章を制定する。

これらはいずれも、戦災による破壊をまぬがれた旧い市街地をもつ都市、いわゆる歴史都市である。他の保存条例をもつ歴史都市の場合にもほぼ同様の位置づけがなされているとみてよい。こうした都市における歴史的建造物および歴史的地区は、観光資源としての価値をもち、それによってその都市の独自性を示すことができるゆえに、その保存について、住民のコンセンサスが得られているといってよいであろう。

これらの例のなかでは、金沢市の場合、〈近代都市に調和した新たな伝統環境〉を形成することを目的とし、歴史的環境を有機的に新しい都市空間のなかに組み入れていこうとする姿勢がみられるが、そのための具体的な事業あるいは計画がいまだにつくられるにはいたっていない。その原因は、ひとつには地方自治体の財政の貧困さにあり、ひとつには日本の歴史的な建造物の多くは木造であるために、それを実際に利用しつつ保存していくことがむずかしいことにある。

歴史的環境を有機的に新しい都市空間のなかに組み入れていくことによってよりよい環境形成をはかろうとする考え方は、西欧の諸都市にあっては一般的になりつつあるようである。とくにイギリスにおける〈The Civic Amenities Act〉はその典型的なものである。

3．シヴィック・アメニティーズ・アクト

シヴィック・アメニティーズ・アクト—The Civic Amenities Act—はそのまま日本語にすれば“都市の快適さに関する法律”ということになる。アメニティ——Amenity——は、研究社英和大辞典によれば——（場所、建物、気候などの）感じのよさ、快適さ、快感（建物・土地に）、住宅（地）としての価値を添えるもの（建物の様式、衛生的環境、周囲の景観など）——ということになるが、こうした環境の快適さという概念によって、歴史的建造物あるいは歴史的地区のあり方をとらえていこうというものである。

イギリスにおいて、個々の建造物の保存から地区の保存に向かって動き出したのは1960年ごろからであるといわれ、それが1967年にシヴィック・アメニティーズ・アクトとして結実したわけである。この法律は、

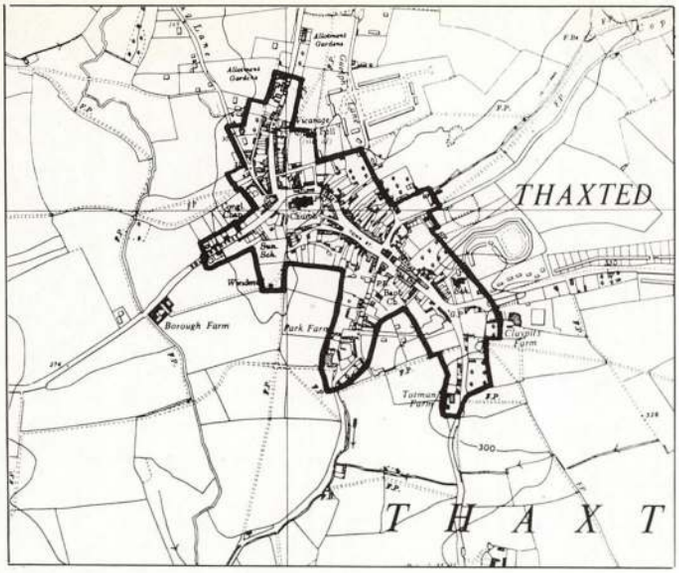
第1部　建築的歴史的重要性を有する建造物及び地区の保存

第2部　樹木の保存

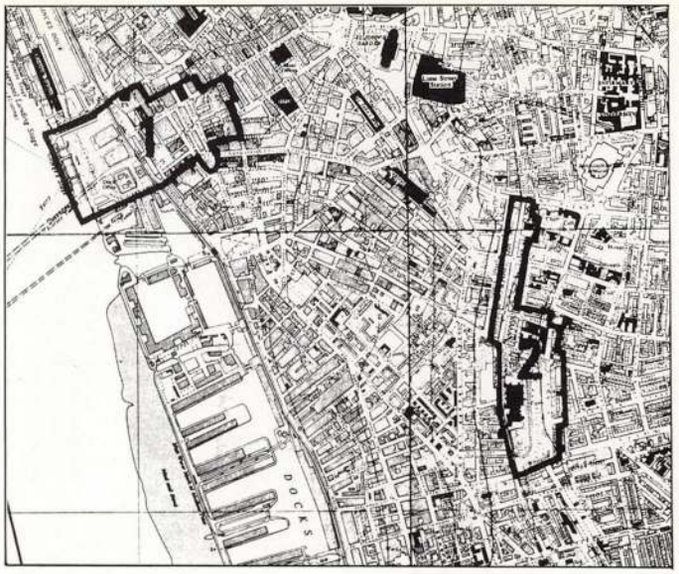
第3部　廃車および廃棄物の処分

第4部　付則

という構成をとっている。この構成をみるかぎりにおいては、アメニティ形成のための総合的な体系をとっておらず、部分的な規定にとどまっているように思われる。しかもこれは、従来の史的記念物保護法、都市田園計画法、歴史的建造物記念物法、地方公共団体（歴史的建造物）法等と一体的な運用が前提となっているためである。シヴィック・アメニティーズ・アクトでは、建築的歴史的観点から、地方計画局が〈保存地区〉を指定し、これがもつ特性および景観を保存、増進させるために、保存整備の強化、



図－1　Thaxted　Essex：保存地区　資料4より



図－2　Liverpool：保存地区　資料4より

保存規則違反への罰則の強化等、総合的な対策をとろうとするものである。このシリーズ第7回のBathの事例は、シヴィック・アメニティーズ・アクトにもりこむべき内容と保存対策の一般的方法論を見いだすために行なわれた4つの研究のひとつである。(資料3)そこでは保存のためのいくつかの原則の提案を行なっているが、それらは大略つぎのようにまとめることができるだろう。

1．面的な保存を原則とする。

2．施設の利用機会の回復をはかる。

　建築物の転用・内部の改装・自動車交通への対策

3．法政、財政、行政上強力なシステムをつくること。

シヴィック・アメニティーズ・アクトの制定された背景について、D．スミス――David Smith――はこの法についての小論(資料4)のなかで、つぎのように述べている。

――既存の都市の中心地区の再開発や郊外住宅の計画は非常に多いが、都市のパターンのほとんどは昔からのもので、これはあと数十年はかわることはないだろう。

既存の居住地区を保存しつつ、それを改良、近代化するために、積極的に効果的な開発コントロールをしていくことは非常にむずかしいことではある。もちろん同時に、優れた新しい大規模な開発を計画し建設していくことは、英国の都市計画機構の大きな義務である。……戦後の楽観主義が英国の計画法をつくり出したのだが、それですさまれる時期は去った。総合性をもくろんだ新開発が必ずしも、総合的進歩を意味していないことがはっきりしてき、このため近年ますます都市計画家および市民は、歴史的な地区、優れた自然景観をもつ地区をみなおすようになってきた。……歴史的地区はこれまで子孫のために保存すべき優れた個々の建物の集合としてとらえられていた。しかし、それらはアーバン・ストラクチャーの欠くべからざるエレメントとしては計画されてこなかったのである。……このような事情を背景にこの法律は設けられたのである。――

これは、すなわちつぎの2点に要約することができよう。

1)既存の都市のパターンをかえることは、この数十年内では不可能であり、これを前提として改良を加えつつ良好な都市環境をつくっていかなければならないこと。

2)アメニティの水準を上げるという観点からすれば、総合的な新開発によるよりも、長い時間をかけて醸成された都市空間に改良を加えていく手法をとった方が効果的であること。

シヴィック・アメニティーズ・アクトに基づいて、1967年秋から保存地区の指定がはじめられ、1968年末で 220地区が指定された、そのうちわけは

59地区……市　，62地区……町

49地区……村　，50地区……ロンドン郊外

となっている。最終的には全国で3000地区程度の地区が指定されることが予定されているようである。法が動き出してからまだ日が浅いが、これがどの程度の効果をもたらすか、注目したい。（図－1，2参照）

4．日本の都市における保存の方向について

シヴィック・アメニティーズ・アクトにおける保存についての考え方は、前に述べた金沢市の場合の〈近代都市に調和した新たな伝統環境〉を形成していく方向と基本的には考えを同じくすると考えてよいだろう。とはいっても、西欧の都市と日本の都市とでは、おのずと前提となる条件が異なるわけで、同じ手法でいけるとはいえない。

都市空間の変化は、つぎの3つの運動にわけて考えることができる。

1．外縁の拡大

　――新たな構成要素－都市施設－がつけ加わっていく。

2．構成要素の変改――metamor phosis――

3．インフラストラクチャーの変改に伴う構成要素の結合パターンの変化

ここに示された一連の図は(図－3参照)、アムステルダム都心部の建物の変改――metamor phosis――の模様を示したものである。(資料5)アムステルダムは大戦による被害も少なく、現在もオランダ最大の都市として活気にあふれた都市であり、西欧の都市における変改の典型的な動きをみることができるだろう。（図－4，5，6，7，8，9，10参照）

1.1650年前――現存するファサードの日付が1650年以前のものがいかに少ないか。

2.1650～1700――この期間に多くの建物が建設された。

3.1700～1800――建造物の新築に加え、既存のものに多くの改装がなされた。

4.1800～1850――経済的衰退のため変化はほとんどない。

5.1850～1900――人口が増大し住宅需要がふえる。このため、悪い建物の修理とともに、アーバン・コア周囲における新規の建設が進み、その結果、インナーシティの建築密度は非常に高くなった。

6.1900～1945――多くの建物の修理がなされたが、重要な建物の修復はとりのこされている。

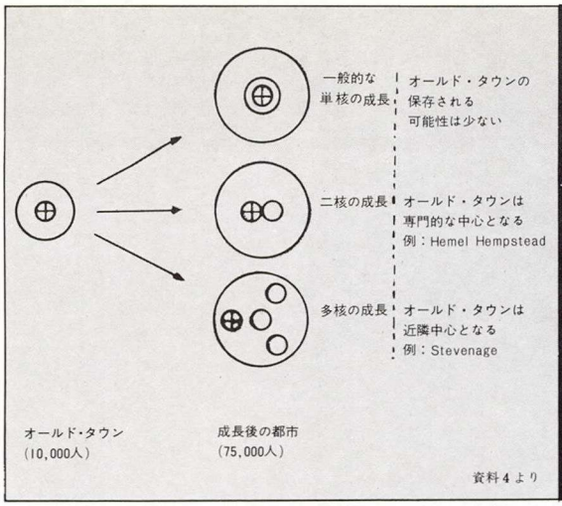
7.1945年以降――新建設は少ない。

これによると、建物がいったん建てられると、外部、内部の改装が幾度かなされ、非常にながい期間にわたって使われていることがわかる。どの建物が何年たちつづけているかについて、明確にはわからないが、 200年から300年近く建ちつづけている建物がかなりあることになる。

このシリーズの第9回のBerlinの例には、大戦による破壊の瓦礫が 100m近い巨大な山をいくつかつくり出すことになったとある。このことを考えれば、アムステルダムの都心部の建物の変改――metamor phosis――のスピードがきわめてゆるやかとならざるをえないということの理由が理解できる。

西欧の都市の固く重い構造は、少なくとも数十年は続くだろうということは、認めざるを得ないだろう。そうした認識が、周囲と調和をとりつつ少しづつ変化するということ、できるだけ工夫を加えて古い建物を利用していくという意識をつくり出すものと思われる。第2回のGöteborgの事例では、交通のサーキュレーションをコントロールすることによって、古いパターンの都心の利用度を高めようとする計画、あるいは第7回のBathの場合の、アメニティという観点から古い建物の機能を再評価していこうとする手法等、西欧における都市の保存と開発に関する考え方は、ひとつの方向をみい出してきているようである。

日本の都市では、その変改――metamor phosis――の様相はかなり異な



資料4より

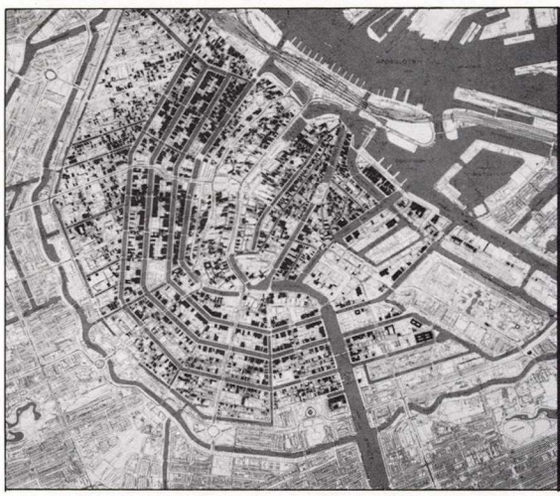
歴史的都市
成長と保存

図－3



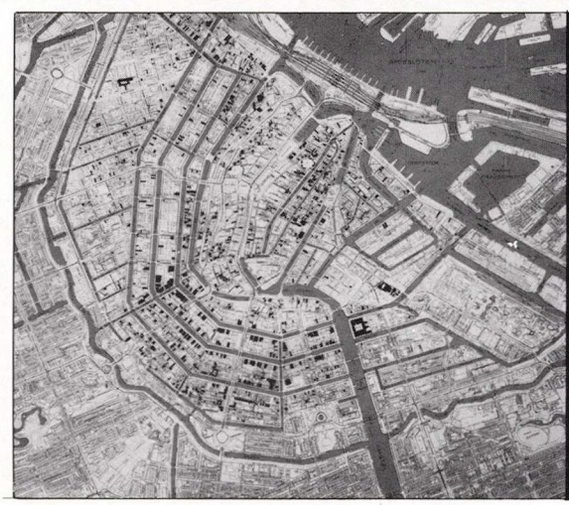
1
1650
以前

図－4



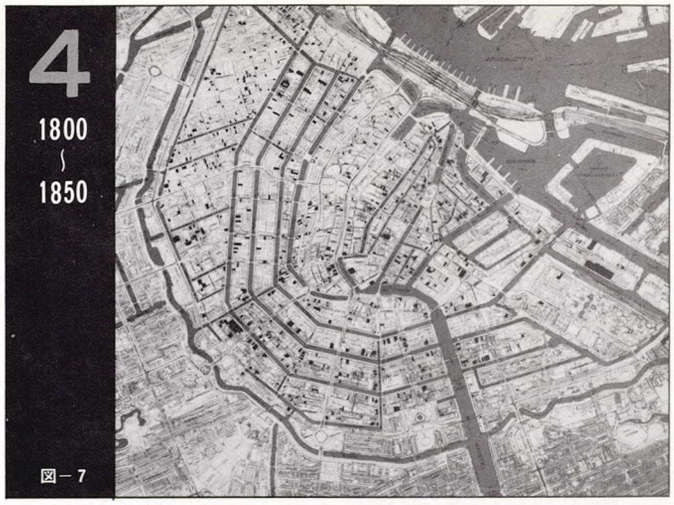
2
1650
〜
1700

図－5



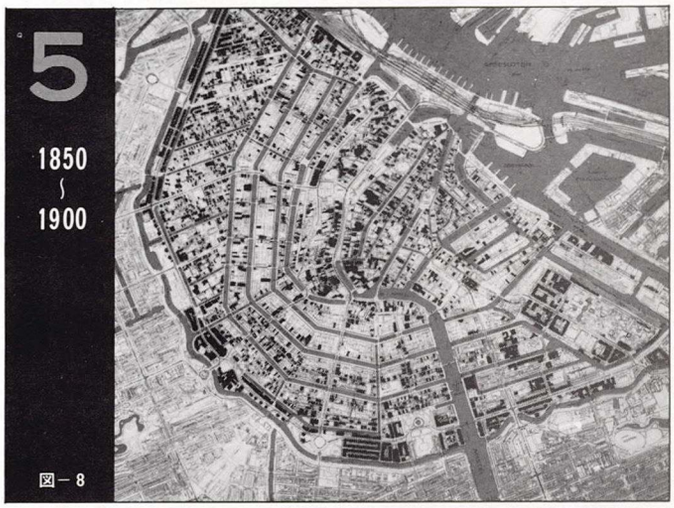
3
1700
〜
1800

図－6



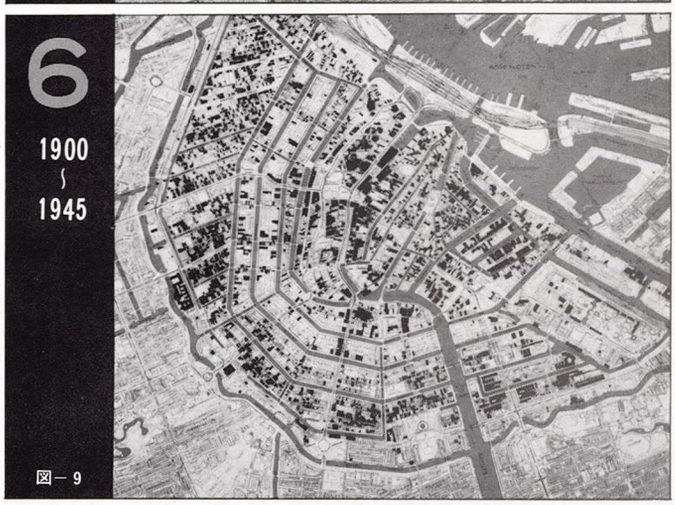
4
1800
〜
1850

図－7



5
1850
〜
1900

図－8



6
1900
〜
1945

図－9



7
1945
以降

図－10

以上資料5より

ってくる。たとえば、歴史的都市といわれる京都にあっても、市街地では100年をこえる建造物はほとんどないといった具合だ。火事は江戸の花といわれるが、江戸に限ったことでなく、京都でも大火が幾度かあった。天保の大火（1788年）では、焼失戸数18万3300戸（世帯数4人として、72万人分だから、ほとんど焼けつくしたことになる）、元治の大火（1864年）では、3万8300余戸を焼失したという。こうしたなかで100年以上も建ちつづけるということはほとんど奇跡に近い。

家が焼失しても、人々はまた同じ場所に同じような方法で、いや一層洗練された様式で新しい建物を建ててきたのである。それは戦前まで続いていたわけで、今日残っている伝統的な様式をもつ町家には、明治後期から大正初期のものが比較的多い。筆者は先般、兵庫県播磨地域の山崎という町の町家の調査をしたのだが、それは明治28年に建てられ、伝統的な様式にのっとってつくられていた。維新から20数年たち、民風大いに盛んなおりから当初棟の高い建物を考えていたが、いざ建てるとなると反対も多く、やむをえず伝統的な形式を遵守することになったという。（資料6）

日本の都市において、都市の変改のスピードがはやいにもかかわらず安定した景観をつくり出していた要因として、安定した文化意識からくる制限、技術的材料的制限、商家という身分からくる制限、世間体等の理由が考えられる。

しかし、とくに戦後、都市の景観は大きく変化してきた。戦災で市街地の多くを焼失した都市のみではなく、ほとんど被害をうけなかった都市にあってもそれは同じである。その主たる要因としてつぎの4つをあげることができる。

1．文化の欧米化

維新以来の近代化主義、欧化主義、戦後の欧米化主義が文化意識、生活意識のなかに深く浸透している。舶来品崇拝、カタカナの氾濫、店舗のモダン化。とくにコマーシャリズムのなかの欧米化の勢いはすさまじい。都市景観の混乱は、この要因によるところが非常に多い。

2．経済効果追求一点ばりの建設

3．新しい建設、建設材料の導入

4．都市のもつ機能的変化、とくに交通機関の発達

これらの要因が一体となって、今日の混乱した景観をつくり出しているわけである。現在の様相を評して、日本の都市はその不燃化の過渡期であるからやむを得ない現象であるといわれる。現在の都市空間を構成している要素の多くは、いずれ変改することを余儀なくされていることは確かで、それらは現在そこらに建ち出している大小のマッチ箱スタイルの建物に変ってしまう危険性は充分にある。人々が都市空間の快適さの必要性に気づいたときには、すでに都市は大小の業務ビルやマンションスタイルの住宅でうまってしまっていることになりかねない。

歴史的建造物や、歴史的地区の保存は、これまで述べてきたような都市の変改と同列に語られる必要がある。もちろん冒頭に述べたように、文化的教育的価値ゆえに保存するとか、都市空間に多様さを与えるひとつの特殊な空間として考えるべきであるとか、いくつかの考え方があるだろう。しかし筆者は、歴史的建造物や歴史的地区の保存については、それらのもつ空間的特質やデザインの高度さが、現代の都市における他の要素より優れているものが多いという観点から、保存すべきであるという考えである。しかもこの保存は、恒久的なものではなく、これにまさるもののできる可能性のある場合は、変改されることになる。

都市の不燃化も大きな課題であるが、日本の都市において、amenityとは何かということについて、充分に検討してみることが必要である。近年、歴史的な町並がみなおされているのは、ディスカバー・ジャパン的なものめずらしさや郷愁にあるのではなくして、それが人間が生活する空間としての基本的なななにものかをもっているためではないだろうか。現代の都市空間がいつも何かが欠落しているように思われるのは、近代化を急ぐあまり、伝統的な空間のもつ意義を軽視してきたからのように思われる。

伝統的な空間のもつ意義を重視するということは、なにもそのまま再現するということではない。そこに存在する人間と空間のかかわりのシステム、それは生活様式上の空間構成であり、あるいは外部・内部空間の構成のシステムであり、外観のパターン等であるが、これらを再評価するということである。空間的なことばかりではなく、その都市や地区が伝統的にもちつづけている社会的機能である場合もある。

こうした内部的なシステムを評価しつつ、これをより優れたものにしていくことこそ保存のもつ最も大きな課題である。都市における保存とは、より優れた生活空間を形成するためのステップであり、別の見方をすれば、漸進的な都市の変改－metamor phosis－の一過程である。



むすび

もう大部前のことになるが、筆者が大学の3回生のころ、はじめて京都大学の西山研究室による「京都計画」を眼にしたものであるが、そのときの素朴な疑問は今もなお残っている。その疑問とは、壮大な都市軸に比して、周囲の地区は、あいかわらず瓦屋根の町家風の建物でつまっていたことである。もちろん町屋風の建物のなかの改装再利用の提案図もあったのではあるが、そうした二つのコントラストが奇妙に思えた。今考えれば、それは個々の町屋の漸進的な変改――metamor phosis――を問うた謎であったのかもしれない。

京都を例に考えれば、その都市空間のほとんどを構成するのは木造の住宅である。これはあと数十年もこのまま残るわけではない。その多くは今でさえ、改築をせまられているように思われる。こうした住宅は個々に、あるいはいくつかまとまった形で、新しい建物に変身するわけであるが、それはこれからの京都の市街地の景観に大きな変化を与えることになる。

これからの建築家や、アーバン・デザイナーの関心は、新しい都市住宅の検討にむけられるべきである。そうした努力なしでは、いずれ日本の伝統的なものを多く残している京都も、おもちゃ箱をひっくりかえしたような都市になってしまうだろう。

－参考資料－

1．建築雑誌 1972・1――環境の歴史性――大谷幸夫

2．　　同上　　――歴史地区と都市計画――宮沢美智雄

3．Bath, York, Chester, Chichester/A Study in Conservation / HMSO 1968

4．Town Planning Review 1969・7――
The Civic Amenities Act / Conservation and Planning――David Smith

5．Urban Core and Inner City / Proceedings of the International Study Week Amsterdam, 11.17 September 1966

6．都市住宅 1972・11――共同研究・まちや・18――うしやをもつ町家――拙稿

7．欧米における歴史的環境保存の動向 1971――日本建築学会

8．都市計画 71――集落保存と住民／妻籠宿――上野邦一

（なるみくにひろ　生活空間学会会員）

EPILOGUE

本試験所：〒 565 吹田市藤白台5丁目125　電話／千里局（068）72−0391代表
大淀分室：〒 531 大阪市大淀区長柄西通2丁目35　電話／大阪（06）351−7217

新設された音響・熱試験施設に期待する

松浦邦男

関西初の公的試験機関として完成した音響・熱試験施設は，関西はもとより全日本の建築環境工学・建築設備関係の技術者・研究者に大きな期待を抱かせている。

周知のように建築基準法第30条の2で新しく定められた『長屋又は共同住宅の各戸の界壁は遮音上有効な構造を有しなければならない』という規定は，はっきりとした透過損失値を下表のように与えている。

周波数（ヘルツ）	125	500	2,000
透過損失（デシベル）	25	40	50

（建築基準法施行令第22条の2）

このような壁体は大抵の場合，いろいろな材料の複合壁で多重壁になっているのが普通である。単層壁ならばともかく，このような複合壁の透過損失を理論的に予測することははなはだ困難で，結局は測定してみなければよくわからない。

前述の法規は壁だけでなく当然上階下階の隣戸に対しても適用されるので，床構造についても同様のことがいえる。また床については下階の隣戸に対して歩行する音や家具を動かす音などの衝撃音がどの程度遮断できるかについての基準もいずれ決められよう。この場合の予測もなかなか難かしく，結局は測定することが一番確かである。

構造体の断熱性についても音の場合と同じことがいえる。新設の熱試験施設はかなり大きい壁体や床構造の熱貫流率の測定が可能である。これも予測は難かしく測定が一番確実である。

量産住宅や一般のプレファブ構造などのビルディングエレメントの諸性能のうち重要度の大きい遮音・断熱の二つの性能を実物で測定することが可能になったことは誠に喜ばしい。これによって，窓・開口部を含めた各種建築構造体の開発研究が大いに進展することを期待したい。

（京都大学工学部）

ニュース

昭和48年（1973）に当試験所として購入する予定の海外雑誌はつぎの13誌です。試験所にご来所の皆様もどうぞご閲覧下さい。誌名末尾の略号は下記のとおりです。

（A）	米国で発行される雑誌	M	月刊
（E）	英国　〃	B−M	隔月刊
（G）	ドイツ　〃	Q	季刊
（EG）	東ドイツ　〃	S−A	年刊

1. Acustica; International Journal of Acoustics. (G) M.
2. Bauplanung und Bautechnik (EG) M.
3. Beton und Stahlbetonbau (G) M.
4. Experimental Mechanics U.S.A. (Journal of the RESA) (A) M.
5. Proceedings of Society for Experimental Stress Analysis (A) S−A
6. Journal of Acoustical Society of America (A) M.
7. Journal of the American Concrete Institute (A)M.
8. Journal of Applied Mechanics (Transactions of ASME Ser.E) (A) Q
9. Journal of the International Association for Earthquake Engineering (A) Q
10. Journal of the Prestressed Concrete Institute (A)
11. Magazine of Concrete Research (E) Q.
12. Proceedings of A.S.C.E., Structural Division (A) M.
13. Proceedings of A.S.C.E., Engineering Mechanics Division (A) B-M.

試験装置紹介・その6

梁・床用耐火試験炉

概　要

本試験炉は前回（1月号）紹介した大型壁用耐火試験炉および次回（3月号）紹介予定の柱用耐火試験炉とともに実大部材の耐火試験炉として，建築物の梁，床，屋根の耐火試験に使用する。

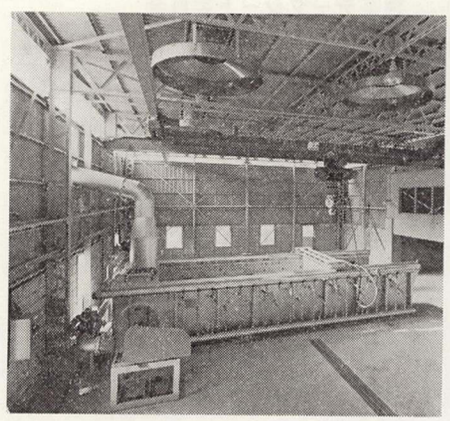
炉の寸法は有効加熱面積幅2.0m，長さ7.0m，深さ1.2mである。炉の長手方向の1端面は移動式の仕切扉になっており，炉の長さを7.0m〜3.5mの間で自由に変えることができる。

試験体の寸法は，屋根，床については幅2.0m〜2.2m，長さ3.5m〜7.0m，梁にあっては長さは3 5m〜7.0mが標準である。そして，屋根・床の試験体は炉上面に，梁の場合は炉底の支承上に，それぞれ水平に装着し，炉上面の開口部分はＡＬＣ板等でふさいで試験に供する。

燃料には都市ガスを使用し，対向壁上部からバーナーで試験体を加熱するが，対向壁底部の両側には排気孔をもつ煙道が設置されているので，バーナーの炎およびそれにともなう熱流は炉の上方で拡散したのち下向きに流れる。したがって，炉内上下および水平方向の温度は，ほぼ一様に分布しているものと考えられる。

また，燃焼温度は自動的に制御され，各測定点での温度変化も自記記録計に記録される。

載荷は，炉体下部に作られた鉄筋コンクリート基礎に，載荷フレームを2カ所以内取付け，油圧ジャッキを用いて各フレームごとに60tonまでの載荷ができる。等分布荷重に関しては，多点載荷で代行するか，荷重があまり大きくないときは実物載荷で行なう。



梁床用耐火試験炉（床の載荷加熱試験）

以下，本試験炉の性能ならびに外観（写真参照）を示す。

1）	大きさ	有効加熱面　巾2.0m×長さ7.0m（3.5mまで縮少可能）
2）	熱量	熱源　都市ガス
		最大熱量　2,025,000kcal/h
3）	バーナー	二重管式　45sets
4）	一次空気取入れ	ブロワー　35㎥/min×700mmH_2O
5）	載荷装置	載荷ビーム，ＰＣ鋼棒，油圧ジャッキ等

「建築と社会」誌上に「試験所だより」を載せるようになってから，はや半年になりました。係では，今後本欄を充実させるための増ページ，あるいは読者諸氏との質疑応答欄を設けたいと考えておりますが，「試験所だより」に対するご要望・ご意見がありましたら，係宛お寄せ下さい。本欄を皆様のページにしたいと思っています。

日本建築協会

月間の動き

昭和47年12月分

理　事　会

14日　5時～5時半　於太閤園
出席者　塚本，福田正副会長ほか13理事
井手京都支部長
議事(1)通常総会開催の件
(2)1月定例理事会休会の件
(3)事務局職員採用承認の件
(4)入退会者承認の件
(5)報告事項

建　材　委　員　会

委　員　会
1日　3時～5時　於会館集会室
出席者　堀内，山田正副委員長ほか9名
橋詰氏（帝人）
議事(1)耐炎性繊維材料(コーネックス)について
(2)次回の検討議題について

建築データシート委員会

企画分科会
4日　5時半～9時　於会館集会室
出席者　伊藤幹事ほか4名
議事　掲載会社のアンケート利用方法について

Dグループ打合会
7日　6時～8時　於会館3階会議室
出席者　正法院主査，太田委員
議事　防火材料の発行について

委　員　会
12日　6時～8時半　於小多福
出席者　井上，真塚正副委員長ほか10名
議事(1)掲載会社のアンケート集計方法について
(2)「防火材料」発行の再検討と方針について
委員会終了後同所において忘年懇親会を開催した。

事　業　委　員　会

忘年懇親会抽せん分科会
6日　6時～9時　於会館集会室
出席者　西村委員ほか4名
議事(1)寄贈品の報告
(2)第1，2抽せんの分類
(3)抽せん関係の進行表による詳細スケジュール
(4)事務的なものの準備確認

若い会員の集い小委員会
7日　6時～9時　於会館集会室
出席者　奥尾，西村幹事ほか5名
議事(1)第4回「伝統工芸を見る会」実施報告
(2)第5回「建築家に話を聞く会」の企画について
(3)第6回の企画について
(4)海外視察分科会
(イ)募集要項修正について
(ロ)オリエンテーションについて
(5)次年度申送り事項について

委　員　会
14日　4時～5時　於太閤園
出席者　北垣委員長，窪田，堤，三品各副委員長，小泉，奥尾各幹事
議事(1)各小委員会の事業報告
(2)1月以降の事業企画について

広報小委員会防水関係説明会打合会
15日　正午～1時半　於会館集会室
出席者　総括説明者　菅田豊重氏
説明会社　鐘紡合成化学
目黒氏ほか6名
委員会　三品副委員長
打浪委員
議事(1)説明会の名称について
(2)日時および会場について
(3)説明題名及び講師並びに時間について
(4)「建築と社会」誌掲載の原稿〆切日について
(5)カタログそのほか

編　集　委　員　会

作品作風小委員会
6日　6時～9時　於会館集会室
出席者　岩口主査ほか1名
議事　昭和48年2月号「大阪大林ビルと大阪国際ビル」の特集企画

委　員　会
11日　4時～7時　於会館集会室
出席者　彦谷委員長，渡辺理事ほか8名
議事(1)「建築と社会」誌の会勢委員会の意見に対して
(2)1月号＝建築教育特集経過報告
(3)2月号特集の件
(4)3月号＝「レジャーと施設」特集幹事会案報告

住　宅　委　員　会

住宅展小委員会
21日　5時半～8時　於会館会議室
出席者　生田，恒成主査ほか3名
議事(1)第10回「よろず相談住宅展」について
(2)新しい小委員会の事業について

見　学　会

竣工開館後の千里レジャーセンター（セルシー）新築工事の見学会
6日　10～12時半
参加者　34名
企画・設計　フジタ工業株式会社
施　工　同　上

会員忘年懇親会

14日　6時～8時　於太閤園
恒例により会員有志より多大の賛助後援を受けて盛大に開催。寄贈景品も多数に上り，余興も盛りたくさんで盛会をきわめた。
当日の出席者　409名

建築功労者名簿作成委員会

18日　3時～5時半　於日本建築学会
出席者　建設省，建築学会ほか8団体
議事　建築功労者共通名簿の取まとめについて

建築業務基準委員会

19日　2時～4時　於日本建築学会
出席者　山根委員ほか
議事(1)建築士証についての各界の意見
(2)建築業務基準のまとめについて

建築クラブ朝食会

12日　8時半～9時半　於新大阪ホテル
出席者　65名
当日は阿部野竜正氏より「夢の話」を伺った

12月の入会者（敬称略）

〔団体会員　2社〕
三久株式会社　菅原工業株式会社

〔個人会員　12名〕

今田忠七郎	富澤富栄	舞鶴正治
今村　騰	中谷正己	美作弘之助
岡本英明	橋爪謙介	森岡　進
髙　正悦	藤野充博	米田浩太郎

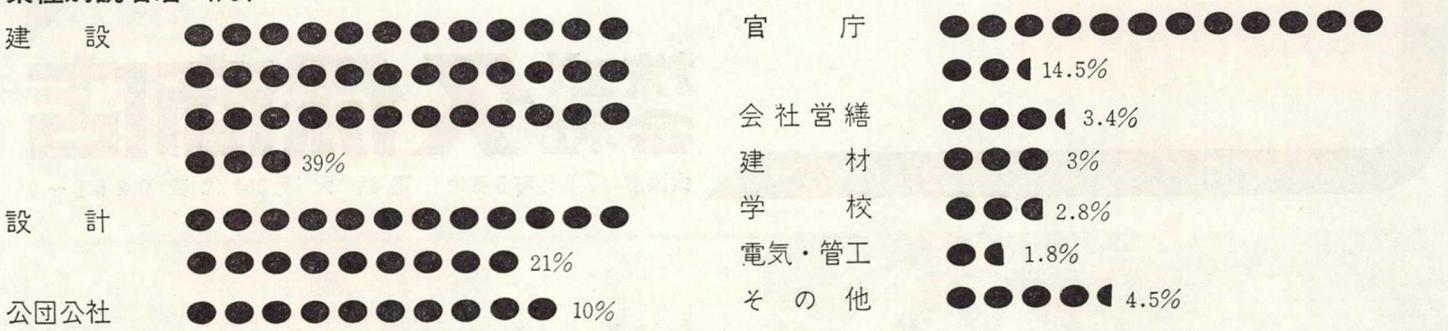
昨年末刊行いたしました'73年版会員名簿に下記のとおり誤植がありましたのでお詫び旁々訂正いたします。

会員名簿正誤表

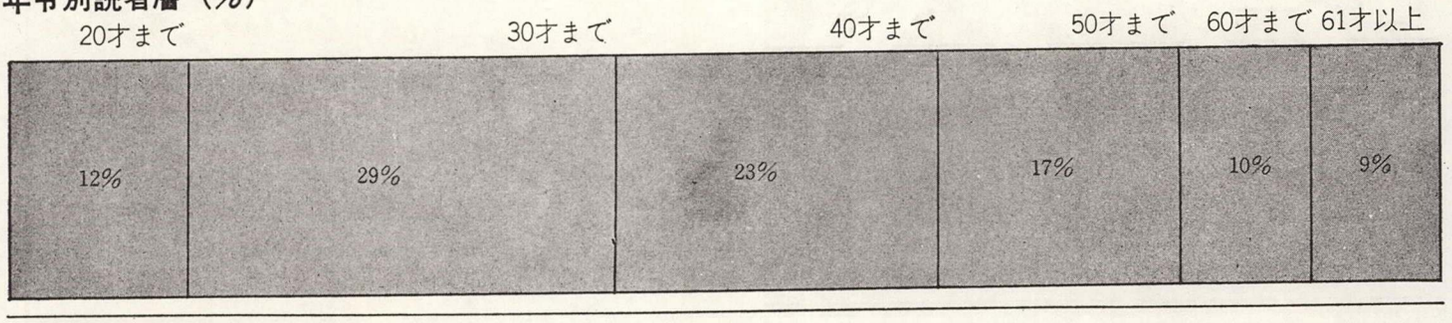
氏　名	ページ	正	誤
㈱エービーシー商会	361	ワンダークラフト，光り天井	ワンダークラフト光り天井
㈱伊部組	322	所在地　北区	脱落
岩佐建築設計(事)	303	本社郵便番号 661	663
㈱久米建築(事)大阪事務所	219	取締役所長　岡田金次郎	岡田全次郎
豊国建設㈱	233	電話局番 353	355
㈱南建築(事)	316	奈良事務所 630 奈良市国見町1－2137（明光ビル）0742-43-2006	奈良分室 630 奈良市小川町13（西井ビル）0742-22-0174
井手　孟雄	25	自宅電話 0722-91-1418	0722-91-1318
飯田精次郎	27	電話局番 364	346
今井　雅博	34	大工大専	大工大
大西　幸男	50	勤務先 大匠建築事務所 自宅 665 宝塚市御殿山3-10-9	大匠建築設計(事) 明石市大久保町西島842-4
金尾　薫	62	○	脱落
工藤　明	75	※○	脱落
小角　亨	81	小角　亨	小角　享
小林　昌雄	83	※	○
坂田　善一	92	都島工	都島工高
玉正　照雄	121	電話局番 943	643
平野　博幸	160	平野　博幸	幸野　博幸
福島　好一	161	卒業年次　17	5
大和　正信	204	大和　正信	大和　正保
建築データ・シート委員会	9	副委員長　真塚達夫	真塚　達人

発行所	社団法人　日本建築協会	**発行部数**	月刊　14,000部
	大阪市東区北浜3-37 〒541	**体裁**	A4判　変形（225mm×297mm）
	大阪(06)231-9648(代)	**広告原稿**	平版印刷なので版下またはオフネガ
創刊年月	大正6年10月	**原稿締切日**	前々月25日（7月号ならば5月25日）

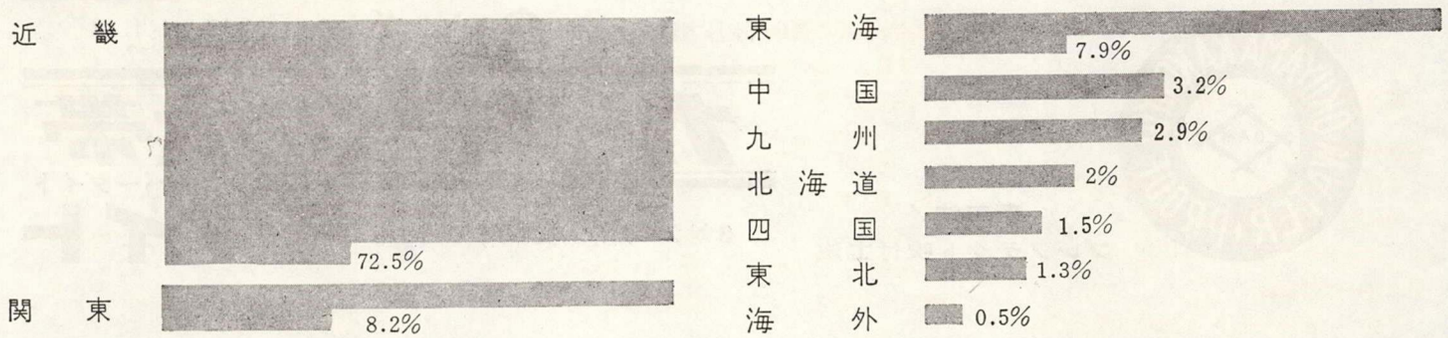
業種別読者層（%）



年令別読者層（%）



地域別読者配本比（%）



広告料金

スペース／寸法(mm)／掲載頁	1頁（2色）	カラー1頁価格
	タテ265×ヨコ190	
表紙2	85,000	230,000
表紙3	75,000	220,000
表紙4	110,000	250,000

スペース／寸法(mm)／掲載頁	1頁	カラー1頁価格
	タテ265×ヨコ190	
前付最初頁	60,000	200,000
前付各頁	50,000	180,000
前付記事対向	55,000	190,000
後付各頁	40,000	———

（注1）後付各頁のみ1/2頁・1/4頁・1/12頁のスペースがあります。

（注2）年6回以上の継続掲載契約をいただく場合は5%の割引金額でお願いし，それ以外はいっさい割引いたしません。

（注3）一般デザイン広告以外の特例として、レポートなど本文記事形式で社名・住所・電話番号が記事末尾のみに入る場合、1頁につき30,000円の掲載料をいただきます。

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表 0206～9

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5 (電話221 2923)

OKUYAMA KAKOGYO WATER・PROOF OAM

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯

新工法！
プレノテクト吹付工法

8対2の防水(冷工法)　コーパータイト デラタイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

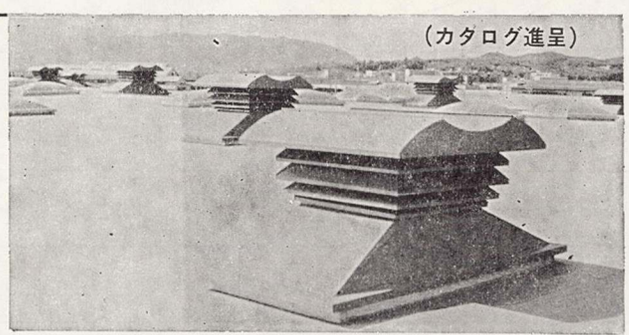
奥山化工業株式會社

本　　社　東京都中央区銀座8－4－11　電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り2-3-1　電話(921)2497・(922)7280
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話(811) 3660・3104
札幌出張所　札幌市北三条東四丁目　電話(231) 7　5　1　1

特許　岩元式ベンチレーター
(電動式並固定型各種)

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強　制　換　気　扇　付）
新型　換気塔 SFスーパー　（特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する）
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付

スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式



(カタログ進呈)

岩元工業株式会社

大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電　話　(981)　0615～0618

電気設備工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町1丁目22
電話大阪(362)8701

支社・支店　東京・札幌・名古屋・福岡
営業所　旭川・神戸・姫路・高松・広島
出張所　苫小牧・浜松・光・沖縄

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(385) 1361

本社営業所　吹田市垂水町3－34－6
TEL　代表　(385) 1361

京都営業所　京都市右京区西京極郡葛野町21番地
TEL　代表　(311) 1185

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地（東阪急ビル）
電話　大阪（313）1101（大代）
支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪（202）0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事設計施工

株式会社　三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話㈹3671（代）
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話㈹1478（代）
出張所　川崎・相模原・堺・福山

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪（931）代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所 2・2607・4259

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇（堂ビル三階）
電話（364）1471（代）
支　店　東京都港区新橋二一一六（ニュー新橋ビル七階）
電話（504）0231
支　店　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話（991）5131（代）
営業所　神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪（472）代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号（福島ビル）
電話東京（491）1746（492）0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉（56）5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今村　騰
取締役社長　立石行男

本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表（312）8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中　実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪（541）0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役社長　小林四郎

本　社　大阪市福島区上福島北1－2
TEL(06) 452－1151(代)
電力工事本部　大阪市此花区恩貴南之町73
TEL(06) 462－1301(代)

各種電気工事設計施工

株式会社　ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪（364）代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話　東京（434）3848・（431）8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝浜松町1-2-7　電話 (434) 6171(大代)
大阪支社　大阪市東淀川区加島町357　電話 (302) 2271 (代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

冷暖房　給排水、衛生水道　電気　厨房
各種サッシ　環境衛生施設　荷役運搬機械　化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　各務　節
取締役支店長　濱川幸十郎
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水衛生設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷健児
本　社　大阪市西区江戸堀1－60　電話 (441) 8231代表
支　店　東京・名古屋・大阪・福岡
営業所　札幌・新潟・仙台・金沢・岡山・広島・高松・熊本
出張所　盛岡・横浜・富山・豊田・福井・京都・神戸・鹿児島

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町65番地　電話 (352) 1131 (代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話 (667) 3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平
大阪市北区高垣町一　電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一　電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備

株式会社 三晃空調

本社・本店　大阪市北区富田町16番地　電話 06－363－1371
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話 03－292－7751
名古屋市中村区広小路西通3丁目9番地　電話 052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話 0822－47－4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話 092－76－3795
出張所　富山・福井・京都・神戸・松江

営業種目 ●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和のケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座6－6－7　㊫(572)7411 代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－22　㊫(203)3721 代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13　㊫(211)1535 代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸
広島・松山・福岡・バンコック

須賀工業株式会社

空気調和 衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－千葉・横浜・広島　出張所－高松・北九州

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話 大阪 (443) 5041～5番

東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地(日本ビル)
電話 東京 (270) 7411番 (代表)

札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌 22) 5756
金沢営業所　金沢市高岡町2番16号　電話 金沢 21) 2074
福井出張所　福井市御幸2の1　電話 福井 24) 2436
高松出張所　高松市2番丁9　電話 高松 ㉑ 5195
岡山出張所　岡山市大供380の1　電話 岡山 24) 5486

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地
(オートセンタービル2階)　郵便番号542
電話 大阪 (06) 761(代)1141～8番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号
(九段ビル8階)　郵便番号102
電話 東京(03) 262－3241～4番

創業 暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
大正二年 病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎藤省三商店

本　店　東京都千代田区丸の内2の4の1　丸ビル676号
電話 212代3751
大阪支店　大阪市西区土佐堀通1の1　大同ビル 616号
電話 443代3361
京都支店　京都市南区西九条春日町48　電話 681代1781
支　店　札幌・名古屋・福岡・千葉
営業所　宇都宮・横浜・熊本

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話 (364) 6661(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話 (211) 8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話 (21) 4491
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話 (971) 3621

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

髙砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田町55番地(北阪急ビル9階)
電話 大阪(372) 2 5 1 1(代表)
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生設備　設計施工

不二熱學工業株式會社

本店　大阪市南区順慶町2－50　電話 261－2436㈹
東京支店　東京都大田区西馬込1－2－1　電話 773－1231㈹
営業所　銀座・浜松・京都・神戸・福岡

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25(新大ビル)
電話 (06) 344－6031(代)
本社・東京支店　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話 (03) 279－5671(大代)
名古屋・九州・広島・札幌
東海村・北陸・大分・岡山

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話(443) 8161(大代表)
支店　名古屋市中村区水主町1の12　電話(541)0966(551)1655
出張所　東京都港区赤坂2丁目3～12'
赤坂ビークビル5階　電話 (583) 1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話 (341) 1778・4386

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備 設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

Carrier
冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キヤリア工業(株)製品販売店・特約工事店

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1－16(石川ビル)
電話大阪 (443) 3661－5

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市支店　四日市市浜田西末広町　電話㊿7431～3
大津営業所　大津市打出浜13－15　電話 0775 ㉒9738
津営業所　津市栄町2－111　電話⑧3610

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作

日本エレベータ工業株式会社

代表取締役　長尾正大

本社　大阪市大淀区天神橋筋六(天六阪急ビル)　(351) 4927㈹
大阪営業所　(351) 4927㈹　サービス事業所　(328) 0364㈹
東京営業所　(822) 0995㈹　工場　(328) 0363㈹

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪(458)3531番
出張所＝京都・福岡

窓掛、緞帳、日際、壁紙 室内装飾 絨毯、舗床材一般
東洋リノリュームの 東リカーペット 発売元

亀井株式會社

大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話 大阪 (251)1353 (代)～6・9996
営業所　名古屋・福岡

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備・設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331　大阪市西区江戸堀通2の2

営業品目
- カネボウゴーレックス防水
- 化粧壁材ソリジットスタイン吹付
- 樹脂砂壁エバーサンド吹付
- 樹脂蛭石エバテックス吹付

合同特許建材工業株式会社

本社営業所・大阪市東住吉区駒川町3－54　電話(702)代7814～6
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

奉仕感謝の店

タイル工事施工

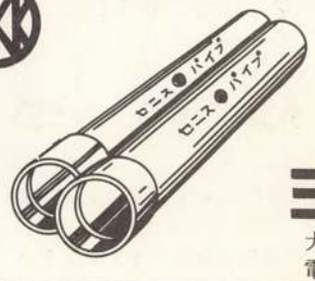
特許申請中・完全滑止タイル

SSS（サンエス） タイル 新発売

（カタログ進呈）

株式会社 川岸窯業商店

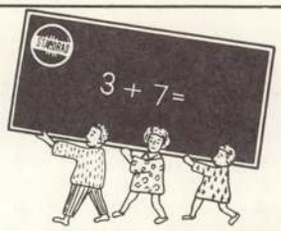
本　　社　大阪市西区靱本町２丁目98番地（靱本町バス停前）
電話　大阪 06（532）代０４６１
姫路営業所　姫路市北条口126番地（住友生命保険ビル３階）
電話　姫路0972（82）０９９９



トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社 三幸商會

大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　４０３１



Standard　Board&Slate

フタバ黒板

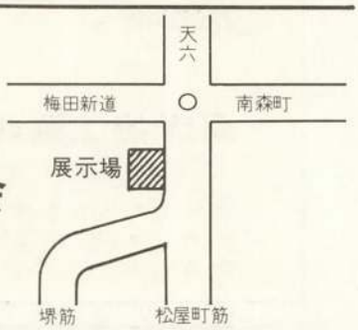
大阪市東住吉区加美末次町８－92　TEL 大阪06（792）代5858

年中見ていただける　皆様の見本室

タイル 常設展示場

AM. 10.00～P.M. 5.00
日曜・祝日は休館

全国タイル展示協会
大阪市北区南森町46番地
八千代ビル南館２Ｆ
TEL（06）364－2059



《営　業　種　目》
空気調和設備
給排水衛生設備 **設計・施工**
各種プラント設備

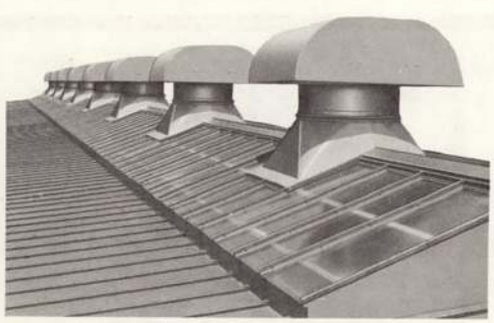
各種送風機・風力輸送装置
設計・製作
空調機器類・公害防止装置

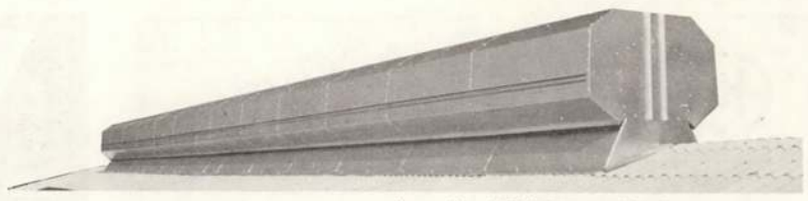
株式会社 カンダン

旧社名　関西煖房工業株式会社

本　　社　大阪市住吉区万代東６丁目３番地
ＴＥＬ：６７２－１２８１（大代表）
営業所　東京・名古屋・広島・福岡
工　　場　和泉・名古屋
テレックス：本社NO.526-7688，和泉工場：NO.538-5898

特許　内外式電動ベンチレーター　特許　内外式コンチニアスベンチレーター
（大量自然換気方式）





内外建材株式会社

本　　社　大阪市西区江戸堀北通１－25（相生ビル）
ＴＥＬ（441）3983－５・4396
大阪工場　大阪市城東区天王田町１－１４１
ＴＥＬ（962）１１４９
京都工場　京都市東山区山科東野井上町
ＴＥＬ075（581）０１２６

内外

N.G.C.式

米国パブコ・アスファルトコンパウンド
米国バイヤーライト・アスファルトコンパウンド
} 販売

各種シート防工事　責任施工
新防水材リベットルーフ責任施工

内外工業株式会社

本社　大阪市阿陪野区旭町1丁目1番地30号　電話(641)3434～6
(631)0810(夜間)
工場　大阪市東住吉区桑津町3丁目16番地

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト（樹指）
モルタル工事

スチール
アルミ
ステンレス
／
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター

三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

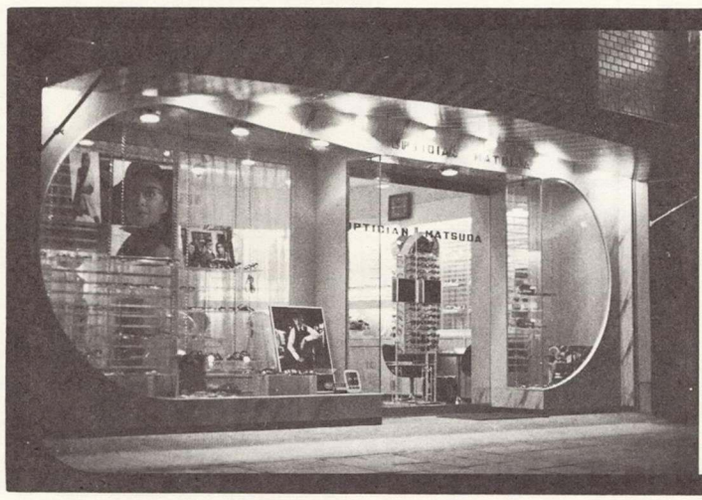
株式会社 三高製作所
本社・工場　尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499) 8151代表

近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店
大阪支店　大阪市北区此花町2－51(第5新興ビル)　電話大阪(353)7377代
本社工場　東京都北区田端町1138　電話東京(893)5211～5



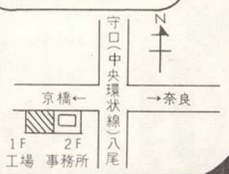
'70年代をリードする
店舗づくりのパイオニア

店舗各種 | 陳列ケース | 冷凍ケース | 電飾看板

製造直売・すべて工場渡しで奉仕する

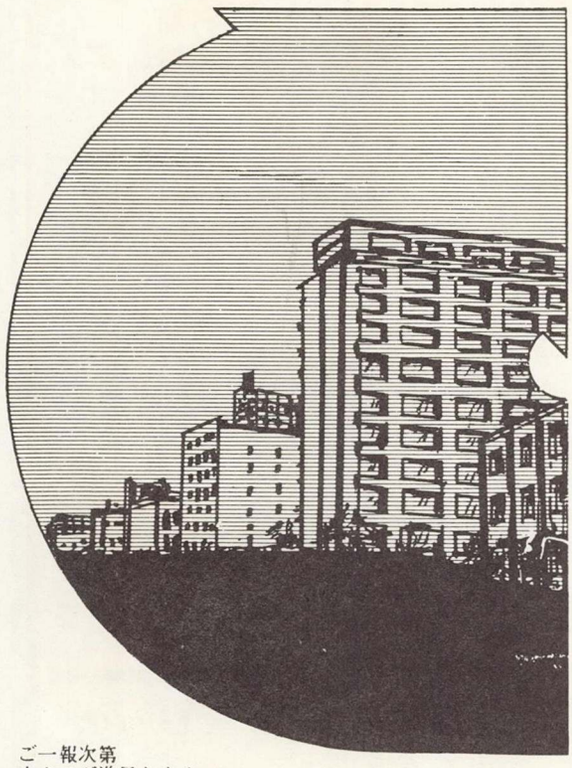
スーパーマーケット ・ 各種専門店

店舗綜合企画・指導・設計・施工
大阪サツマ店装製作所
〒516　大阪市城東区茨田安田町100番地
☎ 911－9144代



モルタル・コンクリート用

マノール 防水剤



＊マノール防水剤はセメントの加水分解生成物である水酸化石灰と化学的に結合し、硬化機構を妨げることなくセメント粒子に撥水性を与えて毛細管の表面張力を低下させ、吸水性を減少させます。

＊ＡＥ効果により適量の空気を連行し、気孔を閉塞することなくセメント・プラスター及び砂の粒子に対し分散性を与えワーカビリティーを向上させます。また特有な粘着性によって材料分離、レイタンスの発生を防止します。

＊セメントと結合した生成物は永久不変質の物質で、水や空気中の塩類、酸類も作用せず、セメントの中性化を防ぎ、鋼材、木材等の腐蝕・腐朽を防止して構造物の耐久性を高め、その防水・防湿効力は恒久的です。

ご一報次第
カタログ進呈します

その他マノール製品

急結剤・接着剤・剥離剤・早強剤・防凍剤

エスコート（セメント起泡剤）・エアコール（場所打ち杭工法添加剤）

セメント混和剤・助材綜合メーカー

株式会社 油脂化工社

東京都品川区大井１－15－１　☎ 東京 (774) 4111代表

関東営業所	茨城県土浦市大町１２１３	☎	土浦 (21) ５１８９
東北営業所	福島県福島市下野寺字遠原	☎	福島 (34) ７１１１
盛岡営業所	岩手県盛岡市南大通３－12－50	☎	盛岡 (24) ０２１３
大阪営業所	大阪市東成区東中本２－17－26	☎	大阪 (971) ４７６５

特許 セメント分散剤 コンクリート減水剤

リグナール

GSR（標準型）（早強型）（遅延型）

自然石状積ブロック

クリプトン

型枠剝離剤

セパール

リグコン

三段ブロック

其の他コンクリート二次製品　建設材料全般

リグナール製造発売元

神戸枝料株式会社

本社　神戸市葺合区熊内町２丁目８８番地
電話０７８代表（２３１）１４２１・６９５６

東京営業所　東京都千代田区内神田１－12－12 美土代ビル
電話０３（２９４）６１６７・６１７７

福山出張所　福山市曙町３－７８－２
電話０８４９（５３）２０２７

コーキングパテ

ウヅラ印



柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪(471)1493～4・8267
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪(471)　０４２６

パテタイル

全国で好評の……新興の内外装壁材を！

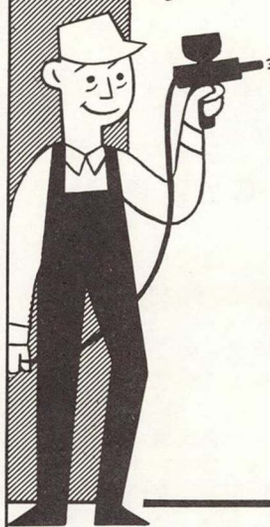
インテリヤ…カラーストーン…研出し仕上！
（旭化成ミュールコート・セット品）

シンコーストーン

いつも美しい　ワンタッチ…洗出し仕上…

ミュールストーン

（旭化成ミュールコート・セット品）



純日本壁の最高峰

ヤマト
緊楽

吹付…に
塗付…に
完全耐火
} 主材 石綿



●全国有名建材店へ御問合せ下さい　●カタログお送りします

発売元

(株)新興建材工業所
大阪市西区南堀江通６丁目39番地　TEL大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

新興壁材工業(株)
大阪市住吉区粉浜本町４丁目２６番地　TEL 大阪（672）１６６１～３

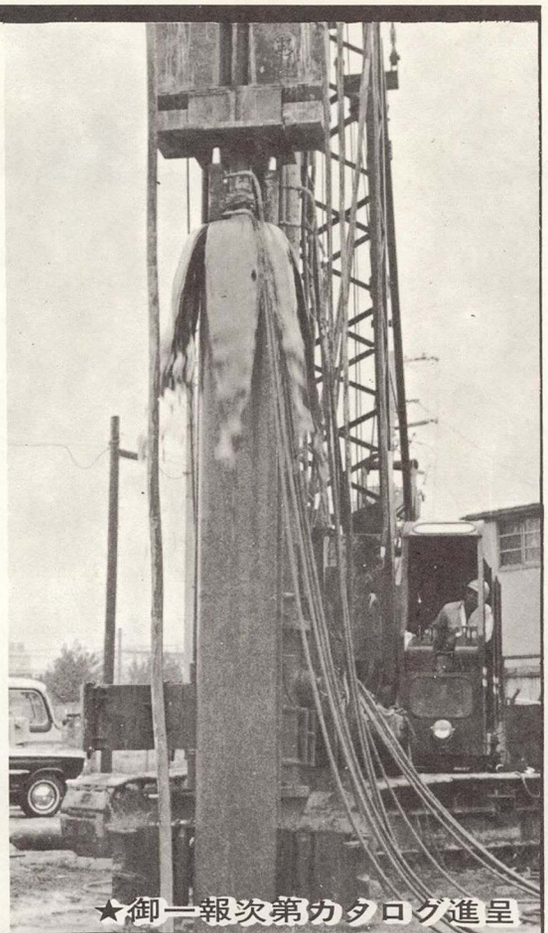
(株)九州新興建材工業所
福岡市博多区上牟田八田町２６の１　TEL 福岡（41）５２２５～６

タイプ
TAIP工法
にはハンマー不要です
〈完全無音無振動既製杭工法〉

従来の既製杭を利用して杭打施工時の
振動・騒音を完全に追放しました!!

■主な特長

1. ネジ込力を杭押込力に変えるので完全無振動無騒音です。
2. 根入長さが長く安定した支持杭が施工出来ます。
3. スライムの沈積はありません。
4. 完全に支持層に岩着させるので大きな支持力が期待出来ます。
5. 何米でもヤトイ杭で納められ地下室のある建築に最適です。



TAKECHI 株式会社 武智工務所

■本　　社　大阪市東区高麗橋2の20(高麗新ビル)　TEL大阪(202)3233(代)
■名古屋支店　名古屋市中区錦1－3－2(殖産ビル)
■福岡支店　福岡市赤坂1－15－33(第二菊陽ビル)
■営業所　東京・静岡・富山・広島・熊本・鹿児島　■工場　大阪・名古屋・鹿児島

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料
オリエンタルメタル

長尺物・色彩自由・責任施工

オリエンタルメタル(O.P.M)

品　種

燃えない
われない
腐らない

不燃(個)1068号
オリエンタルスーパーメタル(S.P.M)

不燃(個)1048号
カラースーパーオリエンタルメタル(C.S.P.M)

不燃(個)1045号
オリエンタルシリカチール(S.T)

波板規格　S小波　S大波　V波　ボックス波　Wジャンボ波

加工品種　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
通風器・排気ダクト・モニター・ルーバー・ルーフエキゾスター(強制換気装置)

カタログ御請求下さい。

オリエンタルメタル製造株式会社

本　　社　兵庫県尼崎市昭和南通り3－26松本ビル　電話　大阪(412)5131代表
東京支社及工場　埼玉県蕨市塚越5丁目6番32号　電話　蕨　(42)3115～8
大阪支社及工場　兵庫県尼崎市長洲稲川新田44　電話　大阪(488)1081代表
九州支店及工場　福岡県遠賀郡水巻町頃末　電話　八幡(69)2831～4
名古屋支店及工場　名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル　電話　名古屋(581)2781～4



全く新しい床タイルです

三星ピサロンは、従来のビニールタイルとは製法原料配合が全く違います。塩ビの他に最近開発された新しい共重合体の特殊樹脂を用いた画期的な新製品です。軟質プレスタイプの床タイルに比べ仕上り安定性がよく、カレンダー方式の流れ模様とは対照的な静止した現代模様。ピサロンの持つエラスチックで高級な質感、すぐれた歩行感は、床タイルの新しい世界を開きました。

協同組合員が責任をもって施工いたします

三星ピサロンは、材料だけの販売はいたしません。責任施工の出来る協組員が入念な仕上げをします。

これからはピサロンの時代です

三星ピサロンの新しい色調、パターンは、現代のインテリアデザインに要求される個性的な床造りには欠かせません。東京浜松町の超高層世界貿易センタービルの４F以上の各階通路、エレベーターホールにも、使用されております。〝三星ピサロン〟はその模様がフランスの画家ピサロのタッチに似ていることから、名付けられたものです。

東日本床工事事業協同組合
西日本床工事事業協同組合
〈専用品〉

三星タイル
ピサロン

★規格＝333.3　×333.3　×２㍉　９枚／m²
333.3　×333.3　×３㍉　９枚／m²
★色数＝22色
★価格＝２㍉厚品　1,200円／m²（300m²以上）
３㍉厚品　1,800円／m²（300m²以上）
小部屋割増・階段40％高

製造元＝田島応用化工株式会社

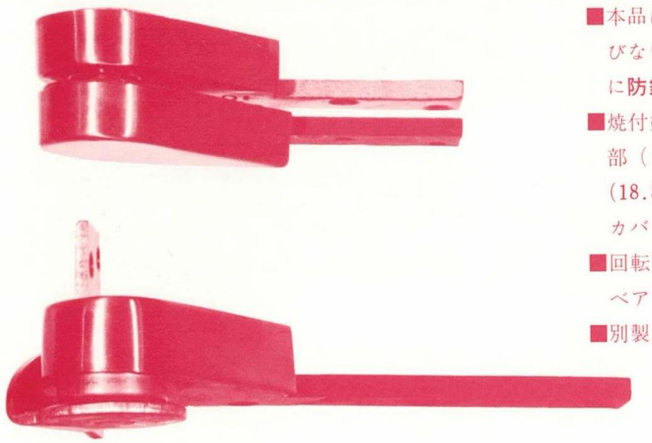
東京／東京都千代田区岩本町３の１１
電話　（866）６１０１

大阪／大阪市西区京町堀１の７４
電話　（441）５９５１

建築と社会 “ARCHITECTURE AND SOCIETY” 第54輯第 2 号
■昭和48年 2 月25日発行(毎月 1 回25日発行)・昭和24年 3 月19日第 3 種郵便物認可

●回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

サンエイ
立枠付 ピボットヒンジ



■本品は特に各部品の材料を吟味し、表面が錆びないようボンデライジング加工を施した上に**防錆塗装**をしております。
■焼付塗装仕上製品の他に、他の持出し吊の腕部（吊込後扉から露出する部分）にＳＵＳ27(18.8)**ステンレス製ヘアーライン仕上**の化粧カバーを付けてあります。
■回転部分にナイロンベアリング及びスラストベアリングを嵌入してあります。
■別製の設計製作をも歓迎致します。

■弊社製立枠付ピボットヒンジは……
実用新案登録第517316号の立枠には何んら低触致しておりません。

三榮建材工業株式会社 555

本社　大阪市生野区巽矢柄町151　☎(06)751－3653～5／東京出張所　東京都墨田区本所2－11－11　☎(03)623－7677

いかなる苛酷な条件にも耐えて
このすばらしい特性が
建築を守ります

特許
強力ギルソイド・アスタイト防水



折曲げ試験に耐えきれず
に破断した一般防水層



折曲げ試験ですばらしい
柔軟性を示すギル・アス防水層

西日本アスファルト事業協同組合
大阪市西区京町堀1の74　電 441－5951
東日本アスファルト事業協同組合
東京都千代田区岩本町3の11の13　電 866－6101

■ご入会のお申込は・社団法人　日本建築協会　〒541　大阪市東区北浜3－37　電話大阪(06)231-9648・9649・9640　振替口座大阪39975番

定価 400 円 (送料共)